

第5次すいた男女共同参画プラン

令和6年度（2024年度）

施策実施状況

— 年次報告 —

令和7年(2025年)10月

吹 田 市

目 次

●第5次すいた男女共同参画プランの概要・・・・・・・・・・	2
●第5次すいた男女共同参画プラン施策体系・・・・・・・・・・	3
●第5次すいた男女共同参画プラン計画推進の指標・・・・・・・・	4
●男女共同参画に関する施策の実施状況・・・・・・・・・・	7
基本方向1 あらゆる分野における男女共同参画の推進・・・・・・・・	7
基本方向2 暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保・・・・・・・・	29
基本方向3 男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり・・・・・・・・	87

第 5 次すいた男女共同参画プランの概要

【計画の期間】

令和 5 年度(2023 年度)から令和 7 年度(2025 年度)までの 3 年間

【吹田市男女共同参画推進条例の基本理念】

- 1 「男女の人権の尊重」
- 2 「性別による固定的な役割分担等に基づく社会制度・慣行の解消」
- 3 「家庭における活動と他の活動への対等な参画」
- 4 「政策等の立案及び決定への共同参画」
- 5 「生涯にわたる性と生殖に関する健康と権利の尊重」

【計画がめざすまち】

「すべての人が性別にかかわらずいきいきと活躍し、安心して暮らすことのできる豊かなまち」

【計画の特徴】

- 1 「男女共同参画社会基本法」に基づき、男女共同参画社会の形成に関する取組を総合的かつ計画的に推進する計画です。
- 2 「吹田市男女共同参画推進条例」に基づき、「第4次すいた男女共同参画プラン」を継続・発展させた計画です。
- 3 「吹田市総合計画」を上位計画とする人権分野の個別計画であるとともに、他の個別計画との整合性をもたせたものです。
- 4 「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律(DV防止法)」に基づく「DV防止基本計画」を含みます。
- 5 「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(女性活躍推進法)」に基づく「女性活躍推進計画」を含みます。

【計画の構成】

3 つの基本方向、12 の基本課題を設定し、基本課題ごとに具体的取組を示しています。

第5次すいた男女共同参画プラン施策体系

基本 方向	基本課題	主な取組
1 あらゆる分野における男女共同参画の推進	1 政策や方針決定への女性の参画	1 市政等に関わる政策・方針の立案・決定過程への女性の参画拡大 2 市審議会等委員への女性の参画拡大
	2 就労における男女平等	1 事業所における女性活躍の推進 ※ 2 女性の就労の支援と能力開発の支援 ※ 3 積極的格差是正や仕事と家庭の両立支援に取り組む事業所への支援 ※ 4 起業など女性の多様な働き方への支援 ※
	3 仕事と生活における男女共同参画	1 長時間労働の是正をはじめとする働き方の見直し ※ 2 男性の家事・育児・介護への参画を促進する環境の整備 ※ 3 仕事と育児の両立のための保育環境の整備 ※
	4 地域における男女共同参画	1 防災・防犯分野における女性の参画拡大 2 男女共同参画を推進する市民団体等への支援 3 地域活動におけるジェンダー平等の推進
2 暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保	1 暴力やハラスメント根絶の基盤づくり	1 暴力の根絶のための意識啓発と環境整備 2 性犯罪・性暴力防止対策の推進 3 ハラスメント防止体制の整備と啓発の推進 ※
	2 DVの根絶と被害者支援	1 DV防止に向けた啓発の推進 2 相談体制の整備充実 3 児童虐待防止対策との連携強化 4 被害者保護と自立支援の強化 5 DV加害者の更生支援
	3 ライフステージに応じた健康支援	1 思春期における心とからだの健康づくりの推進 2 妊娠・出産期における健康支援 3 成人、高齢期における健康づくりの推進と介護予防の普及啓発の推進 4 性と生殖についての理解の促進
	4 困難を抱える人が安心して暮らせる環境の整備	1 貧困・高齢・障がい等により困難を抱えた人への支援 2 ひとり親家庭に対する支援 3 多様な性に関する理解の促進
3 男女共同参画環境づくり社会の実現に向けた	1 男女共同参画意識の形成	1 市職員に対する男女共同参画研修の充実 2 事業者、労働者への男女共同参画の啓発と情報提供 3 家庭における男女共同参画の効果的な啓発活動の推進 4 市民に対する多様な媒体・機会を通じての男女共同参画に係る広報・啓発
	2 男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進	1 学校、保育所・幼稚園等における男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進 2 男女共同参画のための生涯学習の推進 3 男女共同参画の視点からのメディア・リテラシーの育成
	3 国際的な協調とジェンダー平等の視点に立った多文化共生の推進	1 ジェンダー平等に関連する国際規範・基準についての情報提供 2 外国人家庭に対する子育てなどの支援
	4 男女共同参画推進体制の充実	1 市民団体等との協働・連携 2 男女共同参画センターの機能の充実 3 男女共同参画センターの利用の促進

※女性活躍推進法に基づく女性活躍推進計画

基本方向1 あらゆる分野における男女共同参画の推進

番号	指標	策定時	実績値	目標値
			令和6年度	
1	市職員の管理職(課長代理級以上)に占める女性の割合	25.5%	26.5%	30%以上
2	審議会等委員における女性の割合	30.1%	31.9%	40%～60%
3	女性委員がいない審議会等の割合	7.9%	4.9%	解消する
4	女性を対象とした就労に関する講座数	4講座	1講座	5講座
5	管理職への登用において「平等である」と思う人の割合	21.4%	27.1%	40%以上
6	男性市職員の育児休業取得率	31.6%	75.0%	50%以上
7	育児休業・介護休業制度の利用があった事業所の割合	12.6%	15.3%	20%以上
8	事業所を対象としたワーク・ライフ・バランスに関する啓発の実施回数	3回	5回	5回
9	吹田市防災会議における女性委員の割合	19.4%	22.9%	30%以上

基本方向2 暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保

番号	指標	策定時	実績値	目標値
			令和6年度	
10	ハラスメントの相談窓口もしくは制度を定めている事業者の割合	21.4%	27.9%	40%以上
11	セクシュアル・ハラスメントが同性間でも成立することを知っている人の割合	56.7%	63.7%	70%以上
12	すいたストップDVステーションの認知度	16.3%	14.1%	30%以上
13	中学校におけるデートDV予防啓発実施校数	13校	11校	18校
14	配偶者や交際相手から何らかの暴力を受けたがどこにも相談しなかった人の割合	48.0%	44.6%	30%未満
15	「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」の認知度	14.5%	15.7%	25%以上
16	子宮がん・乳がん検診受診率	子宮がん 49.8% 乳がん 51.4%	子宮がん 50.5% 乳がん 49.7% (令和4年度)※1	子宮がん 50% 乳がん 増加
17	生活困窮者に対する就労支援専門員が関わる支援により就労につながった割合	41.3%	60.9%	50.0%
18	ひとり親家庭への就業支援により就業につながった人の割合	87.5%	76.0%	100.0%
19	「LGBT」の認知度	73.2%	83.8%	90%以上

基本方向3 男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり

番号	指標	策定時	実績値	目標値
			令和6年度	
20	「男は仕事、女は家庭」と思う市民の割合	女性20.5% 男性26.9%	女性14.4% 男性27.4%	男女とも 15%未満
21	社会全体として男女の地位は平等である と思う市民の割合	15.5%	14.3%	30%以上
22	男女が共に個性や能力を発揮できる社会 になってきていると思う市民の割合	34.2%	37.2% (令和4年度)※2	40%以上
23	吹田市男女共同参画推進条例の認知度	35.1%	26.4%	50%以上
24	男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育 の際の指導方法に関する教職員への研修・ 講座内容に対する肯定的評価率	97.5%	100%	100%
25	「SDGs」の認知度	40.3%	81.9%	80%以上
26	「ジェンダー・ギャップ指数」の認知度	19.5%	45.9%	30%以上
27	児童・生徒の学校教育等の支援のための通 訳者派遣回数	428回	948回	450回以上
28	吹田市立男女共同参画センター「デュオ」の 認知度	18.7%	18.9%	30%以上

(出典)

※1 令和4年度(2022年度)吹田市市民意識調査から算出

※2 令和4年度(2022年度)吹田市市民意識調査

男女共同参画に関する施策の実施状況

基本方向1

あらゆる分野における男女共同参画の推進

基本方向	1	あらゆる分野における男女共同参画の推進		
基本課題	1	政策や方針決定への女性の参画		
主な取組	1	市政等に関わる政策・方針の立案・決定過程への女性の参画拡大		
取組の具体的内容	ジェンダー・ギャップ指数や女性の活躍推進に関する情報を市民に発信し、政治や地方自治への関心を高めるとともに、市の政策・方針の立案・決定過程への女性の参画の重要性について啓発します			
担当室課	人権政策室		計画推進の指標番号	1・2・3
目標	項目		数値等	
	女性の活躍推進に関する情報の発信		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	—	—	—	—
実績値における前年度からの増減理由				
令和6年度の取組状況	(取組の実施状況) ジェンダー・ギャップ指数や女性の活躍推進に関する情報をホームページに掲載することで市民に対し情報提供を行った。 また、新規採用職員研修及び市民向け出前講座の中でジェンダーギャップ指数に関する講義を行い、あらゆる分野における女性の参画の必要性について啓発した。			
	(取組の効果と課題) ジェンダーギャップや女性の活躍推進について理解を深めることができた。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	様々な機会を捉え、ジェンダーギャップ指数や女性の活躍推進に関する啓発を実施する。			

基本方向	1	あらゆる分野における男女共同参画の推進		
基本課題	1	政策や方針決定への女性の参画		
主な取組	1	市政等に関わる政策・方針の立案・決定過程への女性の参画拡大		
取組の具体的内容	女性職員の活躍を推進するため、働きやすい職場づくりを進めるとともに、役職者・管理職への登用を積極的に進めます			
担当室課	人事室		計画推進の指標番号	1
目標	項目		数値等	
	管理的地位(課長代理級以上)に占める女性職員の割合		30%以上	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	25.5%	25.8%	26.5%	—
実績値における前年度からの増減理由	役職者・管理職への登用を積極的に進めたことにより増加につながった。			
令和6年度の取組状況	(取組の実施状況) 適性・経験を生かせる職場や多様な知識・経験を身に付けることができる職場への配置を進めるとともに、役職者・管理職への登用を積極的に進めた。			
	(取組の効果と課題) 引き続き特定事業主行動計画に定めるワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取組を進めながら、女性職員のキャリア支援を行い、管理職への登用を促進する必要がある。			
取組に対する事業の評価	C	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	管理職として必要なマネジメント力を強化する研修を実施し、各階階に応じた業務内容の理解を深める。また、意欲を持って主体的に業務に取り組み、能力を最大限に発揮することができるよう、ワーク・ライフ・バランスの推進を始めたとした環境整備に努める。 役職者(主査級以上)に占める女性職員の割合は30%を超えており、今後も長期的に役職者・管理職への登用を積極的に進める。			

基本方向	1	あらゆる分野における男女共同参画の推進		
基本課題	1	政策や方針決定への女性の参画		
主な取組	1	市政等に関わる政策・方針の立案・決定過程への女性の参画拡大		
取組の具体的内容	女性職員が職場で活躍できる意識向上となる研修等を開催します			
担当室課	人事室		計画推進の指標番号	1
目標	項目		数値等	
	研修開催回数		1回/年度	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	1回	1回	1回	－
実績値における 前年度からの増減理由				
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 令和6年度は、性別を問わず全ての職員が活躍できる職場づくりを目指し、育児中職員を対象としたキャリア形成支援研修を実施した。			
	(取組の効果と課題) 令和6年度の研修では、育児中の職員同士での意見交換、情報共有が図られた。引き続き、効果的な研修を実施することで、ワーク・ライフ・バランス実現や、全ての職員が活躍できる職場環境づくりに対する、職員一人ひとりの意識向上を図る。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	法改正や社会情勢の変化等に対応しながら研修を実施する。			

基本方向	1	あらゆる分野における男女共同参画の推進		
基本課題	1	政策や方針決定への女性の参画		
主な取組	1	市政等に関わる政策・方針の立案・決定過程への女性の参画拡大		
取組の具体的内容	女性教職員の管理職登用を促進するため、長期的な視野で計画的に候補者を育成し、取組を進めます			
担当室課	教職員課		計画推進の指標番号	1
目標	項目		数値等	
	女性管理職の登用率		35%以上	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	校長 42.6% 教頭 29.6% 管理職全体 36.1%	校長 40.7% 教頭 31.5% 管理職全体 36.1%	校長 40.7% 教頭 31.5% 管理職全体 36.1%	－
実績値における 前年度からの増減理由	令和6年度の女性管理職の登用率は、令和5年度と同数となり、目標値の35%を上回っている。 令和5年度末役職定年等による退職管理職のうち8名が女性管理職であったが、5名が特例任用及び暫定再任用校長として任用され、3名の新任管理職を配置したことにより、前年度と同数となり、これまでの目標値の35%を上回っている。			
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 教職員の年齢構成上、管理職の担い手が全体的に減少しているが、各校において母性保護や育児に関する諸制度の周知を図り、女性が働きやすい職場環境の整備に努めたほか、女性管理職候補の積極的な育成を、人事ヒアリングなどを通して各校に啓発した。			
	(取組の効果と課題) 女性が働きやすい職場環境が整備されてきているほか、首席・指導教諭への女性登用が増加する傾向にあり、計画的な女性管理職候補に育成が進んでいる。引き続き、女性管理職候補の擁立に向け、職場環境の整備や意識の向上に取り組んでいく。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	女性教職員の管理職登用率が目標値に達するように、引き続き、女性が働きやすい職場環境の整備に努めるとともに、長期的な視野で計画的に管理職候補を育成し、校長、教頭だけでなく教育委員会事務局へ割愛する指導主事も含めて、積極的な受験を促していく。			

基本方向	1	あらゆる分野における男女共同参画の推進		
基本課題	1	政策や方針決定への女性の参画		
主な取組	2	市審議会等委員への女性の参画拡大		
取組の具体的内容	審議会等における女性の参画状況を調査し、女性委員が少ない審議会を所管する担当室課へ働きかけを行い、審議会等委員への女性の参画を推進します			
担当室課	企画財政室		計画推進の指標番号	2・3
目標	項目		数値等	
	①審議会等委員における女性の割合 ②女性委員がいない審議会等の割合		①40%～60% ②解消する	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	①30.1% ②7.9%	①32.2% ②6.9%	①31.9% ②4.9%	—
実績値における前年度からの増減理由	①女性委員と委員総数はともに増加しており、女性委員の増加割合よりも委員総数の増加割合の方が高かったため。 ②女性のいる審議会等が増加したため。			
令和6年度の取組状況	(取組の実施状況) 令和6年度当初に、女性委員の積極的な選任に努めるよう各室課に通知を行った。 また、審議会等委員における女性の参画状況を各室課に照会し、「吹田市男女共同参画推進条例」等に基づき、市が自ら率先して積極的な格差是正に努めるよう依頼を行うとともに、特に女性の参画割合が低い審議会等については、女性委員の参画率向上のための今後の方策を検討した。			
	(取組の効果と課題) 特定の専門的な分野における審議会等では、委員に専門的な見地による助言、提言等を求めた結果が男性のみの委員構成に至ったものがある。分野によっては、候補となる人材に占める女性の割合が低いこともあると考えられ、女性のいない審議会等が存在している。			
取組に対する事業の評価	C	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	今後も引き続き、審議会等委員における女性の参画状況を各室課に照会し、「吹田市男女共同参画推進条例」等に基づき、市が自ら率先して積極的な格差是正に努め、男女双方の意見を反映できる審議会等となるよう依頼を行う。また、照会時には、女性委員がいない場合も含め女性の参画割合が低い審議会等について、その理由及び今後の方策について記入対象としており、その結果を踏まえ、女性の参加割合が低い審議会等について、全庁的に対応すべき方策について検討を行う。			

基本方向	1	あらゆる分野における男女共同参画の推進		
基本課題	1	政策や方針決定への女性の参画		
主な取組	2	市審議会等委員への女性の参画拡大		
取組の具体的内容	審議会等における女性の参画状況を調査し、女性委員が少ない審議会を所管する担当室課へ働きかけを行い、審議会等委員への女性の参画を推進します			
担当室課	人権政策室		計画推進の指標番号	2・3
目標	項目		数値等	
	①審議会等委員における女性の割合 ②女性委員がいない審議会等の割合		①40%～60% ②解消する	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	①30.1% ②7.9%	①32.2% ②6.9%	①31.9% ②4.9%	—
実績値における 前年度からの増減理由				
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 行政委員会や審議会等における女性の割合について調査を実施し、結果を公表した。 審議会等を所管する各室課に対しヒアリングを行い、その場で女性委員の積極的な選任を依頼した。			
	(取組の効果と課題) 女性委員の積極的な選任について各室課の理解は深まっているが、委員の選出母体である団体が女性の割合が少なく、どうしても男性が推薦されるという実態がある。そのため、様々な分野において女性の参画拡大が進むよう意識啓発を行っていく必要がある。			
取組に対する 事業の評価	C	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	今後も様々な分野において女性の参画拡大が進むよう意識啓発を行っていくとともに、女性委員の割合が少ない審議会の所管室課に働きかけを行う。			

基本方向	1	あらゆる分野における男女共同参画の推進		
基本課題	2	就労における男女平等		
主な取組	1	事業所における女性活躍の推進		
取組の具体的内容	事業所に対して、誰もが能力を発揮することができるよう女性活躍推進に関する啓発や情報提供に努めます			
担当室課	人権政策室		計画推進の指標番号	5
目標	項目		数値等	
	女性活躍推進に関する情報の発信		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	—	—	—	—
実績値における 前年度からの増減理由				
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 女性活躍推進に関する情報をホームページに掲載し、情報提供を行った。			
	(取組の効果と課題) 事業所に対して直接啓発する場を持てなかった。			
取組に対する 事業の評価	C	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	事業所に対して直接働きかける方法を検討していく。			

基本方向	1	あらゆる分野における男女共同参画の推進		
基本課題	2	就労における男女平等		
主な取組	1	事業所における女性活躍の推進		
取組の具体的内容	事業所に対して、誰もが能力を発揮することができるよう女性活躍推進に関する啓発や情報提供に努めます			
担当室課	地域経済振興室		計画推進の指標番号	5
目標	項目		数値等	
	セミナーの開催		1回	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	みんなで学ぶワークルールセミナー「女性の活躍推進」参加者5名	みんなで学ぶワークルールセミナー「非正規雇用労働の現状と課題」参加者10名	「働く人・雇用する人のためのお役立ちセミナー」参加者9名	—
実績値における前年度からの増減理由				
令和6年度の取組状況	(取組の実施状況) 主催：三島地域労働施策実行委員会(高槻市、茨木市、摂津市、島本町、吹田市)協力：大阪府 他市実施分含めた合計67名 対象が市民になるが、子育て世代の就活セミナーとして「仕事と家庭を両立するための時短メイク＆面接対策」を実施し、25名が参加した。 (取組の効果と課題) 本実行委員会は令和6年度末で解散となったことから、女性活躍推進に関する啓発や情報提供を他のセミナー等にて実施していく。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	今後も引き続きセミナー等を通じて啓発や情報提供を実施していく。			

基本方向	1	あらゆる分野における男女共同参画の推進		
基本課題	2	就労における男女平等		
主な取組	2	女性の就労の支援と能力開発の支援		
取組の具体的内容	JOBナビすいたにおいて、女性が求職活動を実施する際に必要な情報資料を提供します			
担当室課	地域経済振興室		計画推進の指標番号	5
目標	項目		数値等	
	女性が求職活動を実施する際の必要な就労支援		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	—	—	—	—
実績値における 前年度からの増減理由				
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) JOBナビすいたにおいて、各種セミナーや相談、面接会等の就労支援や、職業情報資料提供を実施した。			
	(取組の効果と課題) 利用者数は年々増加しており、相談から就職先の斡旋まで実施できている。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	今後も引き続きセミナー等を通じて啓発や情報提供を実施していく。			

基本方向	1	あらゆる分野における男女共同参画の推進		
基本課題	2	就労における男女平等		
主な取組	2	女性の就労の支援と能力開発の支援		
取組の具体的内容	安心して働くことができる職場環境の形成に向けた知識と理解を深めるため、事業所に対して労働問題全般にわたる情報を提供します			
担当室課	地域経済振興室		計画推進の指標番号	5
目標	項目		数値等	
	セミナーの開催		1回	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	みんなで学ぶワークルールセミナー「働き方改革とダイバーシティ」参加者7名	みんなで学ぶワークルールセミナー「働き方改革の取組事例」参加者4名	「働く人・雇用する人のためのお役立ちセミナー」9名	—
実績値における前年度からの増減理由				
令和6年度の取組状況	(取組の実施状況) 「働く人・雇用する人のためのお役立ちセミナー」を開催。 主催:三島地域労働施策実行委員会(高槻市、茨木市、摂津市、島本町、吹田市)協力:大阪府 他市実施分含めた合計67名			
	(取組の効果と課題) 職場環境の形成に向けた知識と理解を深めてもらうことで、職場環境の改革に繋がることから、今後も引き続き啓発を実施していく。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	今後も引き続きセミナー等を通じて啓発や情報提供を実施していく。			

基本方向	1	あらゆる分野における男女共同参画の推進		
基本課題	2	就労における男女平等		
主な取組	2	女性の就労の支援と能力開発の支援		
取組の具体的内容	労働相談において、多様化、複雑化する相談事案に対応します			
担当室課	地域経済振興室		計画推進の指標番号	5
目標	項目		数値等	
	多様化・複雑化する相談事案への対応		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	—	—	—	—
実績値における 前年度からの増減理由				
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 職場における健全な労使関係の確立、労働福祉の推進を図ることを目的として労働相談(第2水曜日に弁護士、第1.3.4.5水曜日に社会保険労務士による相談)を実施。			
	(取組の効果と課題) 解雇・賃金未払い・セクハラ・社会保険制度全般や労働災害に関すること等、様々な相談を受けている。問題解決に向けての今後の取組むべき内容や課題整理に役立ったという声が利用者から多く寄せられている。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	今後も引き続き労働相談を実施していく。			

基本方向	1	あらゆる分野における男女共同参画の推進		
基本課題	2	就労における男女平等		
主な取組	2	女性の就労の支援と能力開発の支援		
取組の具体的内容	女性対象に再就職等、就労についての講座を開催します。また、在職者の能力向上のための講座を開催します			
担当室課	男女共同参画センター		計画推進の指標番号	4
目標	項目		数値等	
	対象講座開催数		5講座	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	5講座	3講座	1講座	—
実績値における 前年度からの増減理由	新しいテーマの講座企画に要する時間を十分に確保することとし、全体の講座のバランスの中で、在宅ワーク講座等を実施しなかったため。			
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 自分も相手も尊重しながら自己主張するアサーティブコミュニケーションに関する講座を実施した。			
	(取組の効果と課題) 職場における良好な人間関係を築く一助となる機会を提供できた。			
取組に対する 事業の評価	B	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	対象者が知りたい内容を検討し、引き続き実施する。働き続けるために必要な情報を提供する。			

基本方向	1	あらゆる分野における男女共同参画の推進		
基本課題	2	就労における男女平等		
主な取組	2	女性の就労の支援と能力開発の支援		
取組の具体的内容	若年層への職業意識、職業知識の啓発のためのキャリア教育や、様々な分野の職業への関心を高めるため、講座や企業での職業体験等の学習機会を設けます			
担当室課	男女共同参画センター		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	様々な職業選択の支援につながる講座		1講座	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	2講座	2講座	1講座	—
実績値における前年度からの増減理由	新しいテーマの講座企画に要する時間を十分に確保することとし、全体の講座のバランスの中で、中高生対象の進路選択に関する講座を実施しなかったため。			
令和6年度の取組状況	(取組の実施状況) 女子の理工系分野への進路選択を支援することを目的として、小学生対象の科学講座を実施した。			
	(取組の効果と課題) 保護者への啓発も実施した。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	子と親の両方に啓発するために、引き続き実施する。			

基本方向	1	あらゆる分野における男女共同参画の推進		
基本課題	2	就労における男女平等		
主な取組	2	女性の就労の支援と能力開発の支援		
取組の具体的内容	若年層への職業意識、職業知識の啓発のためのキャリア教育や、様々な分野の職業への関心を高めるため、講座や企業での職業体験等の学習機会を設けます			
担当室課	学校教育室		計画推進の指標番号	5
目標	項目		数値等	
	主に中学2年生を対象に職業体験を行う学校数		18校(全校)	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	1校	3校	5校	—
実績値における前年度からの増減理由	新型コロナウイルスが感染症法上の5類に移行されたことにより、各校でコロナ禍前に実施していた職業体験学習を再開したため。			
令和6年度の取組状況	(取組の実施状況) 新型コロナウイルスが感染症法上の5類に移行されたことにより、職業体験等の実施を見合わせていた学校が実施を再開した。実際に職業を体験できる職業体験は生徒にとって貴重かつ有意義な経験となっている。再開するに当たっては、単にコロナ禍前の形態に戻すのではなく、今後も感染症の流行等の影響を受けず、事業が実施できるような形態を検討し、オンラインを活用したキャリア教育の取組を実施する学校もあった。			
	(取組の効果と課題) 児童・生徒は、職場体験や職場講和を通して、社会とのつながりを学び、自己の個性や生き方、多様な進路選択を考える力を育成することができた。一方で、キャリア教育＝職業体験と単純に位置付けるのではなく、職業体験はキャリア教育の大きな枠組みの一つであるとして、小・中学校の9年間を通した教科横断的な取組として実施するよう検討する必要がある。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	今後も継続して実施していく。			

基本方向	1	あらゆる分野における男女共同参画の推進		
基本課題	2	就労における男女平等		
主な取組	3	積極的格差是正や仕事と家庭の両立支援に取り組む事業所への支援		
取組の具体的内容	市が実施する総合評価落札方式一般競争入札において、女性の活躍推進や仕事と子育ての両立に取り組む事業所を評価します			
担当室課	契約検査室		計画推進の指標番号	5
目標	項目		数値等	
	工事の総合評価落札方式の入札実施にあたり男女共同参画への取組を評価に加える。		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	－	－	－	－
実績値における前年度からの増減理由				
令和6年度の取組状況	(取組の実施状況) 工事の総合評価落札方式において、引き続き「女性活躍推進法に基づく「えるぼし」、次世代育成支援対策推進法に基づく「くるみん」のいずれかの認定を受けている。」ことを評価項目としている。 (「吹田市総合評価落札方式(特別簡易型) 落札者決定基準」)			
	(取組の効果と課題) 入札参加事業者の就労の場における男女共同参画が推進されるものと考えているが、更に適切な評価項目を検討していく。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	入札参加事業者の就労の場における男女共同参画が推進されるものと考えているが、更に適切な評価項目を検討していく。			

基本方向	1	あらゆる分野における男女共同参画の推進		
基本課題	2	就労における男女平等		
主な取組	4	起業など女性の多様な働き方への支援		
取組の具体的内容	女性対象に起業をするために必要な実践的知識を学ぶ講座を開催します			
担当室課	男女共同参画センター		計画推進の指標番号	4・5
目標	項目		数値等	
	対象講座開催数		1講座	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	1講座	1講座	1講座	—
実績値における 前年度からの増減理由				
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 女性を対象に、起業・創業を支援するための連続講座を開催した。人気の講座で、昨年度に続き8回講座とし、創業に向けての心構えに関することから事業計画作り、SNS等の活用など、広く学ぶ内容。			
	(取組の効果と課題) 受講者同士が情報交換をする時間を設け、様々な情報を持ち帰ってもらった。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	商工会議所等と連携し、引き続き実施する。			

基本方向	1	あらゆる分野における男女共同参画の推進		
基本課題	2	就労における男女平等		
主な取組	4	起業など女性の多様な働き方への支援		
取組の具体的内容	市民や事業所に対して、多様な働き方について、セミナーや情報提供などの啓発を実施します			
担当室課	地域経済振興室		計画推進の指標番号	5
目標	項目		数値等	
	セミナーの開催		1回	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	みんなで学ぶワークルールセミナー「働き方改革とダイバーシティ」参加者7名	みんなで学ぶワークルールセミナー「働き方改革の取組事例」参加者4名	「働く人・雇用する人のためのお役立ちセミナー」9名	—
実績値における前年度からの増減理由				
令和6年度の取組状況	(取組の実施状況) 働く人・雇用する人のためのお役立ちセミナーにて、「働き方改革」に関するセミナーを開催。 他市実施分含めた合計67名			
	(取組の効果と課題) 働き方改革の取組を推進することが職場環境の改革に繋がることから、今後も引き続き啓発を実施していく。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	今後も引き続きセミナー等を通じて啓発や情報提供を実施していく。			

基本方向	1	あらゆる分野における男女共同参画の推進		
基本課題	3	仕事と生活における男女共同参画		
主な取組	1	長時間労働の是正をはじめとする働き方の見直し		
取組の具体的内容	事業者に対して、働きやすい職場環境づくりのため、ワーク・ライフ・バランスについてのセミナーや情報提供などの啓発を実施します			
担当室課	地域経済振興室		計画推進の指標番号	8
目標	項目		数値等	
	セミナーの開催		1回	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	みんなで学ぶワークルールセミナー「働き方改革とダイバーシティ」参加者7名	みんなで学ぶワークルールセミナー「働き方改革の取組事例」参加者4名	「働く人・雇用する人のためのお役立ちセミナー」9名	—
実績値における前年度からの増減理由				
令和6年度の取組状況	(取組の実施状況) 働く人・雇用する人のためのお役立ちセミナーにて「働き方改革」をテーマにセミナーを開催。 他市実施分含めた合計67名			
	(取組の効果と課題) 働き方改革の取組を推進することがワークライフバランスに繋がることから、今後も引き続き啓発を実施していく。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	今後も引き続きセミナー等を通じて啓発や情報提供を実施していく。			

基本方向	1	あらゆる分野における男女共同参画の推進		
基本課題	3	仕事と生活における男女共同参画		
主な取組	1	長時間労働の是正をはじめとする働き方の見直し		
取組の具体的内容	事業者に対して、働きやすい職場環境づくりのため、ワーク・ライフ・バランスについてのセミナーや情報提供などの啓発を実施します			
担当室課	男女共同参画センター		計画推進の指標番号	8
目標	項目		数値等	
	啓発回数		2回	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	2回	4回	3回	－
実績値における 前年度からの増減理由	SNSでの啓発回数が昨年度より少なかったため。			
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 事業者に向けて、誰もが働きやすい職場環境づくりのための研修会(出前講座)の案内を行った。			
	(取組の効果と課題) 事業者に対して、働きやすい職場環境づくりに関する情報を提供することができた。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	事業者から研修会(出前講座)の依頼がくるよう、ホームページやSNSを活用するなどして引き続き啓発する。			

基本方向	1	あらゆる分野における男女共同参画の推進		
基本課題	3	仕事と生活における男女共同参画		
主な取組	1	長時間労働の是正をはじめとする働き方の見直し		
取組の具体的内容	ワーク・ライフ・バランスの推進のため、市報や啓発誌を通して事例を紹介します			
担当室課	男女共同参画センター		計画推進の指標番号	8
目標	項目		数値等	
	ワーク・ライフ・バランスに関する啓発		1回	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	1回	1回	1回	－
実績値における 前年度からの増減理由				
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 男女共同参画センター啓発誌ソフィアVol.106でワーク・ライフ・バランスの特集をした。吹田市内の企業の取組についても紹介した。			
	(取組の効果と課題) 紙媒体の配布だけでなく、ホームページにも掲載し、広く啓発を行うことができたが、より一層の啓発が必要と考えている。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	今後も継続的に啓発を行っていく。			

基本方向	1	あらゆる分野における男女共同参画の推進		
基本課題	3	仕事と生活における男女共同参画		
主な取組	1	長時間労働の是正をはじめとする働き方の見直し		
取組の具体的内容	業務の見直しや職員の意識改革により市職員の長時間労働の是正を図り、仕事と家庭生活の両立を促進します			
担当室課	人事室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	時間外勤務時間が年間360時間以下の職員の割合		100%	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	89.5%	91.2%	92.2%	—
実績値における前年度からの増減理由	職員の時間外勤務縮減意識の向上により、長時間労働者が減少したことで数値の増加につながった。			
令和6年度の取組状況	(取組の実施状況) 組織マネジメント、マニュアル作成、実務能力向上に資する研修への参加を促進するとともに、時間外勤務縮減について職員に周知を行った。 勤務間インターバルの制度を導入し、インターバル確保に係る取組を推進するよう所属長に周知を行った。			
	(取組の効果と課題) 時間外勤務縮減意識の向上により目標の達成に近づいているものの、達成には至っていない。今後も引き続き、業務の効率化や時間外勤務縮減に向けた取組を推進していく必要がある。			
取組に対する事業の評価	B	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	引き続き効果的な研修の実施及び職員に対する時間外勤務縮減の周知啓発を進める。			

基本方向	1	あらゆる分野における男女共同参画の推進		
基本課題	3	仕事と生活における男女共同参画		
主な取組	2	男性の家事・育児・介護への参画を促進する環境の整備		
取組の具体的内容	制度の周知により、男性市職員の育児・介護休業等の取得促進に向けた意識啓発を行います			
担当室課	人事室		計画推進の指標番号	6
目標	項目		数値等	
	男性職員の育児休業取得率		50%	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	44.9%	37.1%	75.0%	—
実績値における前年度からの増減理由	職場環境の整備、職員の意識向上により、令和5年度と比較して育児休業取得率が増加した。			
令和6年度の取組状況	(取組の実施状況) 育児・介護に関する休暇休業制度の周知を行い、仕事と家庭生活の両立に向けた意識啓発を行った。			
	(取組の効果と課題) 令和6年度については男性の育児休業取得率が目標を達成している。引き続き周知啓発を行い、目標値の維持に努める。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	恒常的に目標を達成できるよう、引き続き50%を目標値として取組を進める。			

基本方向	1	あらゆる分野における男女共同参画の推進		
基本課題	3	仕事と生活における男女共同参画		
主な取組	2	男性の家事・育児・介護への参画を促進する環境の整備		
取組の具体的内容	男性料理教室や参画スタッフの活動など、男性を対象とする講座を充実します			
担当室課	男女共同参画センター		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	対象講座延べ男性受講者数		80人	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	87人	135人	60人	－
実績値における前年度からの増減理由	新しいテーマの講座企画に要する時間を十分に確保することとし、全体の講座のバランスの中で、年に2回実施していた父子料理講座、初心者向け男性料理講座、シニアリーダー研修が令和6年度は1回ずつの実施となったため。			
令和6年度の取組状況	(取組の実施状況) 初心者向け男性料理講座と、父と子で協力して作る料理講座を実施した。また、「夫婦で子育て」をテーマにした講座の中で、父と子でできる遊びを紹介した。			
	(取組の効果と課題) 初めてセンターに来た受講者が多く、啓発の効果があった。			
取組に対する事業の評価	B	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	男性に家事を担うきっかけにしてもらうため、継続して実施していく。			

基本方向	1	あらゆる分野における男女共同参画の推進		
基本課題	3	仕事と生活における男女共同参画		
主な取組	2	男性の家事・育児・介護への参画を促進する環境の整備		
取組の具体的内容	男性料理教室や参画スタッフの活動など、男性を対象とする講座を充実します			
担当室課	まなびの支援課		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	生涯学習事業の講座実施数		3回	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	1回	2回	1回	－
実績値における 前年度からの増減理由	生涯学習事業における、他講座の充実を図ったため。			
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 子育て世代の男性を対象とした育児に関する講座を1回実施した。講座の実施回数は昨年に比べ減少したが、1回あたりの定員を増やしたこともあり、受講者数は増加した。			
	(取組の効果と課題) アンケートにて講座内容に満足した旨の回答が多く、男性の育児への参画について高い効果が期待できる。			
取組に対する 事業の評価	C	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	受講者からの意見を取り入れた講座の追加実施等を検討する。			

基本方向	1	あらゆる分野における男女共同参画の推進		
基本課題	3	仕事と生活における男女共同参画		
主な取組	2	男性の家事・育児・介護への参画を促進する環境の整備		
取組の具体的内容	事業所に対して、男性の育児・介護休業が取得しやすい職場づくりに向けて、セミナーや情報提供などの啓発を実施します			
担当室課	男女共同参画センター		計画推進の指標番号	7・8
目標	項目		数値等	
	啓発回数		2回	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	2回	4回	3回	－
実績値における 前年度からの増減理由	SNSでの啓発回数が昨年度より少なかったため。			
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 事業者に向けて、誰もが働きやすい職場環境づくりのための研修会(出前講座)の案内を行った。			
	(取組の効果と課題) 事業者に対して、働きやすい職場環境づくりに関する情報を提供することができた。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	事業者から研修会(出前講座)の依頼がくるよう、ホームページやSNSを活用するなどして引き続き啓発する。			

基本方向	1	あらゆる分野における男女共同参画の推進		
基本課題	3	仕事と生活における男女共同参画		
主な取組	2	男性の家事・育児・介護への参画を促進する環境の整備		
取組の具体的内容	事業所に対して、男性の育児・介護休業が取得しやすい職場づくりに向けて、セミナーや情報提供などの啓発を実施します			
担当室課	地域経済振興室		計画推進の指標番号	7・8
目標	項目		数値等	
	セミナーの開催		1回	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	みんなで学ぶワークルールセミナー「男性の育児休業取得」参加者7名	みんなで学ぶワークルールセミナー「働き方改革の取組事例」参加者4名	「働く人・雇用する人のためのお役立ちセミナー」9名	—
実績値における前年度からの増減理由				
令和6年度の取組状況	(取組の実施状況) 働く人・雇用する人のためのお役立ちセミナーにて「働き方改革」をテーマにセミナーを開催。 他市実施分含めた合計67名			
	(取組の効果と課題) 働き方改革の取組を推進することがワークライフバランスに繋がることから、今後も引き続き啓発を実施していく。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	今後も引き続きセミナー等を通じて啓発や情報提供を実施していく。			

基本方向	1	あらゆる分野における男女共同参画の推進		
基本課題	3	仕事と生活における男女共同参画		
主な取組	2	男性の家事・育児・介護への参画を促進する環境の整備		
取組の具体的内容	父親の育児休業取得や家事や育児への協働について妊娠届出時や両親教室などで啓発します			
担当室課	すこやか親子室		計画推進の指標番号	7
目標	項目		数値等	
	①妊娠届出時の「さんきゅうパパBOOK」の冊子配布率 ②プレパパ・ママ教室への父親の参加者数		①妊娠届け出数に対する冊子配布率 ②定員数(R5:776人、R6:960人)	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	①100% ②391人	①100% ②626人	①100% ②698人	—
実績値における 前年度からの増減理由	②教室開催回数を増やしたことで参加者は増加した。			
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) ①妊娠届け出時に育児休暇制度取得を促す「さんきゅうパパBOOK」の冊子を配布し啓発に努めている。 ②毎回、定員を越す申し込みがあることから、回数を増やして実施。プレパパ・ママ教室にて「パパのための育児BOOK」を配布し、家事や育児協力を促している。			
	(取組の効果と課題) ②参加後のアンケート結果より満足度が高く、夫婦で実習することで、父親の育児への意識が高められている。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	②本教室だけでなく、効率的効果的に啓発できる方法の検討が必要。			

基本方向	1	あらゆる分野における男女共同参画の推進		
基本課題	3	仕事と生活における男女共同参画		
主な取組	2	男性の家事・育児・介護への参画を促進する環境の整備		
取組の具体的内容	子供や青少年を対象とした料理に関する講座を実施します			
担当室課	男女共同参画センター		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	対象講座延べ受講者数(子供・青少年)		16人	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	16人	17人	8人	－
実績値における 前年度からの増減理由	新しいテーマの講座企画に要する時間を十分に確保することとし、全体の講座のバランスの中で、年に2回実施していた父と子で協力して作る料理講座が令和6年度は1回の実施となったため。			
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 子供が積極的に家事に参加することを促すため、父と子で協力して料理をする講座を、夏休みに実施した。			
	(取組の効果と課題) 料理を通して、楽しく学んでもらうことができた。			
取組に対する 事業の評価	B	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	ニーズが高く、受講者の満足度も高い講座であるので、継続して実施していく。			

基本方向	1	あらゆる分野における男女共同参画の推進		
基本課題	3	仕事と生活における男女共同参画		
主な取組	2	男性の家事・育児・介護への参画を促進する環境の整備		
取組の具体的内容	育児施設における父親向けのプログラムを充実します			
担当室課	保育幼稚園室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	男性の育児について情報共有と啓発		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	—	—	—	—
実績値における 前年度からの増減理由	—			
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 地域の育児教室などで、土曜日の午前中などにファミリーデーなどを開催し、父親も一緒に参加できるような内容の企画をした。			
	(取組の効果と課題) 通常の育児教室にも父親の参加が増えつつある。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	今後も引き続き開催し、父親が参加しやすい地域事業を行っていく。			

基本方向	1	あらゆる分野における男女共同参画の推進		
基本課題	3	仕事と生活における男女共同参画		
主な取組	2	男性の家事・育児・介護への参画を促進する環境の整備		
取組の具体的内容	育児施設における父親向けのプログラムを充実します			
担当室課	のびのび子育てプラザ		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	開催回数、参加人数		48回、960人	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	開催回数 48回 参加人数 640人	開催回数 42回 参加人数 581人	開催回数 38回 参加人数 515人	—
実績値における 前年度からの増減理由	毎月開催を目標にしているが、4月と8月に実施しなかったため(1回あたりの平均参加人数は増減なし)			
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 特に月齢の小さい赤ちゃんの父親が子への関わりに自信が持てるよう工夫している。毎月継続的に参加される方もある。			
	(取組の効果と課題) おとうさんとあそぼう(親子教室)の開催時だけでなく、父親と子供で来館される方が増えている。			
取組に対する 事業の評価	B	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	父親が主体的に育児に参加できるように、引き続き継続して実施する。			

基本方向	1	あらゆる分野における男女共同参画の推進		
基本課題	3	仕事と生活における男女共同参画		
主な取組	3	仕事と育児の両立のための保育環境の整備		
取組の具体的内容	保育所等の整備により、保育の受け皿を確保します			
担当室課	保育幼稚園室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	待機児童数(各年4月1日時点)		0人	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	0人 (新たな保育の受け皿確保数 1か所、100人)	0人 (新たな保育の受け皿確保数 0か所、0人)	4人 (新たな保育の受け皿確保数 5か所、166人)	—
実績値における 前年度からの増減理由	保育施設利用申込者の急増による。			
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 保育施設の設置者募集等を実施した。			
	(取組の効果と課題) 施設整備等により保育提供量を確保したものの、一部年齢では依然として不足している。			
取組に対する 事業の評価	C	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	保育施設利用申込数は増加傾向にあることから、引き続き提供量の確保方策を進めていく。			

基本方向	1	あらゆる分野における男女共同参画の推進		
基本課題	3	仕事と生活における男女共同参画		
主な取組	3	仕事と育児の両立のための保育環境の整備		
取組の具体的内容	児童の放課後の家庭に代わる安心・安全な居場所と保育を提供します			
担当室課	放課後子ども育成室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	留守家庭児童育成室の待機児童数		0人	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	待機児童数 11人 (入室児童数 4,688人)	待機児童数 106人 (入室児童数 4,962人)	待機児童数 7人 (入室児童数 5,395人)	—
実績値における 前年度からの増減理由	入室希望児童の大幅な増加に伴い、必要な指導員の確保ができなかったため。			
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 育成室の入室希望児童が大幅に増加している状況を踏まえ、小学校の協力を得ながら必要な施設の確保を進めた。一方で、指導員の欠員を解消するため、人材派遣サービス活用等により指導員の確保を行うとともに、令和7年度から運営委託する4育成室の事業者を選定、引継ぎを進めた。 また、昨年度に引き続き、待機児童対策として放課後キッズスクエアを開設し、待機児童の居場所の確保に努め、国の交付金を活用し、運営業務を委託している育成室の安定運営のために放課後児童支援員等処遇改善事業を実施した。			
	(取組の効果と課題) 児童数の増加と指導員不足により待機児童が発生する可能性のある11か所において放課後キッズスクエアを開設することで、児童の居場所の提供と保護者の就労支援を図った。 令和6年4月時点で入室申請者数は5,503人、入室児童数は5,395人で、108人が待機児童となり、そのうちの71人が放課後キッズスクエアを利用した。待機児童については、最終的には令和7年3月時点で7人となった。			
取組に対する 事業の評価	B	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	年々増加する入室希望児童数に対応し、待機児童を生じさせないため、指導員の定着に向けた手立てを検討するとともに、運営業務委託についても既存委託育成室の安定運営を確認しながら、今後の実施を検討する。 また、これまでの対応だけでなく、様々な手法を検討し、持続可能な事業の在り方を検討していく。			

基本方向	1	あらゆる分野における男女共同参画の推進		
基本課題	4	地域における男女共同参画		
主な取組	1	防災・防犯分野における女性の参画拡大		
取組の具体的内容	女性の視点を地域防災計画や防災・防犯施策に反映させるため、吹田市防災会議等の防災・防犯に関する政策・方針決定過程へ、女性の学識経験者等を積極的に登用し、女性の参画を拡大します			
担当室課	危機管理室		計画推進の指標番号	9
目標	項目		数値等	
	男女共同参画の視点をを入れる取組の有無			
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	男女共同参画の視点を防災施策に反映するため、外部委員3名(女性)を委嘱した。	男女共同参画の視点を防災施策に反映するため、外部委員4名(女性)を委嘱した。	男女共同参画の視点を防災施策に反映するため、外部委員4名(女性)を委嘱した。	－
実績値における前年度からの増減理由	増減なし			
令和6年度の取組状況	(取組の実施状況) 男女共同参画の視点を防災施策に反映するため、外部委員(女性4名)の意見を聴取。			
	(取組の効果と課題) 女性の視点を踏まえ、地域防災計画を修正。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	委員に含まれてはいないが、消防庁へ出向中の女性職員、新規採用(災害マネジメントコース)職員の女性職員など新しい観点からの意見も聴取し、地域防災計画に女性の視点を加えた修正を引き続き行う。			

基本方向	1	あらゆる分野における男女共同参画の推進		
基本課題	4	地域における男女共同参画		
主な取組	1	防災・防犯分野における女性の参画拡大		
取組の具体的内容	避難所運営や災害ボランティア活動などにおいてジェンダーの視点からの配慮に取り組みます			
担当室課	危機管理室		計画推進の指標番号	9
目標	項目		数値等	
	男女共同参画の視点をを入れる取組の有無		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	地域防災リーダー育成講習において、男女共同参画センター主催の参画スタッフ養成セミナーと連携することで、男女共同参画の視点を取り入れた。	地域への防災講座を実施する際に、災害時における男女共同参画の視点を踏まえた内容とした。	地域への防災講座を実施する際に、災害時における男女共同参画の視点を踏まえた内容とした。	—
実績値における前年度からの増減理由	—			
令和6年度の取組状況	(取組の実施状況) 防災講座の内容に、男女共同参画の視点を盛り込むとともに、HUG(避難所運営ゲーム)を実施して避難所運営開設の注意点の共有などを行うことで、避難所運営における男女共同参画の必要性を説明した。			
	(取組の効果と課題) 災害時における男女共同参画の必要性について地域と共有を行えた。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	引き続き、男女共同参画の視点を踏まえた防災講座の内容を充実させるとともに、女性の避難所運営への参画の必要性を啓発する。			

基本方向	1	あらゆる分野における男女共同参画の推進		
基本課題	4	地域における男女共同参画		
主な取組	1	防災・防犯分野における女性の参画拡大		
取組の具体的内容	女性消防職員の採用・登用を促進するとともに、職業能力の向上を支援します			
担当室課	総務予防室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	女性消防職員の採用		3人	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	1名	0名	4名	－
実績値における 前年度からの増減理由	令和6年度実施の採用試験において、女性4名を採用できたため。			
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 市内各大学及び近隣専門学校へ出向き、就職担当者や在校生に直接説明会等を実施。また、SNSやホームページを活用し、積極的にPRを実施した。			
	(取組の効果と課題) 応募人数も大幅に増えたため、一定の効果はあったと思われるが、7名に内定を出したにも関わらず、3名の辞退者が出たため、辞退理由から課題を見出し、今後の対策を考える必要がある。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	合格辞退者の傾向から地元への就職という回答も一定あるため、広報対象として若年層(中学生)も視野に入れたPR活動を実施していく。			

基本方向	1	あらゆる分野における男女共同参画の推進		
基本課題	4	地域における男女共同参画		
主な取組	1	防災・防犯分野における女性の参画拡大		
取組の具体的内容	女性消防団員の入団を促進し、防災分野における女性の参画拡大に取り組みます			
担当室課	総務予防室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	女性消防団員の入団		8名	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	5名	4名	2名	－
実績値における 前年度からの増減理由	2名の新規入団があったため。			
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 消防団PR動画を二十歳を祝う式典等で流すことや、各種イベント(吹田スタジアムフェスタやグリーンプレイスフェスタ等)に参加し、多くの市民等に入団を呼び掛けた。また、女性団員の活動環境を整えるため、女性団員が所属する詰所に女性用トイレを増設した。			
	(取組の効果と課題) 新規入団はあったものの、若年層の入団希望者が少ないためPRの方法や女性が活躍できる活動の幅を増やすなど、引き続き消防団幹部と連携を図る必要がある。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	令和6年度の取組みを継続するとともに、SNSを活用したPR活動などを実施し、若年層にも周知できるよう大学等への連携を検討する。			

基本方向	1	あらゆる分野における男女共同参画の推進		
基本課題	4	地域における男女共同参画		
主な取組	2	男女共同参画を推進する市民団体等への支援		
取組の具体的内容	男女共同参画に関するリーダー養成講座の開催や、市民団体等の交流・ネットワークづくりを支援します			
担当室課	男女共同参画センター		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	対象講座延べ受講者数		320人	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	382人	334人	392人	－
実績値における前年度からの増減理由	参画スタッフ(市民ボランティア)養成講座の受講者数が多かったため。			
令和6年度の取組状況	(取組の実施状況) 男女共同参画の視点を持ち、情報発信力などのスキルを身に付けた人材を育成するための講座を開催した。また、子育て中の人の学習を支援するために、受講中の一時保育を担う人材を養成する講座を開催した。 また、市民の男女共同参画の活動に部屋を貸し出すほか、センターを拠点に活動する市民団体等を支援するため、センター内の印刷機の使用許可や、登録団体へのロッカー及びレターケースの無償貸与等を行った。			
	(取組の効果と課題) 男女共同参画の基礎知識を学ぶだけではなく、その後、当センター内で市民スタッフとして登録・活動してもらい、リーダーシップを発揮できる場を提供できている。 市民団体等への活動支援は一定行うことができたが、新たな団体等の利用促進等が課題である。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	対象講座を受講してもらうために、引き続き市民に対して周知を行う。その際は、男女共同参画に関するテーマについて、自分事として考えてもらえるように市民に伝わりやすい言葉で発信する。 また、新たな団体の利用促進方法について検討していく。			

基本方向	1	あらゆる分野における男女共同参画の推進		
基本課題	4	地域における男女共同参画		
主な取組	3	地域活動におけるジェンダー平等の推進		
取組の具体的内容	性別にかかわらず参加できるよう市民公益活動を支援します			
担当室課	市民自治推進室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	設定なし		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	—	—	—	—
実績値における前年度からの増減理由				
令和6年度の取組状況	(取組の実施状況) ボランティア・NPO初歩講座、地域人材育成のための連続講座等の実施や、週末や余暇の新しい過ごし方として、「短時間でできる(ぷち)ボランティア活動」のプログラムの提供等、性別に関わらず市民公益活動に参加いただけるよう支援を実施した。また、市民公益活動団体相互及び市民・事業者・行政・地域社会等との交流・連携を促進する事業として、市民協働のニーズを受け付け、分野やセクターを超えた連携・マッチングの支援ができる状況を整えた。			
	(取組の効果と課題) 市民が、ボランティアやNPO、地域の活動について知り、自分に合った市民公益活動を見つけ参加することに繋がった。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	今後も、市民のボランティア活動のきっかけとなるように広報活動やマッチングを実施し、また市民公益活動団体相互及び市民・事業者・行政・地域社会等との交流・連携を促進できるよう、体制を確保していく。			

基本方向	1	あらゆる分野における男女共同参画の推進		
基本課題	4	地域における男女共同参画		
主な取組	3	地域活動におけるジェンダー平等の推進		
取組の具体的内容	ジェンダーの視点をもったボランティア人材を養成します			
担当室課	男女共同参画センター		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	対象講座延べ受講者数		320人	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	382人	334人	392人	－
実績値における 前年度からの増減理由	参画スタッフ(市民ボランティア)養成講座の受講者数が多かったため。			
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 男女共同参画の視点を持ち、情報発信力などのスキルを身に付けた人材を育成するための講座を開催した。男女共同参画について正面から考えてもらうためのテーマを取り入れた。また、子育て中の人の学習を支援するために、受講中の一時保育を担う人材を養成する講座を開催した。			
	(取組の効果と課題) 男女共同参画の基礎知識を学ぶだけではなく、その後、当センター内で市民スタッフとして登録・活動してもらい、リーダーシップを発揮できる場を提供できている。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	対象講座を受講してもらうために、引き続き市民に対して周知を行う。その際は、男女共同参画に関するテーマについて、自分事として考えてもらえるように市民に伝わりやすい言葉で発信する。			

基本方向	1	あらゆる分野における男女共同参画の推進		
基本課題	4	地域における男女共同参画		
主な取組	3	地域活動におけるジェンダー平等の推進		
取組の具体的内容	地域における女性の参画状況の調査結果を公表するとともに、各種団体における女性の参画拡大に向けて意識啓発を行います			
担当室課	人権政策室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	自治会長における女性の割合の調査		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	—	—	—	—
実績値における 前年度からの増減理由				
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 自治会長における女性の割合を調査し、結果を公表した。			
	(取組の効果と課題) 調査結果を公表することにより、地域活動における女性の参画状況の現状を周知することができた。 男女共同参画意識の醸成には継続した啓発が必要。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	今後も効果的な啓発方法を検討していく。			

男女共同参画に関する施策の実施状況

基本方向2

暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	1	暴力やハラスメント根絶の基盤づくり		
主な取組	1	暴力の根絶のための意識啓発と環境整備		
取組の具体的内容	暴力(DV、ハラスメント等)、性の商品化等の根絶のため、パンフレットや市報その他の広報誌等を通じて広報、啓発を推進します			
担当室課	人権政策室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	啓発冊子等の発行部数		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	Wリボンプロジェクトチラシ 8,000枚	Wリボンプロジェクトチラシ 8,000枚	Wリボンプロジェクトチラシ 8,000枚	—
実績値における 前年度からの増減理由				
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 人権政策室が主催するイベント等で「暴力のない安心安全のまち、すいた」の実現に向けて啓発用チラシを配布するとともに、ホームページ、LINE、XなどSNSにて情報を発信した。また、スタジアムフェスタに出展し、暴力防止の取組を広く周知した。			
	(取組の効果と課題) 日頃人権の問題などに関心のない人たちにも周知できた。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	意識啓発に当たっては継続した取組が必要で、今後も様々な機会、媒体を通じて暴力防止の啓発に努める。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	1	暴力やハラスメント根絶の基盤づくり		
主な取組	1	暴力の根絶のための意識啓発と環境整備		
取組の具体的内容	暴力(DV、ハラスメント等)、性の商品化等の根絶のため、パンフレットや市報その他の広報誌等を通じて広報、啓発を推進します			
担当室課	男女共同参画センター		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	啓発誌ソフィアにおいてDV関連の記事を掲載する		1記事	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	3記事/ソフィア103号 デートDVとWリボンプロジェクト 等の記事を掲載	2記事/ソフィア105号 Wリボンプロジェクト 等の記事を掲載	2記事/ソフィア107号 Wリボンプロジェクト 等の記事を掲載	—
実績値における 前年度からの増減理由				
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) ソフィアの中で、W(ダブル)リボンプロジェクトの特集記事やお勧め図書としてDVに関する本の記事を掲載した。			
	(取組の効果と課題) ソフィア内でDVについて取り上げ、広く周知を行った。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	今後も引き続きDVに関する啓発を行っていく。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	1	暴力やハラスメント根絶の基盤づくり		
主な取組	1	暴力の根絶のための意識啓発と環境整備		
取組の具体的内容	学校、保育所・幼稚園等を通じて、保護者等へパンフレットの配布などによる情報提供を行い、暴力の根絶に向けた広報・啓発に努めます			
担当室課	家庭児童相談室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	リーフレットの配布部数		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	22,000部	47,000部	47,000部	－
実績値における前年度からの増減理由	前年度と同数配布した。			
令和6年度の取組状況	(取組の実施状況) 児童虐待防止推進月間において、啓発用のポスターやリーフレットを保育園や幼稚園に加え小学校・中学校に配布した。 また、市民向けの講演会の開催を行うとともに、すこやか親子室での乳幼児健診時に児童虐待防止に関するリーフレットを配布するなど、児童虐待防止に向けた啓発活動を行った。			
	(取組の効果と課題) 市民に対し、様々な場面で児童虐待防止に関する啓発活動を行うことで、児童虐待防止への意識の醸成を図ることができた。引き続き虐待防止に向け広報・啓発を行っていく必要がある。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	引き続き児童虐待防止について広報、啓発を行っていく必要がある。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	1	暴力やハラスメント根絶の基盤づくり		
主な取組	1	暴力の根絶のための意識啓発と環境整備		
取組の具体的内容	学校、保育所・幼稚園等を通じて、保護者等へパンフレットの配布などによる情報提供を行い、暴力の根絶に向けた広報・啓発に努めます			
担当室課	保育幼稚園室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	暴力を許さない意識の啓発		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	—	—	-	—
実績値における前年度からの増減理由	—			
令和6年度の取組状況	(取組の実施状況) 暴力の根絶に向けて、保護者に話をしたり掲示物を掲示したりして、暴力を許さない意識の啓発に努めた。			
	(取組の効果と課題) 個々の家庭での問題は年々多様になっており、暴力によらない子育てについて意識を持てるよう引き続き啓発が必要である。			
取組に対する事業の評価	B	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	暴力根絶のために、職員間で共通理解し、保護者への啓発を継続する。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	1	暴力やハラスメント根絶の基盤づくり		
主な取組	1	暴力の根絶のための意識啓発と環境整備		
取組の具体的内容	学校、保育所・幼稚園等を通じて、保護者等へパンフレットの配布などによる情報提供を行い、暴力の根絶に向けた広報・啓発に努めます			
担当室課	学校教育室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	「児童の権利に関する条約」啓発パンフレットの配布		小学校1年生保護者への配布100%	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	100.0%	100.0%	100.0%	－
実績値における 前年度からの増減理由	増減なし			
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 小学校1年生保護者に配布し、虐待防止やいじめ問題の解決に向けた内容や、相談窓口等についての周知・啓発を行った。合わせて、各校・園に児童の権利に関する条約パンフレットを配布するとともに、施設、PTAにも配布を行った。			
	(取組の効果と課題) 小学校入学時に保護者へ配布するにあたり、虐待やいじめ問題といった人権課題の解決に向けた内容を周知する機会となり、新入生全家庭への啓発となっている今後も、「児童の権利に関する条約」について保護者等に紹介し、人権意識の向上と啓発を目指していく必要がある。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	今後も継続して実施していく。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	1	暴力やハラスメント根絶の基盤づくり		
主な取組	1	暴力の根絶のための意識啓発と環境整備		
取組の具体的内容	市職員や教職員への研修を行います			
担当室課	人事室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	研修開催回数		1回/年度	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	2回	2回	1回	－
実績値における前年度からの増減理由	本取組に関連した内容の職員研修扱いが減少したため			
令和6年度の取組状況	(取組の実施状況) 人権政策室が主催する市民向けセミナーを職員研修扱いとした。			
	(取組の効果と課題) 人権に関するセミナーを職員研修扱いすることにより、職員の意識啓発を推進した。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	法改正や社会情勢の変化等に対応しながら、引き続き研修を実施する。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	1	暴力やハラスメント根絶の基盤づくり		
主な取組	1	暴力の根絶のための意識啓発と環境整備		
取組の具体的内容	市職員や教職員への研修を行います			
担当室課	教育センター		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	研修内容に対する肯定的評価率		(とても良い、良い) 100%	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	100.0%	100.0%	100.0%	－
実績値における 前年度からの増減理由				
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 暴力根絶のための意識啓発と環境整備に係る研修をキャリアステージに応じて計画的に実施した。			
	(取組の効果と課題) 暴力根絶に関する研修は、初任者研修や経験の少ない教職員対象の研修及び教育課題別研修において、グループワークやロールプレイなど体験的に学ぶことを通して、子供理解に関する内容に関連付けて、暴力は決して許されないことであり、自らの言動が威圧的・高圧的なものとなっていないかなど自己の振り返りや意識啓発を行った。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	アンケートの回答内容等を踏まえ、研修内容の精査を図る。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	1	暴力やハラスメント根絶の基盤づくり		
主な取組	1	暴力の根絶のための意識啓発と環境整備		
取組の具体的内容	防犯カメラ、防犯灯、街路灯等の整備など危険場所のチェックと環境改善に取り組みます			
担当室課	危機管理室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	防犯カメラの設置 (平成28年度から平成30年度までの3か年計画に基づく設置)		設置済み	
実績値	令和4年度増設台数(合計台数)	令和5年度増設台数(合計台数)	令和6年度増設台数(合計台数)	令和7年度
	97台 (804台)	92台 (899台)	0台 (899台)	—
実績値における 前年度からの増減理由	防犯カメラの適正数については機器の更新時期に合わせて検討してきたが、令和6年度は機器更新がなかったため台数の増減なし。			
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 地域の防犯力向上に資するよう地域の実情や犯罪情勢等を踏まえ、吹田警察等と連携して防犯カメラを運用した。			
	(取組の効果と課題) 犯罪認知件数は、平成30年度から減少傾向にあり、防犯カメラの設置も件数減少に一定の寄与をしているものと推測する。 防犯カメラの設置効果の検証を図るなかで、今後の設置箇所や設置台数の見直しを絶えず行っていくことが課題であると考えている。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	今後は地域の要望や、犯罪情勢にあわせて検討していく。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	1	暴力やハラスメント根絶の基盤づくり		
主な取組	1	暴力の根絶のための意識啓発と環境整備		
取組の具体的内容	防犯カメラ、防犯灯、街路灯等の整備など危険場所のチェックと環境改善に取り組みます			
担当室課	道路室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	街路灯(防犯灯)の維持補修による適切な照度確保		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	21,237灯	21,338灯	21,476灯	－
実績値における前年度からの増減理由	開発譲渡や要望等により新設されたものを含めて、総数としては若干の増となった。			
令和6年度の取組状況	(取組の実施状況) 水銀灯・蛍光灯などの照明器具をLED灯に更新している。			
	(取組の効果と課題) LED灯を設置することにより、不点灯箇所が少なくなることから、安心安全なまちづくりに一定の成果が期待できる。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	街路灯(防犯灯)については、引き続き同様の取組を行う。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	1	暴力やハラスメント根絶の基盤づくり		
主な取組	1	暴力の根絶のための意識啓発と環境整備		
取組の具体的内容	幼児期から学校教育の各段階における暴力を許さない教育の推進に努めます			
担当室課	保育幼稚園室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	気持ちを言葉で伝え合う機会を大切にする		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	－	－	－	－
実績値における前年度からの増減理由	－			
令和6年度の取組状況	(取組の実施状況) 教育・保育の中で話をしたり、絵本を見たりして、自分も友達も大切にすることを繰り返し伝えた。 友達とけんかになったときなどに、叩いたり蹴ったりして相手を傷つけるのではなく、言葉で伝えることを身につけられるように取り組んだ。			
	(取組の効果と課題) 教育・保育の中で自分も友達も大切にすることを育っている。			
取組に対する事業の評価	B	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	今後も、言葉で相手に気持ちを伝え、やりとりをする力を育めるよう、全職員の意識や指導法の学びを深める。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	1	暴力やハラスメント根絶の基盤づくり		
主な取組	1	暴力の根絶のための意識啓発と環境整備		
取組の具体的内容	幼児期から学校教育の各段階における暴力を許さない教育の推進に努めます			
担当室課	学校教育室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	生徒指導主事会・学警連絡会		年間10回以上	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	11回	11回	11回	－
実績値における前年度からの増減理由	増減なし			
令和6年度の取組状況	(取組の実施状況) 小・中学校の生徒指導主事・主担者や教育委員会事務局、吹田補導地区吹田少年補導協助力、警察、茨木サポートセンター、子ども家庭センターの関係諸機関、スクールソーシャルワーカースーパーバイザーが参加し、いじめや暴力、虐待の早期発見や早期対応、未然防止を目的として、各校のいじめ事案や暴力事案、虐待事案を関係諸機関と情報共有し、研究協議を行った。また、他校の生徒指導主事同士での交流を設け、各学校での現状や課題、取組等の好事例を共有し、資質能力向上に努めた。			
	(取組の効果と課題) 事案の現状と傾向について、より広い視野での情報を共有をすることで、各学校と教育委員会、それぞれの関係諸機関と連携し、問題行動の未然防止、問題行動を起こした児童・生徒への指導・支援、子どもたちの家庭環境の改善等、地域の一貫した指導・支援を行い、早期発見、早期対応、未然防止を進めていくことができている。 しかし、生徒指導主担者については、伝達事項が中心となることが多く、協議や交流等の時間設けていく必要があると考える。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	今後も継続して実施していく。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	1	暴力やハラスメント根絶の基盤づくり		
主な取組	1	暴力の根絶のための意識啓発と環境整備		
取組の具体的内容	家庭や学校などにおいて、ソーシャルスキルトレーニング(社会で生活するための力、コミュニケーション力)を実施するための啓発に努めます			
担当室課	学校教育室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	全中学校ブロックへのSSW(スクールソーシャルワーカー)配置時間		週20時間	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	週20時間 年43週	週20時間 年43週	週20時間 年43週	—
実績値における前年度からの増減理由	増減なし			
令和6年度の取組状況	(取組の実施状況)			
	全18中学校ブロックにSSWを週20時間配置し、いじめ、不登校、虐待等の生徒指導上の諸課題に対して、福祉的な支援を実施した。各校の会議に参画し、関係機関との連携を通じて、支援の充実を図った。また、SSWが講師としてソーシャルスキルトレーニング等をテーマとした校内研修を行った。			
	(取組の効果と課題)			
	SSWが派遣されることにより、生徒指導上の諸課題に対して、組織的な対応を可能とする学校体制の構築や、福祉的視点の浸透に寄与した。SSWによる支援ニーズは年々高まっており、安定的な人材確保や処遇改善が引き続き課題である。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	今後も継続して実施していく。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	1	暴力やハラスメント根絶の基盤づくり		
主な取組	1	暴力の根絶のための意識啓発と環境整備		
取組の具体的内容	保育教諭や教職員等を対象にした研修会を通じて、暴力根絶のための意識啓発を図ります			
担当室課	保育幼稚園室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	虐待の未然防止、早期発見の意識向上		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	－	－	－	－
実績値における 前年度からの増減理由	－			
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 保育教諭等、全職員に対して、児童虐待についての研修を実施し学ぶ機会を設けた。			
	(取組の効果と課題) 室主催の研修の他にも、各園でガイドラインなどを活用して、虐待防止の意識を高めた。			
取組に対する 事業の評価	B	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	令和7年度は、虐待防止についての研修を、正規職員は悉皆研修とし、より虐待防止の意識を高める。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	1	暴力やハラスメント根絶の基盤づくり		
主な取組	1	暴力の根絶のための意識啓発と環境整備		
取組の具体的内容	保育教諭や教職員等を対象にした研修会を通じて、暴力根絶のための意識啓発を図ります			
担当室課	学校教育室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	SSW(スクールソーシャルワーカー)担当者会		3回	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	3回	3回	3回	－
実績値における 前年度からの増減理由	増減なし			
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況)			
	学期ごとにSSW担当者会を開催し、SSWの役割や活用方法についての情報共有を行うとともに、実務的な課題に関する意見交換や研修を実施した。			
	(取組の効果と課題)			
	各校でのSSWの効果的な活用に資するとともに、担当者間の連携強化に寄与した。今後は、子どもを取り巻く課題(不登校・虐待・貧困等)への横断的対応についても研修内容に組み込んでいくとともに、中学校ブロックの交流の機会を増やす必要がある。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	今後も継続して実施していく。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	1	暴力やハラスメント根絶の基盤づくり		
主な取組	1	暴力の根絶のための意識啓発と環境整備		
取組の具体的内容	保護者対象に体罰によらない育児について啓発します			
担当室課	男女共同参画センター		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	対象講座延べ受講者数		100人	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	104人	140人	63人	－
実績値における前年度からの増減理由	センター主催で1回、のびのび子育てプラザとの共催で1回、計2回実施していたものを、令和6年度から1回分はのびのび子育てプラザに引き継ぎ、センター主催の1回の実施となったため。			
令和6年度の取組状況	(取組の実施状況) たたかず、甘やかさずに子育てをする方法を学ぶ「スター・ペアレンティング講座」を実施した。			
	(取組の効果と課題) グループワーク(受講者同士の意見交換)を取り入れ、交流しながら学ぶことができた。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	市の子育て支援に関する情報提供も行っていく。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	1	暴力やハラスメント根絶の基盤づくり		
主な取組	1	暴力の根絶のための意識啓発と環境整備		
取組の具体的内容	保護者対象に体罰によらない育児について啓発します			
担当室課	保育幼稚園室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	体罰によらない育児の啓発		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	—	—	—	—
実績値における 前年度からの増減理由	—			
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 保護者と話し、家庭の子育ての様子を把握し、個々に応じた支援を行うよう努めた。 参観や懇談会等の場において、暴力を許さない子育てについての推進を図った。			
	(取組の効果と課題) 時間的にも精神的にも余裕のない保護者に対して、対応の工夫が必要であり、難しい。			
取組に対する 事業の評価	B	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	保護者と話す機会を大切にするとともに、少しでも子供に寄り添った対応ができるように、伝え方を学ぶ必要がある。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	1	暴力やハラスメント根絶の基盤づくり		
主な取組	1	暴力の根絶のための意識啓発と環境整備		
取組の具体的内容	保護者を対象に体罰によらない育児について啓発します			
担当室課	家庭児童相談室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	親支援プログラム受講者で有効性が認められた参加者の割合		80%以上	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	90.0%	80.0%	92.2%	－
実績値における前年度からの増減理由	実績値はプログラムに対する点数評価(100点満点)が80点以上だった参加者比率を示している。本プログラムは集団での悩み等の共有と個別でのフォローを行っており、それが組み合わせることで多くの参加者の高い満足度につながった可能性がある。			
令和6年度の取組状況	(取組の実施状況) 子育てに困っている保護者を対象に、子育てのスキルや問題解決力の向上を目的とした講座を従来の平日2回に加えて休日2回実施し、平日の参加が難しい保護者の参加を促すことで児童虐待の未然防止を図った。			
	(取組の効果と課題) 9割以上の参加者に講座の有効性が認められ、保護者の子育てに対する不安や負担感が改善された。また、休日に2日コースを開催したことに対して高い評価はある一方で、グループディスカッションやより充実した内容を求める声もあり、開催日数を見直す必要がある。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	休日に開催する2回コースも平日同様7回コースにするなど、内容を充実し、改善させていく。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	1	暴力やハラスメント根絶の基盤づくり		
主な取組	1	暴力の根絶のための意識啓発と環境整備		
取組の具体的内容	保護者対象に体罰によらない育児について啓発します			
担当室課	すこやか親子室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	こども家庭庁作成の児童虐待防止リーフレット配布		100%	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	100.0%	100.0%	100.00%	—
実績値における前年度からの増減理由	増減なし			
令和6年度の取組状況	(取組の実施状況) 1歳6か月児健康診査健診票の郵送時に、こども家庭庁作成の児童虐待防止のリーフレットを同封し、全ての健診対象者に啓発を実施。			
	(取組の効果と課題) 乳幼児健診における「すこやか親子21アンケート」の虐待項目に該当があった保護者に状況確認し、相談や指導を実施。虐待事実(疑い含む)を把握した場合は、家庭児童相談室と連携して対応している。4か月児健診は個別健診であるため、タイムリーに対応できるように医師へ健診受診後すぐに連絡もらえるように依頼および周知している。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	引き続き、啓発及び必要な支援を実施していく。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	1	暴力やハラスメント根絶の基盤づくり		
主な取組	2	性犯罪・性暴力防止対策の推進		
取組の具体的内容	性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センターなどの被害者救済対策にかかる情報を周知します			
担当室課	人権政策室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	性犯罪・性暴力相談窓口の周知		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	—	—	—	—
実績値における 前年度からの増減理由				
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 市民の目に付きやすいところにポスターを掲示したり、窓口へのパンフレット、チラシの配布を行った。また、ホームページなどやSNSなど、ネット媒体を活用し、性犯罪・性暴力に関しての相談窓口を周知した。			
	(取組の効果と課題) ネットでの周知により、若年層に対し効果的な啓発ができています。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	今後も様々な媒体・機会を捉え、性犯罪・性暴力に関しての相談窓口を周知していく。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	1	暴力やハラスメント根絶の基盤づくり		
主な取組	2	性犯罪・性暴力防止対策の推進		
取組の具体的内容	性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センターなどの被害者救済対策にかかる情報を周知します			
担当室課	男女共同参画センター		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	ホームページでの周知を行う		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	ホームページにて常時周知	ホームページにて常時周知	ホームページにて常時周知	－
実績値における 前年度からの増減理由				
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 学校でのデートDV予防啓発出前授業において、相談先等の情報提供を実施した。			
	(取組の効果と課題) 常に、周知している情報が最新のものであるかどうかを確認する必要がある。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	引き続き、人権政策室と連携しながら情報共有を行っていく。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	1	暴力やハラスメント根絶の基盤づくり		
主な取組	3	ハラスメント防止体制の整備と啓発の推進		
取組の具体的内容	安心して働ける職場環境の実現のため、事業所に対してハラスメント防止対策ガイドラインの策定の支援や啓発を行います			
担当室課	地域経済振興室		計画推進の指標番号	10・11
目標	項目		数値等	
	セミナーの開催		1回	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	みんなで学ぶワークルールセミナー「職場におけるパワーハラスメント」参加者8名	みんなで学ぶワークルールセミナー「職場におけるハラスメント」参加者14名	「争いのない職場には人が集まり、辞める人も少ない」参加者22名	－
実績値における前年度からの増減理由				
令和6年度の取組状況	(取組の実施状況) 働く人・雇用する人のためのお役立ちセミナーで共催である摂津市でセミナーを開催。 他市実施分含めた合計67名			
	(取組の効果と課題) ハラスメント防止に係る情報について、事業所における雇用主及び労働者に対して、多様な媒体で情報提供・啓発をすることが重要であるため、今後も啓発に取り組んでいく。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	今後も引き続きセミナー等を通じて啓発や情報提供を実施していく。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	1	暴力やハラスメント根絶の基盤づくり		
主な取組	3	ハラスメント防止体制の整備と啓発の推進		
取組の具体的内容	市職員への周知徹底を図るとともに、研修や苦情処理制度の充実を図ります			
担当室課	人事室		計画推進の指標番号	11
目標	項目		数値等	
	研修開催回数		1回/年度	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	1回	1回	2回	－
実績値における 前年度からの増減理由	管理職と非管理職の職員別にハラスメント防止研修を実施した。			
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) ハラスメント防止研修を主査級以下向け及び課長代理級向け研修の各1回、計2回実施した。 また、ハラスメントアンケートについて様式の見直しを行い、複数設置しているハラスメント相談窓口の相談員間で連携会議を行った。			
	(取組の効果と課題) 引き続きハラスメント防止研修を実施し、働きやすい職場づくりを進めていく。 また、ハラスメントアンケートの周知徹底により、職場の実態把握に効果があった。引き続き、ハラスメント防止の意識啓発、相談窓口の周知等を行うことで、ハラスメントのない職場環境づくりに対する職員一人ひとりの意識向上を図る。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	今後もハラスメント防止研修を継続して実施する。 引き続きハラスメントアンケートを実施する。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	1	暴力やハラスメント根絶の基盤づくり		
主な取組	3	ハラスメント防止体制の整備と啓発の推進		
取組の具体的内容	市職員への周知徹底を図るとともに、研修や苦情処理制度の充実を図ります			
担当室課	人権政策室		計画推進の指標番号	11
目標	項目		数値等	
	市職員からのハラスメント相談件数		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	0件	0件	0件	－
実績値における 前年度からの増減理由				
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 人権政策室へのハラスメント相談はなかった。			
	(取組の効果と課題) ここ数年間は相談事例がないため、相談に対応する職員の知識・経験の不足が課題となっている。			
取組に対する 事業の評価	B	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	研修等に参加することで知識の不足を補い、今後対応していく。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	1	暴力やハラスメント根絶の基盤づくり		
主な取組	3	ハラスメント防止体制の整備と啓発の推進		
取組の具体的内容	教職員に対して、「吹田市立学校におけるハラスメントの防止及び対応に関する指針」に基づき対応し、研修を行い啓発を推進します			
担当室課	教職員課		計画推進の指標番号	11
目標	項目		数値等	
	各種ハラスメントに対する教職員の意識向上と相談体制の充実		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	－	－	－	－
実績値における 前年度からの増減理由				
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) ・令和4年5月に改訂した市各種ハラスメントの防止及び対応に関する指針を活用し、ハラスメントに対する意識向上と、相談体制の充実に取り組んだ。 ・各種ハラスメントに関する管理職研修の実施や不祥事防止に関する資料を基にした綱紀保持に関する積極的な注意喚起に取り組んだ。 ・「職場における教職員間のハラスメントに係る実態調査アンケート」を実施した。			
	(取組の効果と課題) ・各校では校内相談窓口を設置し、指針をもとに、ハラスメントに対する意識の向上、相談体制の充実に取り組んでいる。また、当課から発出した資料を活用し、校内研修を実施するなど、未然防止と組織的な対応を行っている。 ・アンケートの実施により、ハラスメントの実態把握ができ、ハラスメントの未然防止や早期発見のための方策を講じる手立てとなった。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	引き続き、市各種ハラスメントの指針に基づき、セクシュアル・ハラスメント、パワー・ハラスメント、妊娠・出産・育児休業等に関するハラスメントの防止体制の整備と啓発の推進に努める。また、「職場における教職員間のハラスメント実態把握アンケート」の結果を踏まえ、管理職や教職員への研修を実施する等、働きやすい環境づくりを目指して、ハラスメントの予防・解決に向けた取組みを推進する。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	1	暴力やハラスメント根絶の基盤づくり		
主な取組	3	ハラスメント防止体制の整備と啓発の推進		
取組の具体的内容	教職員に対して、「吹田市立学校におけるハラスメントの防止及び対応に関する指針」に基づき対応し、研修を行い啓発を推進します			
担当室課	教育センター		計画推進の指標番号	11
目標	項目		数値等	
	研修内容に対する肯定的評価率		(とても良い、良い) 100%	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	100.0%	100.0%	100.0%	－
実績値における 前年度からの増減理由				
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) ハラスメント根絶のための意識啓発と環境整備に係る研修をキャリアステージに応じて計画的に実施した。			
	(取組の効果と課題) ハラスメント根絶に関する研修は、初任者研修や経験の少ない教職員対象の研修及び教育課題別研修において、グループワークやロールプレイなど体験的に学ぶことを通して、子供理解に関する内容に関連付けて、自身の言動が意図せず誰かを傷つけてしまっていないかやハラスメントとなっていないかなど自己の振り返りや意識啓発を行った。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	アンケートの回答内容等を踏まえ、研修内容の精査を図る。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	1	暴力やハラスメント根絶の基盤づくり		
主な取組	3	ハラスメント防止体制の整備と啓発の推進		
取組の具体的内容	消防職員に対して、「吹田市消防職員パワーハラスメント防止に関する指針」を周知徹底するとともに、ハラスメントに関する研修を実施します			
担当室課	総務予防室		計画推進の指標番号	11
目標	項目		数値等	
	ハラスメントの撲滅		0件	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	0件	0件	0件	－
実績値における前年度からの増減理由	ハラスメントに至らない相談は数件あったが、ハラスメントと認定された案件はないため。			
令和6年度の取組状況	(取組の実施状況) 幹部を中心に風通しのよい職場づくりを心掛け、昨年度は管理職員を対象に「Z世代」に関する研修をおこない、世代間ギャップや考え方の違い等を理解し、コミュニケーションの取り方等を十分に考える場を設けた。			
	(取組の効果と課題) 以前に比べて減ってはきているが、危険を伴う業務上、指導においてパワーハラスメントになりかねない場面があるため、必要な指導とハラスメントの違いを認識する必要がある。			
取組に対する事業の評価	B	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	研修については全世代(年代・役職)に見合った内容を計画的に受講させ、ハラスメント防止に努めていく。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	1	暴力やハラスメント根絶の基盤づくり		
主な取組	3	ハラスメント防止体制の整備と啓発の推進		
取組の具体的内容	子供が安心して暮らせる環境の実現のため、小・中学生が相談できる窓口(学校内・学校外)を充実します			
担当室課	教育センター		計画推進の指標番号	11
目標	項目		数値等	
	市内保育所・幼稚園 市立小・中学校への 教育相談チラシの配布率		100%	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	100.0%	100.0%	100.0%	—
実績値における 前年度からの増減理由				
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 市内保育所・幼稚園、市内小・中学校への教育相談チラシの配付			
	(取組の効果と課題) 教育センターの事業である教育相談について周知することができている。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	今後も継続してチラシの配布を進めていく。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	1	暴力やハラスメント根絶の基盤づくり		
主な取組	3	ハラスメント防止体制の整備と啓発の推進		
取組の具体的内容	安心して働ける職場環境の実現のため、市職員や事業所等におけるこころの健康(メンタルヘルス)のための取組を推進します			
担当室課	人事室		計画推進の指標番号	10・11
目標	項目		数値等	
	セルフケア研修 ラインケア研修		セルフケア研修(新規採用職員対象・全職員対象/年) ラインケア研修(新任主査級対象・新任課長・課長代理級対象/年)	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	セルフケア研修(新規採用職員対象・全職員対象) ラインケア研修(新任主査級対象・新任課長・課長代理級対象)	セルフケア研修(新規採用職員対象・全職員対象) ラインケア研修(新任主査級対象・新任課長・課長代理級対象)	セルフケア研修(新規採用職員対象・全職員対象) ラインケア研修(新任主査級対象・新任課長・課長代理級対象)	—
実績値における 前年度からの増減理由				
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) セルフケア研修は新規採用職員対象と全職員を対象としたものを行った。 ラインケア研修は新任主査級対象と新任課長級・課長代理級を対象としたものを行い、新たな取り組みとして、新任課長級・課長代理級対象の研修の際に所属長としてラインケアで実践していたことを部長級職員1名を講師としてお願いした。 セルフケア研修では自身のメンタルケアの重要性を伝え、具体的な取り組みの例などを提示している。ラインケア研修においても、まずは自身のメンタルケアが大事であることを伝えたくて、部下への関わり方で気を付ける点などを伝える内容とした。			
	(取組の効果と課題) 研修後のアンケートでは、研修内容の理解度は高く、実践していきたいとの声が多数聞かれた。 一方で、産業医面談等で職場の対人関係等についての相談を受けることもあるため、そうした悩みが所属内で相談できるようにしていく必要性がある。そのためにも今後も継続して対象別の研修を行い、職場の環境改善に向けた取り組みを行っていく。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	引き続き効果的な内容の研修を実施していく。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	1	暴力やハラスメント根絶の基盤づくり		
主な取組	3	ハラスメント防止体制の整備と啓発の推進		
取組の具体的内容	安心して働ける職場環境の実現のため、市職員や事業所等におけるこころの健康(メンタルヘルス)のための取組を推進します			
担当室課	地域経済振興室		計画推進の指標番号	10・11
目標	項目		数値等	
	ハラスメント防止体制の整備と啓発の推進		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	－	－	－	－
実績値における 前年度からの増減理由				
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 市HPにおいて、メンタルヘルスの対策に関する情報を掲載。			
	(取組の効果と課題) メンタルヘルス対策における課題の把握や、具体的な取組方法について検討していくことは重要であり、今後も継続した啓発活動を実施していく。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	今後も引き続きメンタルヘルス対策に関する情報提供を実施していく。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援		
主な取組	1	DV防止に向けた啓発の推進		
取組の具体的内容	DVを防止するための講座などを開催します			
担当室課	男女共同参画センター		計画推進の指標番号	12・14
目標	項目		数値等	
	対象講座延べ受講者数		80人	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	142人	88人	93人	－
実績値における 前年度からの増減理由	講演会の受講者が増加したため。			
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 不機嫌という感情表現がときには精神的暴力になることをテーマにした講演会を開催した。			
	(取組の効果と課題) 自分の行動や言動が暴力となっていないか考える機会を提供できた。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	多くの人が関心のあるテーマに関する講演会を引き続き企画していく。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援		
主な取組	1	DV防止に向けた啓発の推進		
取組の具体的内容	パンフレット、ホームページ、SNSなどを活用し、すいたストップDVステーション(DV相談室)等相談窓口の周知に努めます			
担当室課	すいたストップDVステーション		計画推進の指標番号	12・14
目標	項目		数値等	
	啓発冊子等の発行部数		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	Wリボンプロジェクトチラシ 8,000枚	すいたストップDVステーション 啓発用パンフレット5,000部 Wリボンプロジェクトチラシ 8,000枚	すいたストップDVステーション 啓発用パンフレット5,000部 Wリボンプロジェクトチラシ 8,000枚 しおり10,000部	—
実績値における 前年度からの増減理由	保健センターで母子手帳配布時に挟んでいるしおりの内容をリニューアルして作成したため。			
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 関係室課窓口や市内公共施設等へ啓発用パンフレットを設置するとともに、ホームページ、LINEやFacebook等のSNSで情報発信を行った。イベントでWリボンプロジェクトのチラシを配布し、相談窓口の周知を行った。Wリボンプロジェクトのしおりをリニューアルし、妊婦への配布や公共施設での設置を行った。			
	(取組の効果と課題) 相談者からホームページやパンフレットを見て相談に来たとの声を聴いている。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	様々な媒体を通じて、すいたストップDVステーションをはじめとする各種相談窓口の周知、DV防止に向けた啓発を実施していく。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援		
主な取組	1	DV防止に向けた啓発の推進		
取組の具体的内容	パンフレット、ホームページ、SNSなどを活用し、すいたストップDVステーション（DV相談室）等相談窓口の周知に努めます			
担当室課	男女共同参画センター		計画推進の指標番号	12・14
目標	項目		数値等	
	ホームページにて常時周知を行う		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	ホームページにて常時周知	ホームページにて常時周知	ホームページにて常時周知	－
実績値における 前年度からの増減理由				
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) ホームページで相談窓口の案内をしている。また、すいたストップDVステーションなどと連携して相談先の電話番号が入ったウェットティッシュを作成し、啓発に努めた。			
	(取組の効果と課題) ホームページを見て相談につながるケースがあるので、被害者救済に効果的である。また啓発グッズは、配布場所やターゲットを想定しながら作成し、効果的に周知することを心掛ける。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	今後も必要としている方に情報が届くよう周知に努める。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援		
主な取組	1	DV防止に向けた啓発の推進		
取組の具体的内容	若年層に向けたデートDV予防啓発を推進します			
担当室課	男女共同参画センター		計画推進の指標番号	13・14
目標	項目		数値等	
	出前授業実施校数		市内の全市立中学校(18校)	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	11校	14校	11校	－
実績値における前年度からの増減理由	実施を希望する校数が減ったため。			
令和6年度の取組状況	(取組の実施状況) 大学生ユースリーダー及び外部講師とともに、デートDV予防啓発出前授業を市内中学校11校(12学年)で実施した。 また、高校生、大学生向けのデートDV予防啓発出前授業も実施した。			
	(取組の効果と課題) 若年層への啓発はDVだけではなくいじめやハラスメント防止の観点からも好評であり、今後も実施校数を増やしていくため、引き続き中学校と連携して授業を行う。			
取組に対する事業の評価	B	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	市内の全中学校の生徒がデートDVについて学ぶ機会を得られるよう、学校と連携して取り組む。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援		
主な取組	1	DV防止に向けた啓発の推進		
取組の具体的内容	「暴力のない安心・安全のまち、すいた」の実現を目指し、Wリボンマークの普及に努めます			
担当室課	人権政策室		計画推進の指標番号	12・14
目標	項目		数値等	
	Wリボンマークの周知		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	－	－	－	－
実績値における 前年度からの増減理由				
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 市所有公用車にWリボンマグネットを貼付している他、市内郵便局との包括連携協定により集配車両にもWリボンマグネットを貼付するなどし、市民へ広く周知した。 また、スタジアムフェスタに出展し、Wリボンマークの趣旨とWリボンプロジェクトの活動についてフェスタの参加者に周知した。			
	(取組の効果と課題) 人が多く集まる場で周知できた。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	今後も様々な機会を捉え、Wリボンマークの普及に努める。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援		
主な取組	1	DV防止に向けた啓発の推進		
取組の具体的内容	「暴力のない安心・安全のまち、すいた」の実現を目指し、Wリボンマークの普及に努めます			
担当室課	家庭児童相談室		計画推進の指標番号	12・14
目標	項目		数値等	
	市民向け講演会の参加者数		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	16人	53人	36人	－
実績値における前年度からの増減理由	前年度に比べ、より専門性の高い内容であったことが参加者数に影響した可能性はある。			
令和6年度の取組状況	(取組の実施状況) 児童虐待防止推進月間において、啓発用のポスターやチラシを保育園や幼稚園等に配付したほか、市民向けの講演会の開催を行うとともに、保健センターでの乳幼児健診時に児童虐待防止に関するリーフレットを配布するなど、児童虐待防止に関する啓発活動を行った。			
	(取組の効果と課題) 市民に対し、様々な場面で児童虐待防止に関する啓発活動を行うことで、児童虐待防止への意識の醸成を図ることができた。市民向け講座は市民にとってわかりやすい内容で児童虐待防止や子育ての支援につなげる必要があると感じている。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	今後も引き続き、児童虐待防止に関する広報や啓発活動を行っていく必要がある。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援		
主な取組	1	DV防止に向けた啓発の推進		
取組の具体的内容	「暴力のない安心・安全のまち、すいた」の実現を目指し、Wリボンマークの普及に努めます			
担当室課	男女共同参画センター		計画推進の指標番号	12・14
目標	項目		数値等	
	Wリボンバッジの販売		常時	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	－	－	－	－
実績値における 前年度からの増減理由				
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) Wリボンバッジ(通常バージョン、すいたんバージョン)を販売し、W(ダブル)リボンマークの普及に努めている。また、児童部と連携して講演会や講座、啓発活動を集中的に行う「Wリボンプロジェクトinすいた」を11月に実施した。			
	(取組の効果と課題) SNSや市報等における周知において、市民の目につきやすい方法を検討する。 関連講座については、テーマが重くなりすぎず、市民が自分事として考えてもらえるような内容のものを企画する。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	多くの人に啓発できるよう継続して取り組んでいく。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援		
主な取組	2	相談体制の整備充実		
取組の具体的内容	研修等を通じて、相談員のスキルアップの向上に努め、配偶者暴力相談支援センターの機能を持つ「すいたストップDVステーション」の相談体制の充実を図ります			
担当室課	すいたストップDVステーション		計画推進の指標番号	12・14
目標	項目		数値等	
	研修、連絡会への参加		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	会場参加研修 9回 オンライン研修 1回 府内DV会議出席 3回	会場参加研修 9回 オンライン研修 1回 府内DV会議出席 3回	会場参加研修 7回 府内DV会議出席 3回	—
実績値における前年度からの増減理由	例年と重複した研修が多かったため。			
令和6年度の取組状況	(取組の実施状況) 大阪府が実施する研修に参加し、相談員のスキルアップに努めた。また、府内の市町村が出席する連絡会議において、半期ごとに課題を出し合い、他市町村の相談体制やDV防止の取組について意見交換を行った。			
	(取組の効果と課題) 研修で学んだ内容を生かして相談業務にあたっている。大阪府や他市町村との交流が図られていることで、困難事例や制度改正等の対応について、情報交換を行いやすい関係が構築されている。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	今後も研修や連絡会議に積極的に参加し、DV被害者支援に生かしていく。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援		
主な取組	2	相談体制の整備充実		
取組の具体的内容	DV相談担当者や各室課の窓口対応者への研修の実施及び弁護士・警察等との連携の強化に取り組みます			
担当室課	人権政策室		計画推進の指標番号	14
目標	項目		数値等	
	DV防止ネットワーク会議の開催回数		(代表者会)1回 (実務担当者会議)1回	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	(代表者会)1回 (実務担当者会議)1回	(代表者会)1回 (実務担当者会議)1回	(代表者会)1回 (実務担当者会議)1回	—
実績値における 前年度からの増減理由				
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 弁護士や警察等の関係機関が出席する吹田市DV防止ネットワーク会議代表者会においてDVの事例報告を行い、情報を共有した。DV防止ネットワーク実務担当者会議では大阪府の職員による研修を実施し、意見交換の場を設けた。			
	(取組の効果と課題) 情報共有ができているため、DV被害者の支援にスムーズに対応してもらっている。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	今後も関係室課との連携強化に努め、法改正に伴う研修や事例報告などを実施する。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援		
主な取組	2	相談体制の整備充実		
取組の具体的内容	日本語が話せない相談者のために通訳等の適切なサポートを行います			
担当室課	文化スポーツ推進室		計画推進の指標番号	14
目標	項目		数値等	
	行政通訳窓口同行		100件	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	104件	103件	115件	－
実績値における前年度からの増減理由	外国籍市民数は近年増加傾向であり、市内小・中学校からの通訳依頼が増加していることから、令和5年度と比較して令和6年度の件数が増加している。			
令和6年度の取組状況	(取組の実施状況) 【コミュニティ通訳ボランティア同行事業】 ・リーフレットやホームページで再度関係機関へも広く周知した。また、行政通訳同行業務通訳ボランティア養成講座を実施した。 【吹田市多文化共生ワンストップ相談センター運営事業】 ・リーフレットやホームページで再度関係機関へも広く周知した。また、相談員を対象とした研修を実施した。 (取組の効果と課題) 【コミュニティ通訳ボランティア同行事業】 ・職員と外国籍市民等(利用者)との意思疎通が正確かつ円滑に行われることにより、利用者が公平なサービスを受けることができた。 ・需要が高い英語・中国語、近年需要が高まっているインドネシア語に対応できるボランティアを増やす必要がある。 【吹田市多文化共生ワンストップ相談センター運営事業】 ・相談内容より、適切な機関へとスムーズにつなぐことができた。 ・HPでの行政情報の発信について強化する必要がある。(令和7年度にリニューアル予定。)			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	引き続き、継続する。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援		
主な取組	2	相談体制の整備充実		
取組の具体的内容	相談事例から支援者のスキルアップを図り、相談者へのフィードバックにつなげます。また、被害者支援に関わる相談員等の意見交換の場を設けます			
担当室課	人権政策室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	DV防止ネットワーク会議の開催回数		(代表者会)1回 (実務担当者会議)1回	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	(代表者会)1回 (実務担当者会議)1回	(代表者会)1回 (実務担当者会議)1回	(代表者会)1回 (実務担当者会議)1回	—
実績値における 前年度からの増減理由				
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 弁護士や警察等の関係機関が出席する吹田市DV防止ネットワーク会議代表者会においてDVの事例報告を行い、情報を共有した。DV防止ネットワーク実務担当者会議では大阪府の職員による研修を実施し、意見交換の場を設けた			
	(取組の効果と課題) 事例報告や事例検討、それに伴う意見交換を行う被害者の支援に関わる相談員のスキルアップにつながっている。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	今後も引き続き支援員のスキルアップから相談者の支援につながる方策を進めていく。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援		
主な取組	2	相談体制の整備充実		
取組の具体的内容	相談事例から支援者のスキルアップを図り、相談者へのフィードバックにつなげます。また、被害者支援に関わる相談員等の意見交換の場を設けます			
担当室課	男女共同参画センター		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	相談事業担当者連絡会議の実施		年2回開催	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	2回	2回	2回	－
実績値における前年度からの増減理由				
令和6年度の取組状況	(取組の実施状況) 相談事業の担当者連絡会議を年度内に2回行い、相談員同士の情報共有を図った。			
	(取組の効果と課題) 日々の細かな情報共有は担当職員と相談員間で行っている。また、年2回、全員が顔を合わせて会議を行うことにより、相談内容の傾向についてやケース検討などの討論を深め、よりよい相談対応につなげている。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	今後も定期的に相談事業担当者連絡会議を行い、相談事業の充実を図っていく。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援		
主な取組	2	相談体制の整備充実		
取組の具体的内容	相談窓口について、民生委員・児童委員への情報提供、周知を図ります			
担当室課	福祉総務室		計画推進の指標番号	12・14
目標	項目		数値等	
	民生委員・児童委員の新任研修受講率		100%	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	100.0%	100.0%	100.0%	－
実績値における前年度からの増減理由	民生委員・児童委員の新任研修欠席者に対しても、後日個別に研修内容を説明するなど、活動に必要な情報を提供している。			
令和6年度の取組状況	(取組の実施状況) 民生委員・児童委員に対し、新任研修等の機会をとらえて、DV相談窓口を含めた福祉サービス全般の相談体制に関する情報提供を行った。また、吹田市民生・児童委員協議会の児童部会にて、毎年11月に定められている「児童虐待防止啓発月間」にあわせて配布するPR用ティッシュを作成した。このデザインについて、W!PONを持ったすいたんに「ひとりでなやんでいませんか?」という文言を添え民生委員・児童委員に啓発した。			
	(取組の効果と課題) 民生委員・児童委員が要支援者の相談に対し、DV等の相談窓口に適切につなぐことができるよう、定期的に情報提供を行う必要がある。令和6年度はJPR用ティッシュを配布したが、令和7年度の啓発物品については、しっかりと手に取ってもらえるような物品を委員の意見も聞きつつ検討する必要がある。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	引き続き、民生委員・児童委員に対し相談体制に関する情報提供・周知を行う。また、市民に対し相談窓口を周知する取組を行う。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援		
主な取組	2	相談体制の整備充実		
取組の具体的内容	高齢者、障がい者への虐待防止施策などと連携した相談体制の構築を図ります			
担当室課	人権政策室		計画推進の指標番号	14
目標	項目		数値等	
	DV防止ネットワーク会議の開催回数		(代表者会)1回 (実務担当者会議)1回	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	(代表者会)1回 (実務担当者会議)1回	(代表者会)1回 (実務担当者会議)1回	(代表者会)1回 (実務担当者会議)1回	—
実績値における 前年度からの増減理由				
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 弁護士や警察等の関係機関が出席する吹田市DV防止ネットワーク会議代表者会においてDVの事例報告を行い、情報を共有した。DV防止ネットワーク実務担当者会議では大阪府の職員による研修を実施し、意見交換の場を設けた。			
	(取組の効果と課題) 情報共有ができているため、DV被害者の支援にスムーズに対応してもらっている。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	今後も関係室課との連携強化に努め、法改正に伴う研修や事例報告などを実施する。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援		
主な取組	2	相談体制の整備充実		
取組の具体的内容	高齢者、障がい者への虐待防止施策などと連携した相談体制の構築を図ります			
担当室課	障がい福祉室		計画推進の指標番号	14
目標	項目		数値等	
	虐待防止に係る相談体制の構築		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	－	－	－	－
実績値における 前年度からの増減理由				
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 障がい者等への虐待防止の取組において、児童、高齢者にかかる複合的な課題が含まれている場合などは、関係部署、関係機関と情報共有を行い、連携して対応している。			
	(取組の効果と課題) 障がい者、児童、高齢者の虐待対応に関しては虐待者と被虐待者の状況等を鑑み、重層的に支援し、多機関が連携しながら対応する必要がある。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	引き続き、関係部署、関係機関との連携強化に努める。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援		
主な取組	2	相談体制の整備充実		
取組の具体的内容	高齢者、障がい者への虐待防止施策などと連携した相談体制の構築を図ります			
担当室課	高齢福祉室		計画推進の指標番号	14
目標	項目		数値等	
	支援の当初からすいたストップDVステーションの他、庁内関係部署や関係機関と情報共有のうえ役割分担して連携する。		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	－	－	－	－
実績値における前年度からの増減理由				
令和6年度の取組状況	(取組の実施状況) 65歳以上の高齢者に関する虐待の相談については、原則として地域包括支援センターが支援を行っているが、介護等の必要のない高齢者に関するDV対応については、すいたストップDVステーションと連携して支援を行った。			
	(取組の効果と課題) 支援の当初からすいたストップDVステーションの他、庁内関係部署や関係機関と情報共有のうえ役割分担して連携することによって、迅速かつ効果的な支援につなげた。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	引き続き、庁内関係部署や関係機関との連携を強化する。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援		
主な取組	2	相談体制の整備充実		
取組の具体的内容	大阪府・他市町村との連携を強化し、情報交換・事例検討会等を通じて、相談員のスキルアップを図り、相談体制の充実に努めます			
担当室課	人権政策室		計画推進の指標番号	14
目標	項目		数値等	
	大阪府等が実施する連絡会への参加		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	情報交換・事例検討会出席 1回 府内DV会議出席 3回	情報交換・事例検討会出席 1回 府内DV会議出席 3回	情報交換・事例検討会出席 1回 府内DV会議出席 3回	—
実績値における 前年度からの増減理由				
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 府内の市町村が参加する連絡会議の場で、大阪府・他市町村と情報交換・事例検討会等を行った。			
	(取組の効果と課題) 大阪府・他市町村と情報交換・事例検討会等を通じて、相談員のスキルアップを図ることができ、相談体制の充実につながった。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	今後も引き続き他市町村と連携し、スムーズな被害者の支援につなげたい。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援		
主な取組	2	相談体制の整備充実		
取組の具体的内容	大阪府・他市町村との連携を強化し、情報交換・事例検討会等を通じて、相談員のスキルアップを図り、相談体制の充実に努めます			
担当室課	男女共同参画センター		計画推進の指標番号	14
目標	項目		数値等	
	必要に応じて大阪府・他市町村と連携を行う		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	連携ケースなし	連携ケースなし	連携ケースなし	－
実績値における 前年度からの増減理由				
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 共有すべき大阪府・他市町村からの情報は相談員に周知している。具体的な連携を行うケースは現状では発生していないが、必要に応じて対応していく。			
	(取組の効果と課題) 相談員に府の相談機関等を周知することで、相談者に対して適切な情報を伝えることができています。			
取組に対する 事業の評価	B	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	具体的な連携を行った相談ケースは無いが引き続き情報共有の連携は続けていく。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援		
主な取組	3	児童虐待防止対策との連携強化		
取組の具体的内容	DV防止及び児童虐待防止に向けて、関係部局が連携して取組を進めます			
担当室課	人権政策室		計画推進の指標番号	14
目標	項目		数値等	
	DV防止ネットワーク会議の開催回数		(代表者会)1回 (実務担当者会議)1回	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	(代表者会)1回 (実務担当者会議)1回	(代表者会)1回 (実務担当者会議)1回	(代表者会)1回 (実務担当者会議)1回	—
実績値における 前年度からの増減理由				
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 弁護士や警察等の関係機関が出席する吹田市DV防止ネットワーク会議代表者会においてDVの事例報告を行い、情報を共有した。DV防止ネットワーク実務担当者会議では大阪府の職員による研修を実施し、意見交換の場を設けた。			
	(取組の効果と課題) 情報共有ができているため、DV被害者の支援にスムーズに対応してもらっている。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	今後も関係室課との連携強化に努め、法改正に伴う研修や事例報告などを実施する。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援		
主な取組	3	児童虐待防止対策との連携強化		
取組の具体的内容	DV防止及び児童虐待防止に向けて、関係部局が連携して取組を進めます			
担当室課	男女共同参画センター		計画推進の指標番号	14
目標	項目		数値等	
	関係部署との連携		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	—	—	—	—
実績値における 前年度からの増減理由				
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) DV防止ネットワーク会議の代表者会と実務担当者会に参加し、関係部署との連携を図っている。 また、日々の相談業務内で、連携の必要な案件があれば、案件ごとに直接関係部署に連絡し、情報共有し、連携を図っている。			
	(取組の効果と課題) DV防止ネットワーク会議に参加することにより、幅広い情報を得ながら連携を図り、個別の案件の対応にも生かしている。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	今後も、DV防止ネットワーク会議等で関係部署との連携を図っていく。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援		
主な取組	3	児童虐待防止対策との連携強化		
取組の具体的内容	DV防止及び児童虐待防止に向けて、関係部局が連携して取組を進めます			
担当室課	家庭児童相談室		計画推進の指標番号	14
目標	項目		数値等	
	吹田市児童虐待防止ネットワーク会議の開催数		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	代表者会議 1回 全実務者会議 1回、研修 2回 実務者会議 24回	代表者会議 1回 全実務者会議・研修 各1回 実務者会議 24回	児童虐待防止ネットワーク会議 ・代表者会議 1回 ・実務者会議 39回 ・個別ケース検討会議 83回	—
実績値における 前年度からの増減理由	児童虐待防止ネットワークで実施した会議を整理したため。			
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 児童虐待を含む家庭児童相談について、吹田市児童虐待防止ネットワーク会議を中心に関係機関と連携して、情報や支援方針を共有しながら支援を行った。			
	(取組の効果と課題) 代表者会議や実務者会議等を通して、関係機関との情報共有を行うなど連携強化を図り、対応した。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	今後も引き続き、吹田市児童虐待防止ネットワーク会議を中心に、関係機関との連携強化に努める。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援		
主な取組	3	児童虐待防止対策との連携強化		
取組の具体的内容	関係機関の効果的な連携を可能にする児童虐待防止ネットワークの体制強化のため、研修などを実施します			
担当室課	家庭児童相談室		計画推進の指標番号	14
目標	項目		数値等	
	実務者を対象にした研修の開催件数		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	2件	1件	1件	－
実績値における前年度からの増減理由	昨年同様実施できた。			
令和6年度の取組状況	(取組の実施状況) 関係機関の効果的な連携を可能にし児童虐待防止ネットワークの体制を強化するため、吹田市児童虐待防止ネットワーク会議の構成機関の全実務者を対象に研修を開催した。 令和6年度は子供の発達の特性を理解し、保護者支援の方法を学ぶことを目的とし「発達課題のある子供への関わり方と保護者支援について」をテーマに研修を行った。			
	(取組の効果と課題) 例年1回開催する研修を通して、児童虐待防止ネットワーク会議の役割や、虐待を受けている児童について、児童の各所属先での見守り、支援、アセスメント等を学ぶことができた。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	児童虐待に関する相談については、各関係機関が連携しながら迅速かつ適切に対応することが求められる。今後も引き続き、効果的な研修内容を検討しながら、研修会を通じ実務者の対応スキル向上に取り組む。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援		
主な取組	4	被害者保護と自立支援の強化		
取組の具体的内容	相談者の個人情報保護及び支援者間の情報共有を徹底し、相談機関による二次被害を防止します			
担当室課	すいたストップDVステーション		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	DV相談における同行支援		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	－	－	－	－
実績値における 前年度からの増減理由				
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 相談者の状況を聞き取り、支援を行う上で関係部署との連携が必要な場合は担当者に同席を求め、支援者間での情報共有に努めた。 また、相談者が他室課で必要な手続を行う際に、窓口への同行支援を積極的に行った。			
	(取組の効果と課題) 窓口への同行支援や関係部署が同席して相談にあたることで支援者間での情報共有を行うことができ、相談者の精神的負担を軽減できている。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	今後も関係部署と連携して相談者の負担軽減に努める。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援		
主な取組	4	被害者保護と自立支援の強化		
取組の具体的内容	相談者の個人情報保護及び支援者間の情報共有を徹底し、相談機関による二次被害を防止します			
担当室課	男女共同参画センター		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	相談者情報の適正管理		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	－	－	－	－
実績値における 前年度からの増減理由				
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 電話相談、悩み・DV相談、法律相談において、業務の手順を守り、相談記録等の管理を厳格に行っている。また、必要な関係機関との連携においては、個人情報の保護に留意しながら行っている。			
	(取組の効果と課題) 必要に応じてすいたストップDVステーションや家庭児童相談室と連携を取ることがあるが、相談者の情報は適正に取り扱うことができている。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	今後も個人情報の保護に留意しながら、相談者にとって最適な支援を行っていく。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援		
主な取組	4	被害者保護と自立支援の強化		
取組の具体的内容	緊急時における一時保護体制の充実に努めます			
担当室課	すいたストップDVステーション		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	一時保護件数		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	1件	3件	3件	－
実績値における 前年度からの増減理由				
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 一時保護施設への入所に際しては、聞き取りシートやチェックシートを活用して一時保護施設への引継ぎがスムーズに行えるように対応した。避難にあたって必要な手続については関係室課と連携し相談室で手続を行うなど、相談者の負担を軽減するよう配慮した。			
	(取組の効果と課題) 相談者の負担を軽減し、安全に避難ができる体制を整えることができている。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	今後も緊急時に速やかに対応できるよう、チェックシート等のツールの充実を図る。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援		
主な取組	4	被害者保護と自立支援の強化		
取組の具体的内容	緊急時における一時保護体制の充実に努めます			
担当室課	生活福祉室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	支援対象者の状況に応じて、迅速かつ適切な支援を行う。		数値目標を設定できない	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	DV被害者の 保護開始件数19	DV被害者の 保護開始件数27	DV被害者の 保護開始件数21	—
実績値における 前年度からの増減理由				
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 今後も関係機関と連携し、必要な支援・保護を行っていく。			
	(取組の効果と課題) 緊急で避難してきた被害者等に対し、経済的な面で支援ができています。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	引き続き、支援対象者の状況に応じて、迅速かつ適切な支援を行う。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援		
主な取組	4	被害者保護と自立支援の強化		
取組の具体的内容	緊急時における一時保護体制の充実に努めます			
担当室課	障がい福祉室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	緊急時における避難場所の確保		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	—	—	—	—
実績値における 前年度からの増減理由				
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 緊急時における避難場所の確保については、短期入所施設の提供や宿泊施設利用における予算を確保している。本人の希望や障がい状況、身体状況等に応じて入所先を探し、本人の安全確保を図っている。			
	(取組の効果と課題) 障がい者の状態は、身体障がい、知的障がい、精神障がいにより大きく異なり、本人の状態に応じた安全確保先が必要である。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	本人の状況に応じ迅速に避難を実施し、安心・安全に過ごせるよう支援を行う。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援		
主な取組	4	被害者保護と自立支援の強化		
取組の具体的内容	緊急時における一時保護体制の充実に努めます			
担当室課	高齢福祉室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	高齢者虐待対応短期入所生活介護事業の利用件数		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	0件	2件	2件	－
実績値における 前年度からの増減理由	高齢者の状況に応じて適切に自宅からの避難と、自立の促進に取り組んだ。			
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 市と地域包括支援センターの高齢者虐待担当者に事業の内容について周知し、事案があれば速やかに利用できるよう連携している。			
	(取組の効果と課題) 高齢者虐待の内容に応じて高齢者の意思を尊重し、2件について安心安全な生活を送るための避難を講じ、自立を促進することができた。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	セーフティネット事業として、継続していく。 市と地域包括支援センターの高齢者虐待担当者に事業の内容について周知し、適切に活用していく。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援		
主な取組	4	被害者保護と自立支援の強化		
取組の具体的内容	被害者保護のための住民基本台帳の閲覧制限や情報システム連携強化による関係機関との情報の共有を徹底します			
担当室課	すいたストップDVステーション		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	支援措置の意見付与件数		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	62件	67件	63件	－
実績値における 前年度からの増減理由	相談者からの申出により判断するため。			
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) DVを理由とする住民基本台帳閲覧制限の申出があった際は、市民課の担当者と同席して被害状況等の聞き取りを行い、支援措置のための意見付与を実施している。			
	(取組の効果と課題) 支援措置のための意見付与を行うことでDV被害者の安全が確保されている。市民課の担当者と同席して聞き取りを行うことにより相談者の精神的負担を軽減することができている。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	今後も被害状況等を丁寧に聞き取り、必要に応じて支援措置のための意見付与を行いDV被害者の安全確保に努める。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援		
主な取組	4	被害者保護と自立支援の強化		
取組の具体的内容	被害者保護のための住民基本台帳の閲覧制限や情報システム連携強化による関係機関との情報の共有を徹底します			
担当室課	市民課		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	支援措置(新規及び延長)申出件数		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	350件	386件	405件	－
実績値における前年度からの増減理由	支援措置の継続申出及び新規申出件数が増加したため。			
令和6年度の取組状況	(取組の実施状況) 住民基本台帳事務処理要領に基づき、制度の説明を丁寧に行之、申出者にとって本制度の必要性を理解してもらうことを心掛け、事業を実施した。また、転入や戸籍の届のため来庁された際に支援措置申出者であることが各担当へ伝わるよう徹底するとともに、相談を原則予約とすることで、支援措置担当者の安定した体制確保を図った。 (取組の効果と課題) 必要な方に必要な情報提供を行、制度の適正な運用に取り組んだ。ただし、継続の意思確認が取れない方も増加しており、適正な運用方法の構築が必要と考える。また、申出件数とともに相談件数、電話での問い合わせも併せて増加しており、支援措置に係る相談時間や事務処理が増大しているため、更なる体制の強化を図っていく必要がある。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	全国的にも支援措置制度に関する情報が一般的に周知され、本市の支援措置件数は増加傾向にある。一方で、SNSや漫画などに書かれた「正しいとは言えない内容」を信じて、単に誰でも「住所が知られないようにできる制度」と誤解され来庁されるケースも増加しており、着実に必要な方が利用できるよう制度説明等において市民課職員のスキルアップを図るとともに、関係各課・機関との連携を強化し、被害者保護に向け支援体制の充実を図っていく。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援		
主な取組	4	被害者保護と自立支援の強化		
取組の具体的内容	被害者の状況把握とニーズに沿った情報提供の充実を図り、自立に向け支援します			
担当室課	すいたストップDVステーション		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	DV相談件数		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	651件	730件	732件	－
実績値における 前年度からの増減理由	相談者からの支援の申し出によるため。			
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 相談内容を丁寧に聞き取り、それぞれの状況に応じて必要な情報の提供や支援を行った。			
	(取組の効果と課題) 相談者それぞれの状況に応じた支援を適切に行うことができている。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	今後も丁寧な聞き取りを心掛け、相談者のニーズに沿った支援に努める。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援		
主な取組	4	被害者保護と自立支援の強化		
取組の具体的内容	被害者の状況把握とニーズに沿った情報提供の充実を図り、自立に向け支援します			
担当室課	男女共同参画センター		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	傾聴カフェ及び傾聴電話の開催回数		24回	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	24回	24回	24回	－
実績値における 前年度からの増減理由				
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 月に1回ずつ傾聴カフェと傾聴電話を開催し、男女共同参画センターの各種相談を補完する取組を行っている。また、必要に応じて関係機関との連携を図ることとしている。			
	(取組の効果と課題) 傾聴カフェについては、開催日を工夫することにより利用者が増加した。傾聴電話については認知度が低く、利用者が少ないため、周知の工夫が必要である。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	傾聴カフェ及び電話の利用者を増やし、DV被害者等の潜在的な掘り起こしを図るとともに、状況把握やニーズをつかみ、自立への一助としたい。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援		
主な取組	4	被害者保護と自立支援の強化		
取組の具体的内容	福祉制度の活用等、生活支援から自立へつながるような体制を強化します			
担当室課	生活福祉室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	支援対象者の状況に応じて、迅速かつ適切な支援を行う。		数値目標を設定できない	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	DV被害者の 保護開始件数19	DV被害者の 保護開始件数27	DV被害者の 保護開始件数21	—
実績値における 前年度からの増減理由				
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 今後も関係機関と連携し、必要な支援・保護を行っていく。			
	(取組の効果と課題) 緊急で避難してきた被害者等に対し、経済的な面で支援ができている。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	引き続き、支援対象者の状況に応じて、迅速かつ適切な支援を行う。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援		
主な取組	4	被害者保護と自立支援の強化		
取組の具体的内容	福祉制度の活用等、生活支援から自立へつながるような体制を強化します			
担当室課	高齢福祉室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	地域の高齢者やその家族の総合相談窓口として迅速かつ適切なサービス提供につなげる。 地域包括支援センターの相談件数		令和6年度末 33,745件、 令和7年度末 36,230件(第9期計画目標)	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	28,774件	31,724件	32,144件	－
実績値における 前年度からの増減理由	高齢者人口が増加しており、地域包括支援センターへの相談件数が増加している。			
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 市内15か所の委託型地域包括支援センターが、地域の高齢者やその家族の総合相談窓口として介護、健康、生活、在宅療養や認知症の相談に対応している。また、介護保険制度や高齢者在宅福祉サービスの申請について、地域に身近な受付窓口としての機能を担っている。			
	(取組の効果と課題) 地域の高齢者やその家族の身近な相談窓口として、サービス利用の相談から申請までをワンストップで受け付けることで迅速かつ適切なサービス提供につなげている。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	引き続き上記取組を継続する。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援		
主な取組	4	被害者保護と自立支援の強化		
取組の具体的内容	福祉制度の活用等、生活支援から自立へつながるような体制を強化します			
担当室課	障がい福祉室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	被害者保護と自立支援の強化		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	－	－	－	－
実績値における 前年度からの増減理由				
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 本人の安心安全を確保しながら、希望する生活の実現、自立に繋がるように関係機関と連携しながら状況確認や支援の調整を行っている。			
	(取組の効果と課題) 本人の意思を尊重しながら、本人の状況に応じた迅速な対応が求められる。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	引き続き、本人の意思決定を尊重しながら、自立に向けた支援を行っていく。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援		
主な取組	4	被害者保護と自立支援の強化		
取組の具体的内容	福祉制度の活用等、生活支援から自立へつながるような体制を強化します			
担当室課	国民健康保険課		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	被害者の社会保障及び保健の向上に寄与する。		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	対応件数 国民健康保険 18件 後期高齢者医療 4件	対応件数 国民健康保険 20件 後期高齢者医療 5件	対応件数 国民健康保険 19件 後期高齢者医療 11件	－
実績値における 前年度からの増減理由				
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 被害者の社会保障及び保健の向上に寄与する。健康保険届出事務において、秘密保持を図るため、システム上に注意喚起フラグを立て、重要案件については加害者からの問い合わせ等への具体的対応方法を入力し、情報共有を図っている。			
	(取組の効果と課題) 窓口担当、問い合わせを受けた担当者は必ずフラグの内容を確認し、DV等関連部署との情報連携を図ることができている。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	引き続き、必要な情報の共有を実施する。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援		
主な取組	4	被害者保護と自立支援の強化		
取組の具体的内容	経済的な自立に向けた就労支援を充実します			
担当室課	地域経済振興室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	就労支援講座を開催		2種類以上	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	①調剤事務講座:8名 ②介護職員初任者研修:6名 ③ビジネスパソコン講座:15名	①CAD利用技術者:2名 ②介護職員初任者研修:8名 ③ビジネスパソコン講座:14名	①CAD利用技術者:3名 ②介護職員初任者研修:6名 ③ビジネスパソコン講座:25名	—
実績値における 前年度からの増減理由				
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 働く意欲がありながら、様々な課題を抱える就職困難者に対し、就職に必要な技能及び知識を身につけるための就職支援講座を実施。			
	(取組の効果と課題) DV被害者のみに限らず、様々な課題を抱える就職困難者が、講座受講によって技能及び知識を身に付けることで経済的な自立に直接的に結びつく事業として有益であるとする。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	今後も引き続き就労支援講座を実施していく。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援		
主な取組	4	被害者保護と自立支援の強化		
取組の具体的内容	離婚前相談を実施し、ひとり親世帯等への自立支援を充実します			
担当室課	子育て給付課		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	一人ひとりに寄り添った相談を行っていく。		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	離婚前相談件数 153件	離婚前相談件数 276件	離婚前相談件数 215件	－
実績値における前年度からの増減理由	令和6年度に吹田市へ提出された離婚届件数がそれ以前より増加傾向にあり、そのため令和5年中に離婚前相談に来られた方が増加したと考えられる。令和7年度の離婚届件数はまだわからないため、令和6年度の離婚前相談件数との相関があるかを今後注視していく。			
令和6年度の取組状況	(取組の実施状況) 母子・父子自立支援員による、ひとり親家庭や寡婦の方の自立に必要な情報の提供や指導、貸付金の相談を実施した。 就業支援専門員によるひとり親家庭や寡婦の方の就業に関する相談を実施した。			
	(取組の効果と課題) ひとり親家庭の方の個々の事情に応じた就職、転職や資格取得等に関する助言・情報提供を行うことにより、自立やスキルアップ、就労につながっている。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	ひとり親家庭の方が経済的に安定し自立できるよう、今後もハローワークや庁内関係所管との連携を強化しながら、的確な助言・情報提供に努める必要がある。児童扶養手当の手続き時など、本人の状況を聞き取りし、就労支援につなげることができる機会を活かして、支援につなげていくことも肝要である。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援		
主な取組	4	被害者保護と自立支援の強化		
取組の具体的内容	被害者の自立した生活に向け、住宅の提供に関する支援に努めます			
担当室課	住宅政策室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	DV被害者が応募できる「ひとり親世帯向け」募集戸数		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	14戸	4戸	5戸	－
実績値における 前年度からの増減理由	退去等により募集可能となった部屋の戸数及び間取り等の条件により、提供戸数が増減する。			
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 市営住宅入居者募集にあたり、令和6年度は募集戸数33戸のうち、DV被害者が申込できる「ひとり親世帯向け」住居5戸を提供した。			
	(取組の効果と課題) 効果:居住が安定することで、自立した生活につながる。 課題:空き住戸の提供のため、募集時期により戸数の増減が発生する。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	今後も引き続き、DV被害者が応募できる住宅を提供する。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援		
主な取組	4	被害者保護と自立支援の強化		
取組の具体的内容	安定した生活が維持できるよう、子供のこころのケアを含めた被害者の家庭生活への継続した支援や情報提供に努めます			
担当室課	家庭児童相談室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	児童虐待相談件数		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	1,845件	2,113件	1,963件	－
実績値における 前年度からの増減理由	前年度からは減少しているが、依然として高い値で推移していると考えられる。これは、関係機関の児童虐待防止に対する意識や感度の向上、周知啓発の効果が表れている面もあると考えられる。			
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 児童虐待相談件数の内訳は、身体的虐待656件、性的虐待9件、心理的虐待896件、ネグレクト402件となる。 児童の面前でのDVIは児童に対する心理的虐待にあたり、その心的外傷から、児童の発達や成長に悪影響が及ぶ。これらの相談に対しては、まずは児童の状況を確認し、関係機関と情報を共有しながら、必要な支援や養育者に対する指導を行った。			
	(取組の効果と課題) 児童虐待相談件数は、1,963件と前年度より減少しているが、児童虐待を含む家庭児童相談は2,305件であり、虐待予防の観点から各関係機関への巡回等により相談対応することで、虐待につながるリスクを軽減し、未然防止に努めた。 対応件数が増加していく中でも、関係機関と連携し、迅速に対応することができたが、今後も引き続き、関係機関との連携強化や職員の対応スキルの向上に取り組む必要がある。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	児童虐待相談に対し、早期に発見し、適切な対応ができるよう、引き続き、関係機関との連携強化に取り組み、職員のスキル向上を図る。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援		
主な取組	4	被害者保護と自立支援の強化		
取組の具体的内容	安定した生活が維持できるよう、子供のこころのケアを含めた被害者の家庭生活への継続した支援や情報提供に努めます			
担当室課	のびのび子育てプラザ		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	相談件数		1,300件	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	1,341件	1,102件	952件	－
実績値における前年度からの増減理由	相談体制に変更はないが、電話での相談件数が減少している。(前年比73%)			
令和6年度の取組状況	(取組の実施状況) 来館相談のうち半数以上が保育所・幼稚園の入所相談となっている。育児や家族に関する継続的な相談が負担軽減となっているケースもある。令和6年7月からオンライン相談を月2回から月4回に増やした。			
	(取組の効果と課題) 電話・来館・メール・オンラインでの相談を受け、安心して子育てできるように、助言や必要な情報を提供している。			
取組に対する事業の評価	B	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	自由来館で遊びに来られた方が気軽に相談できるようにしながら、必要な場合は関係機関と連携した対応を引き続き実施する。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援		
主な取組	4	被害者保護と自立支援の強化		
取組の具体的内容	安定した生活が維持できるよう、子供のこころのケアを含めた被害者の家庭生活への継続した支援や情報提供に努めます			
担当室課	教育センター		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	市内保育所・幼稚園 市立小・中学校への 教育相談チラシの配布率		100%	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	100.0%	100.0%	100.0%	—
実績値における 前年度からの増減理由				
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 市内保育所・幼稚園、市内小・中学校への教育相談チラシの配付			
	(取組の効果と課題) 教育センターの事業である教育相談について周知することができている。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	今後も継続してチラシの配布を進めていく。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	2	DVの根絶と被害者支援		
主な取組	5	DV加害者の更生支援		
取組の具体的内容	DV加害に対する気づきを促すための啓発や、各種相談窓口の情報提供を行います			
担当室課	すいたストップDVステーション		計画推進の指標番号	12
目標	項目		数値等	
	相談窓口の周知		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	－	－	－	－
実績値における 前年度からの増減理由				
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) DV加害者からの相談に対して、必要に応じて男性のための相談窓口を案内するほか、加害者プログラム等について情報提供を行った。また、被害者からの相談においても必要に応じて加害者プログラム等について情報提供を行った。			
	(取組の効果と課題) 現状では被害者に対する支援が中心となっており、加害者に対するアプローチや効果的な更生支援については研究が必要である。			
取組に対する 事業の評価	B	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	国や府が実施する加害者プログラムに関する動向に注視し、情報収集に努める。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	3	ライフステージに応じた健康支援		
主な取組	1	思春期における心とからだの健康づくりの推進		
取組の具体的内容	性感染症、避妊やエイズ予防等のための啓発活動を行います			
担当室課	保健給食室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	大阪府・国からの通知文書を配付して、「世界エイズデー」等の周知を図る		4回	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	4回	5回	5回	－
実績値における前年度からの増減理由	増減なし			
令和6年度の取組状況	(取組の実施状況) 大阪府・国(文部科学省及び厚生労働省)からの通知文書を配布し、「世界エイズデー」等について、各校の教職員及び児童・生徒への周知を行った。 また、令和5年度に引き続き、大阪府作成のHPVワクチンに関するポスター・チラシを各中学校に配布し、HPVワクチンの接種について情報提供を行った。			
	(取組の効果と課題) 「世界エイズデー」等については、継続して周知を行っており、認知度は高まってきている。 HPVワクチンについては、教職員や保護者の捉え方は様々であるため、その周知方法については慎重に取り組んでいく必要がある。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	今後も継続して、教職員及び児童・生徒の意識啓発に努める。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	3	ライフステージに応じた健康支援		
主な取組	1	思春期における心とからだの健康づくりの推進		
取組の具体的内容	性感染症、避妊やエイズ予防等のための啓発活動を行います			
担当室課	青少年室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	心身及び健康について正しい知識を習得し、適切な自己管理を行う		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	二十歳を祝う式典参加者 2,800人	二十歳を祝う式典参加者 2,800人	二十歳を祝う式典参加者 3,000人	—
実績値における 前年度からの増減理由	対象者が増加したため。(令和5年度3,858人→令和6年度4,119人。参加率はどちらも73%。)			
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 二十歳を祝う式典における啓発活動については、リーフレット等の情報をポータルサイトにまとめ、情報を配信した。 令和6年度は、性感染症に関する啓発として、「今と未来を楽しく生きるための20歳からのヘルスケア」「梅毒、急増中！！～不安に思ったら検査を受けよう～」の情報を掲載した。			
	(取組の効果と課題) 二十歳を祝う式典等に限らず、思春期における心とからだの健康づくりについて、さらなる学習の機会を提供する必要がある。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	引き続き、二十歳を祝う式典における取り組みに限らず、夢つながり未来館において常時リーフレットによる周知を行いながら、さらなる学習の機会を提供する。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	3	ライフステージに応じた健康支援		
主な取組	2	妊娠・出産期における健康支援		
取組の具体的内容	産前・産後の切れ目ない支援を実施するため、助産師等による面接や継続的なフォローの実施に努めます			
担当室課	すこやか親子室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	妊娠届出時等の面接率		100%	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	91.7%	100.0%	100.0%	—
実績値における 前年度からの増減理由	令和5年2月より開始した出産・子育て応援事業の伴奏型相談支援により妊娠届出時の全数面談が実現している。			
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 出産・子育て応援事業で妊娠期と出産後に面談を行い、妊娠・出産・子育てに関する情報提供や相談を行い、支援を要する妊産婦には関係機関につなぐなど、切れ目ない支援を実施している。			
	(取組の効果と課題) 面談率は令和5年度に引き続き100%となっている。面談率を維持すると共に、切れ目ない支援体制をとっていく。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	継続実施			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	3	ライフステージに応じた健康支援		
主な取組	2	妊娠・出産期における健康支援		
取組の具体的内容	妊娠・出産に関わる機能の保護や、喫煙や飲酒が胎児や乳児に及ぼす影響について周知・啓発を行います			
担当室課	すこやか親子室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	妊娠届出時面接での妊婦への禁煙指導実施件数		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	33件	21件	17件	－
実績値における 前年度からの増減理由	妊娠届出時面接で把握した喫煙妊婦の数になるため、件数の増減あり。			
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 妊娠届出時に喫煙・飲酒をしている妊婦に対して保健師・助産師が指導を行っている。喫煙についてはその後も助産師が妊婦に連絡を入れて禁煙できているかの状況確認まで行っている。			
	(取組の効果と課題) 妊娠時だけでなく、妊娠前からの禁煙啓発が重要と考える。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	継続実施			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	3	ライフステージに応じた健康支援		
主な取組	3	成人、高齢期における健康づくりの推進と介護予防の普及啓発の推進		
取組の具体的内容	女性を中心に広く健康づくりを支援するため、情報提供の充実を図り、疾病の予防啓発に努めます			
担当室課	健康まちづくり室、地域保健課、高齢福祉室		計画推進の指標番号	16
目標	項目		数値等	
	健康に関する講演実施件数		21件	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	26件	32件	57件	－
実績値における前年度からの増減理由	出前講座の周知に努めたことにより、申込件数が増加したため。			
令和6年度の取組状況	(取組の実施状況) 健康に関する講演、教室、出前講座等、健康について学ぶ機会を提供した。また、市民が定期的、継続的に健康づくりに取り組めるよう、多種多様なプログラムを提供した。			
	(取組の効果と課題) 講座を継続して実施することにより、市民の主体的な健康づくりを促し、疾病予防や健康の保持・増進につなげることができた。 若い世代や働く世代の方も含めて、多くの市民が健康づくりの取組に参加できるよう、引き続き、開催方法や講演内容等を工夫していく必要がある。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	引き続き、市民の主体的な健康づくりを支えるために、健康に関する講演や教室等を実施する。 健康に関心の薄い人も含め、より多くの市民に健康づくりに取り組んでもらうため、講演以外にも様々な啓発手法を用いて情報提供を行う。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	3	ライフステージに応じた健康支援		
主な取組	3	成人、高齢期における健康づくりの推進と介護予防の普及啓発の推進		
取組の具体的内容	女性を中心に広く健康づくりを支援するため、情報提供の充実を図り、疾病の予防啓発に努めます			
担当室課	成人保健課		計画推進の指標番号	16
目標	項目		数値等	
	①子宮がん検診受診率(市民意識調査※) ②乳がん検診受診率(市民意識調査※)		市民意識調査(令和8年度) ①60% ②60%	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	市民意識調査 子宮頸がん検診 50.5% 乳がん検診 49.7%。	—	—	—
実績値における前年度からの増減理由	市民意識調査は4年に一度の調査であり、毎年度の増減比較はできない。前回市民意識調査(平成30年度 子宮頸がん35.4% 乳がん 33.7%)との受診率の比較では令和4年度は増加している。市のがん検診の受診率に大きな変化は見られないことから、職場で実施されるがん検診や人間ドックでの受診者の増加が推察される。※調査結果から子宮20～69歳、乳40～69歳の受診率を計算したもの。			
令和6年度の取組状況	(取組の実施状況) ・国立がん研究センターが作成したがん検診受診勧奨資材(ナッジ理論に基づき作成され、視認性が高く、年代別に検診の重要性が記載されている。)を用いて個別受診勧奨を郵送。検診受診の必要性や受診方法をわかりやすく記載したガイドブックを作成し、市報すいたと併せて全戸配布した。また、ホームページやSNS、LINEセグメントを活用して健康診査やがん検診受診の必要性について啓発に努めた。 ・イベント等、様々な機会をとらえてがん予防とがん検診受診の必要性について啓発を行った。			
	(取組の効果と課題) 就労の有無に関わらず、子宮がん検診、乳がん検診の個別受診勧奨奨通知を実施することにより、市民のがん検診受診を含めたがん予防についての啓発を実施することができた。 市民意識調査は4年に一度の調査であり、毎年度の評価は困難。職場や人間ドックで受診したがん検診受診は確認手段がなく、市民意識調査以外での実態把握はできない。			
取組に対する事業の評価	B	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	引き続き女性特有の疾病について関係機関や関係室課と連携し、正しい知識の情報提供を男女問わず進めていく。 がん検診や人間ドック利用からの早期発見や治療技術の進歩により、がん治療と社会参加の両立に対する支援も重要となっている。医療専門職の支援技術の向上や、がん患者の社会参加に対する支援について取組を進めていく。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	3	ライフステージに応じた健康支援		
主な取組	3	成人、高齢期における健康づくりの推進と介護予防の普及啓発の推進		
取組の具体的内容	喫煙、飲酒等が健康に及ぼす影響についての認識の普及に努めます			
担当室課	成人保健課		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	①喫煙率(市民意識調査※) ②多量飲酒者の割合(吹田市30歳代健康診査及び吹田市国保健康診査問診結果)		①男性15.0%以下、女性5.0%以下 ②男性1.7%以下、女性0.22%以下	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	①男性21.7% 女性7.4% ②男性2.4% 女性0.35%	① ー ②男性2.5% 女性0.36%	① ー ②男性2.6% 女性0.44%	ー
実績値における前年度からの増減理由	①については、市民意識調査は4年に一度の調査かつ、前回調査時に喫煙に関する設問がないため、増減比較はできない。令和5年度国民栄養調査における喫煙率(男性25.6%、女性6.9%)との比較では吹田市民の喫煙率は低い。②について、健康診査受診者の変動と、1日当たりの飲酒量が3合以上と回答した人数の変動により、割合が変動しているが、横ばいの状態である。			
令和6年度の取組状況	(取組の実施状況) 禁煙治療に係る医療費の自己負担助成制度を行い、禁煙の取組を支援するとともに、禁煙開始届出者へは再喫煙防止のための通知や保健師による個別支援を実施した。すいた健康サポーター事業、健康情報拠点推進事業(すいたん健康プロジェクト)など関連事業や産業フェア等のイベント、市報、ホームページ、健康手帳等で禁煙や適正飲酒に関する啓発を実施。健康相談、保健指導等において、医療専門職による禁煙や適正飲酒の個別指導を行っている。			
	(取組の効果と課題) 様々な機会を捉え、喫煙や飲酒が健康に及ぼす影響について啓発することができた。 成人保健課所管事業のみでは、市民への啓発方法に限られるため、すこやか親子室や地域保健課など関連部署と連携した取組を行う必要がある。また、医師会、歯科医師会、薬剤師会と連携体制の強化を図る必要がある。			
取組に対する事業の評価	B	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	引き続き様々な機会を捉え、喫煙や飲酒に関する啓発を実施。健康相談、保健指導等において医療専門職による生活習慣病につながるよう個別指導を行う。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	3	ライフステージに応じた健康支援		
主な取組	3	成人、高齢期における健康づくりの推進と介護予防の普及啓発の推進		
取組の具体的内容	喫煙、飲酒等が健康に及ぼす影響についての認識の普及に努めます			
担当室課	地域保健課		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	①喫煙率(市民意識調査※) ②多量飲酒者の割合(吹田市30歳代健康診査及び吹田市国保健康診査問診結果)		①男性15.0%以下、女性5.0%以下 ②男性1.7%以下、女性0.22%以下	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	①男性21.7% 女性7.4% ②男性2.4% 女性0.35%	① ー ②男性2.5% 女性0.36%	① ー ②男性2.6% 女性0.44%	ー
実績値における前年度からの増減理由	①については、市民意識調査は4年に一度の調査かつ、前回調査時に喫煙に関する設問がないため、増減比較はできない。令和5年度国民栄養調査における喫煙率(男性25.6%、女性6.9%)との比較では吹田市民の喫煙率は低い。②について、健康診査受診者の変動と、1日当たりの飲酒量が3合以上と回答した人数の変動により、割合が変動しているが、横ばいの状態である。			
令和6年度の取組状況	(取組の実施状況) ・アルコール関連問題啓発週間においてSNSやホームページでの啓発、また千里ニュータウンプラザでパネル展示やリーフレット配架を実施し啓発に務めた。 ・大和大学看護学生106名に対し、アルコール教室を実施。民間企業や吹田市断酒会と連携を図りアルコールに関する基礎的な知識やアルコールハラスメントについて啓発を行った。			
	(取組の効果と課題) アルコールパッチテスト等実習を取り入れたことで、学生自身がアルコールに対する自身の体質を知り自身のことと捉え、健康づくりに対する意識づくりとなった。			
取組に対する事業の評価	B	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	引き続き、ホームページやSNSでアルコールの適正飲酒について啓発を図っていく。また、吹田市内の大学連絡会でアルコール教室の周知を図り、引き続き教室開催に参加する大学を集っていく。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	3	ライフステージに応じた健康支援		
主な取組	3	成人、高齢期における健康づくりの推進と介護予防の普及啓発の推進		
取組の具体的内容	喫煙、飲酒等が健康に及ぼす影響についての認識の普及に努めます			
担当室課	健康まちづくり室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	スモークフリー協賛事業者制度登録事業者数		市内事業者の80% (参考:令和3年度経済センサス活動調査における1～P業種 5,619事業者×80%=4,495事業者)	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	－	527事業者	577事業者(累計)	－
実績値における前年度からの増減理由				
令和6年度の取組状況	(取組の実施状況) ・市と事業者が一体でスモークフリーの機運醸成を図る協賛事業者制度の登録事業者数を増やすため、市内事業者に対し登録を働きかけた。 ・密閉型喫煙所「卒煙支援ブース」において、動画やポスターを活用した禁煙啓発や、禁煙治療費一部助成制度「禁煙チャレンジ」の周知を実施した。 ・市内小中学校9校、図書館5館でたばこに関する啓発展示を実施した。			
	(取組の効果と課題) スモークフリー協賛事業者制度について、市内飲食店や福祉施設、理美容施設、大学等へ登録の働きかけを行い一定数の登録があった。さらに登録数を増やすため、制度の認知度の向上を図るとともに、登録促進の手法の検討が必要。			
取組に対する事業の評価	C	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	スモークフリー協賛事業者制度の認知度の向上や登録手法の検討を行う等、様々な機会や方法でスモークフリーの機運醸成を図っていくことが必要。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	3	ライフステージに応じた健康支援		
主な取組	3	成人、高齢期における健康づくりの推進と介護予防の普及啓発の推進		
取組の具体的内容	認知症サポーター養成講座など、性別を問わず介護への理解を深める講座を開催します			
担当室課	高齢福祉室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	認知症サポーター養成講座受講者数(年度末累積)		令和6年度末 32,926人、 令和7年度末 35,196人(第9期計画目標)	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	28,386人 講座回数42回	29,464人 講座回数55回	31,155人 講座回数59回	－
実績値における前年度からの増減理由	オンライン開催、小・中学校、大学等で実施をし、令和6年度の養成者数は1,691人で、令和5年度の養成者数1,078人を大きく上回ったが、目標人数には達しなかった。			
令和6年度の取組状況	(取組の実施状況) 地域包括支援センターをはじめ、市内の公共施設や商業施設等において、ポスターやちらしを配架するとともに、市報やホームページ、公式SNS、市の介護予防教室等で認知症サポーターや養成講座の周知を図った。事業所向けや市民向け講座の一部は、オンラインや土日、夜間で行ったり、小学校や大学生向けの講座も開催した。認知症サポーターがより具体的な活動をするチームオレンジが2か所立ち上がっている。			
	(取組の効果と課題) 開催曜日や時間帯、開催方法を工夫することで、平日昼間に参集で参加しにくい方に対しても養成することができた。学校に対し周知啓発を継続して行ったことから、小学生や大学生の養成もできた。令和5年度、6年度に1か所ずつチームオレンジが立ち上がり、2か所になった。更なる構築に向け、認知症サポーターステップアップ講座の開催や認知症サポーター活動登録者をシステム管理し、地域包括支援センターが登録者の活動希望内容に応じて活動場所の調整を行っているが、新たなチームオレンジの立ち上げにつなぐににくい。			
取組に対する事業の評価	B	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	令和5年度は企業、職域での受講者が多かったが、令和6年度は減少。認知症に関する啓発、周知を図り、市民向け、事業所向けの認知症サポーター養成講座を開催していく。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	3	ライフステージに応じた健康支援		
主な取組	3	成人、高齢期における健康づくりの推進と介護予防の普及啓発の推進		
取組の具体的内容	フレイル予防や介護予防の普及啓発のための、講演会や相談会等を実施します			
担当室課	高齢福祉室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	介護予防講演会の参加者数		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	352人	574人	436人	－
実績値における 前年度からの増減理由	介護予防に関する教室の機会を拡充したことにより、講演会の開催回数を見直したため。			
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 栄養、口腔、認知症に関する講演会を実施した。 また、各講演会時に、吹田市の高齢化の状況や介護予防の取組等について講話を実施し、介護予防に関する啓発を行った。			
	(取組の効果と課題) 講演会のテーマの啓発だけでなく、介護予防に関する講話を実施することで、介護予防全体の啓発をできた。 定員を満たしていない講演会もあった。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	引き続き上記取組を継続する。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	3	ライフステージに応じた健康支援		
主な取組	3	成人、高齢期における健康づくりの推進と介護予防の普及啓発の推進		
取組の具体的内容	ひろばde体操やいきいき百歳体操の活動支援を通して、フレイル予防、介護予防に取り組む地域づくりを促します			
担当室課	高齢福祉室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	いきいき百歳体操実施グループ数		毎年8グループ増加	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	163グループ	172グループ	176グループ	－
実績値における 前年度からの増減理由	市報すいたへ、第9期吹田健やか年輪プラン特集として、いきいき百歳体操の活動の記事を掲載した。			
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) いきいき百歳体操のおためし講座、継続的に活動を希望するグループに対し、活動支援講座、継続的に活動中のグループに対し、フォロー講座を実施した。 フォロー講座では、体力測定を実施した。 1年間継続してグループ活動へ参加し90歳になる方へ、表彰を実施した。			
	(取組の効果と課題) 90歳になる方への表彰は、活動継続へのモチベーションアップに繋がり、他の参加者にとっても目標となるなどグループ活動がより活気立った。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	引き続き地域包括支援センターと連携し、新たなグループが立ち上がるよう、地域住民に働きかける。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	3	ライフステージに応じた健康支援		
主な取組	4	性と生殖についての理解の促進		
取組の具体的内容	からだと健康についての理解を深めるための講座を実施します			
担当室課	男女共同参画センター		計画推進の指標番号	15
目標	項目		数値等	
	対象講座延べ受講者数		60人	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	46人	80人	73人	－
実績値における 前年度からの増減理由	講座の受講者数が減少したため。			
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 性について子供への伝え方を学ぶ講座と、女性の体の変化や女性ホルモンとの関係、自身の身体のセルフケア方法について学ぶ講座を実施した。			
	(取組の効果と課題) 女性の体の変化等に関する講座では、セルフケアを通して自分の体に関心を持ち、健康増進につなげることの大切さを伝えることができた。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	広い世代にアプローチできる方法を検討する。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	3	ライフステージに応じた健康支援		
主な取組	4	性と生殖についての理解の促進		
取組の具体的内容	性に関する正しい情報を提供することで、学校、保育所・幼稚園等における性に関する教育の充実を図ります			
担当室課	学校教育室		計画推進の指標番号	15
目標	項目		数値等	
	全小中学校に情報提供		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	—	—	—	—
実績値における 前年度からの増減理由				
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 性に関する指導について、国や府からの通知を各校へ周知した。また、各校において学習指導要領に則り、児童・生徒が身体の変化や性の意識の変化について理解し、自他を大切にすることを育み、性に関する適切な態度や行動の選択ができるように、保健の授業を中心として学校の教育活動全体で取組を行った。			
	(取組の効果と課題) 国や府の通知や教職員向けの研修案内を各校へ周知し、性に関する情報やそれに伴うSNSの危険性やデートDV等最新の動向について児童・生徒や保護者だけでなく教職員が学ぶ機会を設けた。今後は、教職員向けの研修や保護者向けの講習会等の周知をさらに広めていく必要がある。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	今後も継続して実施していく。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	3	ライフステージに応じた健康支援		
主な取組	4	性と生殖についての理解の促進		
取組の具体的内容	性に関する正しい情報を提供することで、学校、保育所・幼稚園等における性に関する教育の充実を図ります			
担当室課	保育幼稚園室		計画推進の指標番号	15
目標	項目		数値等	
	性に関する教育の充実		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	－	－	－	－
実績値における 前年度からの増減理由	－			
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 性別にとらわれない園運営(クラス運営)の推進に取り組んだ。			
	(取組の効果と課題) 性別にとらわれた言動、行動を大人が常に行わないように留意する必要がある。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	引き続き、子供一人ひとりの個性やもちあじを尊重した教育・保育に取り組む。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	3	ライフステージに応じた健康支援		
主な取組	4	性と生殖についての理解の促進		
取組の具体的内容	大阪府が行っている「にんしんSOS」の普及・啓発を行うとともに様々な悩み相談に対応します			
担当室課	青少年室		計画推進の指標番号	15
目標	項目		数値等	
	望まない妊娠に関する正しい知識の習得		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	夢つながり未来館利用者数 360,082人	夢つながり未来館利用者数 363,942人	夢つながり未来館利用者数 378,551人	—
実績値における 前年度からの増減理由	夢つながり未来館の3施設とも、コロナ禍以降、継続的に利用者数が回復してきたため。			
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 「望まない妊娠」・「性暴力」に関するリーフレットを周知し、相談に対応できる体制づくりを行った。			
	(取組の効果と課題) 望まない妊娠等に関する正しい知識を習得する機会を提供しており、青少年に対して行う啓発としては効果的な取組であると考えている。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	「望まない妊娠・出産」を防止するため、引き続き青少年に対する啓発活動を行い、相談があった場合は適切な支援をしていく。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	3	ライフステージに応じた健康支援		
主な取組	4	性と生殖についての理解の促進		
取組の具体的内容	妊娠についての正しい知識の普及・啓発を行うとともに、様々な悩み相談に対応します			
担当室課	すこやか親子室		計画推進の指標番号	15
目標	項目		数値等	
	妊娠・出産についての正しい知識の普及・啓発実施回数		年に2回実施	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	－	2回	3回	－
実績値における前年度からの増減理由	令和5年度から実施。			
令和6年度の取組状況	(取組の実施状況) ①5月に「吹田市と関西大学」(共通教養科目)で「プレコンセプションケアについて」を、大学1年生76名に対して実施。 ②11月、2月に青少年活動サポートプラザで、高校生の利用者103名に対して、妊婦ジャケットや赤ちゃん人形体験、理想の体型の意識調査等を実施し、将来の妊娠について考えるきっかけを作る機会とした。			
	(取組の効果と課題) 将来の妊娠や出産について、考える機会がまだ少ない高校生や大学生に対して、正しい知識啓発を行うことで、日頃からの健康づくりも考えてもらう機会となった。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	妊娠前の若い世代に性や妊娠・出産に関する正しい知識の普及啓発が重要であり、大学等での実施や学校機関とも連携しながら啓発を継続していく。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	3	ライフステージに応じた健康支援		
主な取組	4	性と生殖についての理解の促進		
取組の具体的内容	性感染症についての正しい知識の普及・啓発を行うとともに、早期診断のための検査を実施します			
担当室課	地域保健課		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	HIV等性感染症に関する予防啓発の実施回数		年6回以上	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	啓発回数 7回	啓発回数 10回	啓発回数 8回	－
実績値における前年度からの増減理由	前年度、連携した取組が開催されなかったため微減した。			
令和6年度の取組状況	(取組の実施状況) ・児童部すこやか親子室とともに、市内大学においてプレコンセプションケアに関する講義を行い、性感染症に関する予防啓発を実施した。 ・これまでの市内5大学との連携に加え、新たに青少年サポートプラザと連携し、リーフレット等の配架による予防啓発や保健所での性感染症検査についての周知を行い、若年層へのアプローチに取り組んだ。			
	(取組の効果と課題) ・保健所が実施する性感染症検査については、これまでの予約制を撤廃し、受検者数が増加した。(令和5年度:131人、令和6年度:203人) ・全国的に梅毒の報告数が増加しているため、引き続き、若年層も含め受検しやすい検査体制の充実や市内大学等と連携した性感染症の予防啓発が必要である。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	引き続き、若年層に対して、性感染症予防に関する正しい知識の普及・啓発を図る。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	4	困難を抱える人が安心して暮らせる環境の整備		
主な取組	1	貧困・高齢・障がい等により困難を抱えた人への支援		
取組の具体的内容	困難を抱える人が適切な支援を受けることができるよう、ジェンダーの視点も持ちながら包括的な相談支援体制の構築を進めるとともに、地域福祉のネットワークづくりを推進します			
担当室課	福祉総務室		計画推進の指標番号	17
目標	項目		数値等	
	包括的な支援体制の構築に向けた重層的支援体制整備事業の実施体制等にかかる検討回数		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	1回	5回	13回	－
実績値における前年度からの増減理由	令和6年度は吹田市地域福祉計画庁内推進委員会を活用し、全庁的な体制で制度への理解を深めるとともに、実施計画の策定などを行った。また、重層的支援体制整備事業プロジェクトチームを設置し、事業実施に向けて具体的な検討を行った。			
令和6年度の取組状況	(取組の実施状況) 35室課の課長級以上の職員で構成される吹田市地域福祉計画庁内推進委員会において、重層的支援体制整備事業の概要説明等を行い、同事業実施計画の策定を進めた。また、受けとめ隊(庁内へ重層的支援体制整備事業の周知・啓発を行う役割を担う職員)初期配置予定室課へ業務に対する共通認識をもつためヒアリングを実施した。重層的支援体制整備事業プロジェクトチームにおいては、庁内向け事務マニュアルの作成や事例検討を行うなど、具体的な取組を進めた。			
	(取組の効果と課題) 令和7年3月の重層的支援体制整備事業実施計画の策定や庁内向け事務マニュアルの作成により庁内の合意形成を図り、スムーズな事業実施につなげることができた。引き続き包括的な支援体制の構築に向けた関係機関との連携や職員に対する研修等に取り組む必要がある。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	事業実施後も、関係機関との対話を進めながら、庁内の関係室課や支援機関等に対する制度への理解や研修等に取り組む。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	4	困難を抱える人が安心して暮らせる環境の整備		
主な取組	1	貧困・高齢・障がい等により困難を抱えた人への支援		
取組の具体的内容	困難を抱える人が適切な支援を受けることができるよう、ジェンダーの視点も持ちながら包括的な相談支援体制の構築を進めるとともに、地域福祉のネットワークづくりを推進します			
担当室課	高齢福祉室		計画推進の指標番号	17
目標	項目		数値等	
	①地域包括支援ネットワーク会議の開催・出席回数 ②地域包括支援センターの相談件数		①令和6年度末 510回、令和7年度末 520回 ②令和6年度末 33,745件、令和7年度末 36,230件(第9期計画目標)	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	①496回 ②28,774件	①793回 ②31,724件	①812回 ②32,144件	－
実績値における前年度からの増減理由	高齢者人口が増加しており、地域包括支援センターへの相談件数が増加している。			
令和6年度の取組状況	(取組の実施状況) 地域住民を対象とした活動の再開や新たな機会の創出等について、地域の行事等の様々な機会を通して、地域包括支援センターの業務の周知を図っている。また、市として、要支援・要介護認定の結果を通知する際に、地域包括支援センターの一覧を同封する等、市が実施する事業を通して、広く高齢者と家族等市民への相談先としての地域包括支援センターの周知に努めた。			
	(取組の効果と課題) 地域包括支援センターの地域活動、相談件数が増加しており、相談対応をきっかけとして地域の多様な機関と地域ネットワークを構築している。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	引き続き、地域包括支援センターを主体に、地域団体や、民間事業所等との連携した地域に根ざした特色のある取組を進め、市民にとってより身近な総合相談窓口としての機能を発揮する。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	4	困難を抱える人が安心して暮らせる環境の整備		
主な取組	1	貧困・高齢・障がい等により困難を抱えた人への支援		
取組の具体的内容	困難を抱える人が適切な支援を受けることができるよう、ジェンダーの視点も持ちながら包括的な相談支援体制の構築を進めるとともに、地域福祉のネットワークづくりを推進します			
担当室課	障がい福祉室		計画推進の指標番号	17
目標	項目		数値等	
	包括的な相談支援体制の構築		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	－	－	－	－
実績値における前年度からの増減理由				
令和6年度の取組状況	(取組の実施状況) 地域自立支援協議会において障がい者等への支援体制等に関する課題について協議し、包括的なネットワークの体制の充実を図る。			
	(取組の効果と課題) 地域自立支援協議会は地域の課題等を把握しサービス基盤の整備を効果的に進めていく役割を担っており、活動が活発化しているが、ジェンダーの視点については引き続きの課題である。			
取組に対する事業の評価	B	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	地域自立支援協議会の機能を強化し、多方面から包括的なネットワーク体制の構築に取り組む。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	4	困難を抱える人が安心して暮らせる環境の整備		
主な取組	1	貧困・高齢・障がい等により困難を抱えた人への支援		
取組の具体的内容	困難を抱える人が適切な支援を受けることができるよう、ジェンダーの視点も持ちながら包括的な相談支援体制の構築を進めるとともに、地域福祉のネットワークづくりを推進します			
担当室課	生活福祉室		計画推進の指標番号	17
目標	項目		数値等	
	ハローワーク等関係機関と連携し、 就労自立できるよう個々に合わせた支援を行う		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	就労支援専門員が関わる支援 により就労につながった人数 45人	就労支援専門員が関わる支援 により就労につながった人数 69人	就労支援専門員が関わる支援に より就労につながった人数 64人	—
実績値における 前年度からの増減理由				
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 引き続きハローワークと連携し、就労阻害要因を把握し、一人一人の課題に対応しながらきめ細やかな就労支援を行う。			
	(取組の効果と課題) 支援対象者のうち、就労に至る率は向上しつつあるものの、非正規職員での就労であることが多い。また、退職し再度相談、生活保護の申請となるケースも見受けられる。そのため、自立後の安定した生活を目指すためにも、正規職員への就職者を増やすことが課題である。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	引き続きハローワークと連携し、個々の状況に応じた就労支援を実施する。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	4	困難を抱える人が安心して暮らせる環境の整備		
主な取組	1	貧困・高齢・障がい等により困難を抱えた人への支援		
取組の具体的内容	介護保険制度や障害者総合支援制度の活用の啓発を行います			
担当室課	高齢福祉室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	①市内の地域包括支援センターで受け付けた介護保険サービスに関する相談件数、 ②すいた年輪サポートナビの活用状況		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	①相談件数12,745件、 ②すいた年輪サポートナビ アクセス数102,736回	①相談件数13,463件、 ②すいた年輪サポートナビ アクセス数 182,340件	①相談件数 13,480件、 ②すいた年輪サポートナビ アクセス数 281,655件	－
実績値における 前年度からの増減理由	地域包括支援センターの周知を進めるとともに、地域活動の場へのアウトリーチにも取り組んでいる。 「すいた年輪サポートナビ」は、令和4年度に高齢者の生活サポート情報を追加掲載し、継続した周知に取り組んでいる。			
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 「吹田市ケア倶楽部」にて「すいた年輪サポートナビ」における「介護事業者情報の空き情報等調査」への協力を依頼し、鮮度の高い情報を提供。「すいた年輪サポートナビ」啓発チラシを更新し、地域包括支援センターや市内医療機関など関係機関に配布し活用を進めている。市公式LINEを活用した周知を実施。			
	(取組の効果と課題) 引き続き「すいた年輪サポートナビ」について、市ホームページや公式SNS等を活用して、幅広い市民や関係機関への周知に努める必要がある。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	在宅医療を支えていくための連携体制の強化のため、多職種連携研修会、ケアマネ塾、ケアマネ懇談会を開催し、顔の見える関係づくりの取組を進める。「すいた年輪サポートナビ」の認知度向上のため、今後も市民や関係機関への周知を図る。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	4	困難を抱える人が安心して暮らせる環境の整備		
主な取組	1	貧困・高齢・障がい等により困難を抱えた人への支援		
取組の具体的内容	介護保険制度や障害者総合支援制度の活用の啓発を行います			
担当室課	障がい福祉室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	啓発事業開催		3回	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	2回	2回	0回	－
実績値における 前年度からの増減理由	講師派遣依頼がなかったため。			
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 地域包括支援センターの新任職員やケアマネージャー(介護支援専門員)に対し、地域包括支援センターから依頼を受けて、障がい福祉サービスに関する学習会を実施している。具体的なサービスの種類や利用申請に至るまでの流れ、介護保険サービスとの併用について担当職員が講師となり実施している。			
	(取組の効果と課題)			
	65歳を迎えると、障がい福祉サービスから介護保険サービスへの移行が生じるが、ケアマネージャーによっては、障がい福祉サービスの制度概要や理解が十分とは言えない状況がある。このことにより、介護保険サービス移行によって必要なサービスが提供できない事態が生じないよう、制度理解を深めるための研修や65歳到達以降の利用サービス切り替えのためのガイドラインを作成する等の取組が必要である。			
取組に対する 事業の評価	B	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	高齢福祉室及び地域包括支援センターとも連携の上、引き続き、啓発を進めていく。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	4	困難を抱える人が安心して暮らせる環境の整備		
主な取組	1	貧困・高齢・障がい等により困難を抱えた人への支援		
取組の具体的内容	養護者による高齢者虐待防止啓発のため、地域での出前講座や民生委員・児童委員等を対象に研修を実施します			
担当室課	高齢福祉室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	地域ケア会議ブロック別定例会の開催回数 (そのうち高齢者虐待の事例検討や研修の回数) 高齢者虐待対応や防止に関する出前講座の回数		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	地域ケア会議 43回(2回) 出前講座 25回	地域ケア会議 44回(2回) 出前講座 10回	地域ケア会議33回(0回) 出前講座 5回	—
実績値における 前年度からの増減理由	高齢者虐待防止の出前講座について、令和6年度は別のテーマによる出前講座が増加したため減少した。			
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 地域ケア会議については、近年の防災意識の高まりから、防災や避難行動に関する検討を行っている地域が増えているが、困難事例ケースの検討等虐待防止に向けての検討もっており、地域の顔の見える関係づくりに向けて、ネットワークの強化を図っている。			
	(取組の効果と課題) 地域包括支援センターをはじめ、関係機関や、多職種が参画する地域ケア会議で、顔の見える関係づくりを進め、高齢者が安心・安全に暮らしやすい地域づくりを進めるとともに、相談窓口の周知を図り、虐待の早期対応・未然防止につなぐ。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	地域ケア会議等を通じ、高齢者虐待の早期発見及び未然防止に向けて、窓口の周知や、地域づくりを継続していく。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	4	困難を抱える人が安心して暮らせる環境の整備		
主な取組	1	貧困・高齢・障がい等により困難を抱えた人への支援		
取組の具体的内容	障害者虐待防止法における制度改正等により事業所に対して虐待防止が義務化されたことを受け、広く啓発を実施するため、事業所への研修を行います			
担当室課	障がい福祉室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	事業所向けの研修		3回	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	3回	3回	2回	－
実績値における 前年度からの増減理由	市が実施する事業所向け研修については従前と同様に実施したが、事業所からの研修依頼がなかったことから減となっている。			
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 障がい者に対する虐待について速やかな通報につなげることを徹底するため、事業所の従業者に対し虐待防止の意識を高めるための研修を実施する。			
	(取組の効果と課題) 様々なサービス種別の事業所に対し、今後も虐待に関する啓発や事業所向けの研修等を継続的に実施し、正しい知識の普及と、速やかな通報の必要性を伝えていくことが求められる。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	引き続き、啓発を進めていく。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	4	困難を抱える人が安心して暮らせる環境の整備		
主な取組	2	ひとり親家庭に対する支援		
取組の具体的内容	ひとり親家庭が抱える課題に応える相談・支援の充実と当事者間の交流機会の形成を促進します			
担当室課	男女共同参画センター		計画推進の指標番号	18
目標	項目		数値等	
	対象講座開催数		1講座	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	2講座	1講座	1講座	—
実績値における 前年度からの増減理由				
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) シングルマザー向けの家計講座の中で、参加者同士の意見交換会の時間を設け、良い雰囲気の中で情報交換等ができた、また、女性のための電話相談や対面相談、傾聴電話、傾聴カフェのほか、男性のための電話相談などで支援を行った。			
	(取組の効果と課題) ニーズを見極めながら、ひとり親を対象とした講座を実施することを検討する。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	今後も継続して当事者目線での講座企画や相談ができる場を作っていく。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	4	困難を抱える人が安心して暮らせる環境の整備		
主な取組	2	ひとり親家庭に対する支援		
取組の具体的内容	ひとり親世帯等の相談体制を強化するとともに、日常生活の支援や養育費確保に向けた取組を推進します			
担当室課	子育て給付課		計画推進の指標番号	18
目標	項目		数値等	
	一人ひとりに寄り添った相談や支援を継続的に行っていく。		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	①ひとり親家庭相談件数1,154件 ②就業・自立支援相談件数705件 ③養育費・親子交流相談件数23件 ④公正証書等作成支援件数20件	①ひとり親家庭相談件数1,077件 ②就業・自立支援相談件数639件 ③養育費・親子交流相談件数27件 ④公正証書等作成支援件数20件	①ひとり親家庭相談件数1,052件 ②就業・自立支援相談件数590件 ③養育費・親子交流相談件数17件 ④公正証書等作成支援件数35件 ⑤強制執行申立費用補助件数1件	—
実績値における前年度からの増減理由	①については前年度とほぼ同水準である。②については、求人率など市場の影響が考慮されるが、現時点での理由特定は困難であり、引き続き令和7年度実績を注視していく。③については、予約時点で一定相談内容を聞き取りし、内容から市民総務室無料弁護士相談の方がより適切な相談先であると判断し案内したケースが数件あった。④公正証書等作成支援件数が増加した理由は、離婚前相談や養育費・親子交流相談を通して、周知がより広まったことが増加の理由と考えられる。⑤は令和6年度から新規実施事業のため。			
令和6年度の取組状況	(取組の実施状況) 子供のための養育費のこと、離れて暮らす親との親子交流について、専門相談員による相談を実施した。養育費の取り決めのための公正証書の作成費用や、調停・裁判に要した費用の一部、また、養育費を取り決めたものの、未支払となっている場合の強制執行申立費用の一部を補助した。			
	(取組の効果と課題) 養育費・親子交流の専門相談については、毎月予約が埋まることが多く、ひとり親家庭の抱える問題の解決のための一助として活用されている。養育費取得のための費用補助について、市報やホームページ等での広報方法を検討し、より一層の周知に努めていく。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	引き続き、ひとり親家庭の相談については子育て給付課がワンストップで実施するとともに、関係所管との連携を図りながら、一人ひとりに寄り添い、より充実した相談・支援体制を整備していく。また、養育費等の専門的な相談についての周知も積極的に行っていく。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	4	困難を抱える人が安心して暮らせる環境の整備		
主な取組	2	ひとり親家庭に対する支援		
取組の具体的内容	医療費の助成・児童扶養手当の支給・福祉資金の貸付け制度による経済的自立に向けた支援をします			
担当室課	子育て給付課		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	一人ひとりの状況に応じた対応を行っていく。		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	①児童扶養手当受給者数1,909人 ②ひとり親家庭医療費助成件数 63,285件 ③子ども医療費助成件数 853,398件 ④新規貸付件数23人	①児童扶養手当受給者数1,876人 ②ひとり親家庭医療費助成件数 69,134件 ③子ども医療費助成件数 998,810件 ④新規貸付件数9人	①児童扶養手当受給者数1,873人 ②ひとり親家庭医療費助成件数 68,004件 ③子ども医療費助成件数 986,446件 ④新規貸付件数17人	—
実績値における 前年度からの増減理由	④については、父子の新規貸付件数が増加したことが主な理由である。			
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 児童扶養手当の支給、医療証を交付し医療機関での費用負担の軽減を図った。また、子供が大学等へ進学する際の入学金や学費の資金等の貸付けを行った。			
	(取組の効果と課題) 手当の支給、医療費助成や適切な資金の貸付けにより、ひとり親家庭の生活の安定と自立の促進を図ることが出来た。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	引き続き、制度の適切な運用に努め、ひとり親家庭の生活の安定と自立の促進に努める。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	4	困難を抱える人が安心して暮らせる環境の整備		
主な取組	2	ひとり親家庭に対する支援		
取組の具体的内容	ひとり親家庭の経済的自立を促進するため、就労に必要な技能や知識を身に着けるための講座を実施します			
担当室課	男女共同参画センター		計画推進の指標番号	18
目標	項目		数値等	
	対象講座開催数		2講座	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	3講座	2講座	2講座	－
実績値における 前年度からの増減理由				
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 就労支援ではないが、シングルマザーを対象にマネー講座と法律講座を開催し経済的自立の支援を行った。			
	(取組の効果と課題) 内容だけでなく、開催形態や日時など、シングルマザーが受講しやすい講座にする工夫が必要である。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	今後も継続して当事者目線での講座企画を行っていく。また、対象者に届きやすい周知方法を検討する。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	4	困難を抱える人が安心して暮らせる環境の整備		
主な取組	2	ひとり親家庭に対する支援		
取組の具体的内容	ひとり親家庭の経済的自立を促進するため、就労に必要な技能や知識を身に着けるための講座を実施します			
担当室課	地域経済振興室		計画推進の指標番号	18
目標	項目		数値等	
	就労支援講座を開催		2種類以上	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	①調剤事務講座:2名 ②介護職員初任者研修:1名 ③ビジネスパソコン講座:1名	①CAD利用技術者:0名 ②介護職員初任者研修:1名 ③ビジネスパソコン講座:0名	①CAD利用技術者:0名 ②介護職員初任者研修:0名 ③ビジネスパソコン講座:0名	—
実績値における 前年度からの増減理由				
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 働く意欲がありながら、様々な課題を抱える就職困難者に対し、就職に必要な技能及び知識を身に付けるための就職支援講座を実施しており、ひとり親家庭に対する一定の受講枠を設定。			
	(取組の効果と課題) 様々な課題を抱える就職困難者が、講座受講によって技能及び知識を身に付けることで経済的自立に直接的に結びつく事業として有益であるとする。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	今後も引き続き就労支援講座を実施していく。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	4	困難を抱える人が安心して暮らせる環境の整備		
主な取組	2	ひとり親家庭に対する支援		
取組の具体的内容	ひとり親家庭の経済的自立を促進するため、就労に必要な技能や知識を身に着けるための講座を実施します			
担当室課	子育て給付課		計画推進の指標番号	18
目標	項目		数値等	
	講座実施により一人ひとりの状況に応じた就労支援を実施する		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	14人	17人	16人	－
実績値における 前年度からの増減理由	前年度とほぼ同水準の受講者数となっている。			
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 母子家庭及び寡婦の自立に役立つ知識・技能の取得のため技能習得講座を実施した。			
	(取組の効果と課題) 就業支援のためのパソコン講習会及び介護職員初任者研修等を実施し、就労や在職者については職場でのスキルアップにつながっていると思われる。 市報やホームページ等での広報方法を検討し、より一層の周知に努め、ひとり親家庭の講座受講機会の確保に努めていく必要がある。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	引き続き、窓口での案内実施や市報・SNS等を活用するなど、よりの確な周知方法の検討をして、受講案内の周知を積極的かつ効果的に 行っていく。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	4	困難を抱える人が安心して暮らせる環境の整備		
主な取組	3	多様な性に関する理解の促進		
取組の具体的内容	ジェンダーの視点を取り入れた学校運営を行うとともに、多様な性に関する理解の促進を図るため、人権教育担当者会、初任者研修を通じて啓発を行います			
担当室課	学校教育室		計画推進の指標番号	19
目標	項目		数値等	
	人権教育担当者会、初任者研修		2回	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	2回	2回	2回	－
実績値における前年度からの増減理由	増減なし			
令和6年度の取組状況	(取組の実施状況) 人権教育担当者会、初任者研修において、多様な性に関する理解の促進を図る研修を行った。			
	(取組の効果と課題) 人権教育担当者会、初任者研修において、多様な性に関する理解の促進を図った。性に関する理解の促進を生徒指導の一環ととらえ、生徒指導研修でも性に関する理解の促進を図る必要がある。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	今後も継続して実施していく。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	4	困難を抱える人が安心して暮らせる環境の整備		
主な取組	3	多様な性に関する理解の促進		
取組の具体的内容	教職員に対し、セクシュアリティやジェンダーについての研修を充実させます			
担当室課	教育センター		計画推進の指標番号	19
目標	項目		数値等	
	研修内容に対する肯定的評価率		(とても良い、良い) 100%	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	96.5%	99.5%	100.0%	－
実績値における 前年度からの増減理由				
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) セクシュアリティやジェンダーについての研修をキャリアステージに応じて計画的に実施した。			
	(取組の効果と課題) 多様な性の理解を促す研修を初任者研修をはじめ、特に若年教職員を対象に実施することで、子供理解の資質・能力の育成に取組んでいる。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	アンケートの回答内容等を踏まえ、研修内容の精査を図る。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	4	困難を抱える人が安心して暮らせる環境の整備		
主な取組	3	多様な性に関する理解の促進		
取組の具体的内容	ジェンダーに関するDVDなどの貸出し、図書・資料の収集・提供に努めます			
担当室課	人権政策室		計画推進の指標番号	19
目標	項目		数値等	
	吹田市人権啓発推進協議会における人権啓発DVDの貸出		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	17回	16回	14回	－
実績値における 前年度からの増減理由	前年度と同程度で推移している。			
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 吹田市人権啓発推進協議会が所有する人権啓発DVDを地区委員会、企業、団体等に貸出した。			
	(取組の効果と課題) 研修会や上映会で人権啓発DVDを上映することにより、多くの市民に人権啓発を行うことができた。 人権啓発DVDを最新の内容に順次更新していく必要がある。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	人権啓発DVDを最新の内容に順次更新し、幅広い団体、企業等に貸出していく。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	4	困難を抱える人が安心して暮らせる環境の整備		
主な取組	3	多様な性に関する理解の促進		
取組の具体的内容	多様な性に関する啓発を進めるとともに、性に関する悩み(LGBTQを含む)などの相談に対応します			
担当室課	人権政策室		計画推進の指標番号	19
目標	項目		数値等	
	人権擁護委員が市民からの人権相談に応じ、小学生・中学生を対象に人権教室を実施		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	51回	16回	23回	－
実績値における前年度からの増減理由	人権相談の回数が前年度より大幅に増加したため。			
令和6年度の取組状況	(取組の実施状況) 人権相談9回 人権教室14回			
	(取組の効果と課題) 人権擁護委員が市民からの人権相談に応じ、小学生・中学生を対象に人権教室を実施した。 人権相談を実施し、多くの小学校・中学校に人権教室の実施を促す。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	人権擁護委員は日常生活の中で生じる人権問題について、市民からの人権相談に応じたり、子どもたちが人権について考える機会を作る啓発活動として、人権教室を実施しており、様々な人権擁護活動が推進されるよう引き続き支援することが必要である。			

基本方向	2	暴力の根絶と安心・安全な暮らしの確保		
基本課題	4	困難を抱える人が安心して暮らせる環境の整備		
主な取組	3	多様な性に関する理解の促進		
取組の具体的内容	性的マイノリティの方が、お互いを人生のパートナーとすることを宣誓された事実を公に証明するパートナーシップ宣誓証明制度を実施します			
担当室課	人権政策室		計画推進の指標番号	19
目標	項目		数値等	
	パートナーシップ宣誓証明制度を実施		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	—	7件	6件	—
実績値における 前年度からの増減理由	昨年度と同程度で推移している。			
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 性的マイノリティの方からパートナーシップ関係である旨の宣誓を受けて「パートナーシップ宣誓書受領証」を交付した。			
	(取組の効果と課題) 市民一人ひとりが互いに多様な生き方を「認め合い、尊重し、支え合うまち」を目指し、性的マイノリティ当事者が住み慣れた地域で自分らしく生きることを支援するための取組の一つとして実施しており、当事者のニーズを把握するとともに、国や他自治体の動向を注視する必要がある。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	多様な生き方を理解し、互いの人権を尊重し合い、誰もがありのままに生きられる社会の実現に向けて取組を進める。			

男女共同参画に関する施策の実施状況

基本方向3

男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり

基本方向	3	男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり		
基本課題	1	男女共同参画意識の形成		
主な取組	1	市職員に対する男女共同参画研修の充実		
取組の具体的内容	市職員の男女共同参画に関する意識形成のため、ワーク・ライフ・バランスやハラスメント防止等の研修を実施します			
担当室課	人事室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	研修開催回数		1回	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	1回	1回	1回	—
実績値における 前年度からの増減理由				
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 令和6年度は、性別を問わず全ての職員が活躍できる職場づくりを目指し、育児中職員を対象としたキャリア形成支援研修を実施した。			
	(取組の効果と課題) 令和6年度の研修では、育児中の職員同士での意見交換、情報共有が図られた。引き続き、効果的な研修を実施することで、ワーク・ライフ・バランス実現や、全ての職員が活躍できる職場環境づくりに対する、職員一人ひとりの意識向上を図る。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	法改正や社会情勢の変化等に対応しながら研修を実施する。			

基本方向	3	男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり		
基本課題	1	男女共同参画意識の形成		
主な取組	1	市職員に対する男女共同参画研修の充実		
取組の具体的内容	公文書における男女共同参画の視点に立った文書表現について周知します			
担当室課	人権政策室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	「男女共同参画の視点からの行政刊行物の表現の手引書」の周知		1回	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	1回	1回	1回	－
実績値における 前年度からの増減理由				
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 男女共同参画週間における啓発の一環として、「男女共同参画の視点からの行政刊行物の表現の手引書」をグループウェアで配信した。 市職員には何時でも確認できるように共有フォルダに格納している。			
	(取組の効果と課題) 意識啓発にあたっては継続して取り組んでいく必要がある。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	手引書は適宜見直し、アップデートしていく。			

基本方向	3	男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり		
基本課題	1	男女共同参画意識の形成		
主な取組	2	事業者、労働者への男女共同参画の啓発と情報提供		
取組の具体的内容	JOBナビすいたにおいて、子育て両立支援求人を含む求人を開拓し、子育てをしながら就職を希望する方が就職に結びつくようマッチングを図ります			
担当室課	地域経済振興室		計画推進の指標番号	20・21・22
目標	項目		数値等	
	啓発と情報提供		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	—	—	—	—
実績値における 前年度からの増減理由				
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 吹田市無料職業紹介所において、仕事と子育ての両立支援に取り組む求人を掲載。企業数2社、求人数5件。			
	(取組の効果と課題) 仕事と子育ての両立支援求人を打ち出す事業所が多くない実態の中で、子育て中の女性も含め、企業が求める人材を掘り起こすことによって、求職者とのマッチングを高めていく。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	今後も事業所と求職者のマッチングを高め、就職に結びつくよう支援に取組む。			

基本方向	3	男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり		
基本課題	1	男女共同参画意識の形成		
主な取組	2	事業者、労働者への男女共同参画の啓発と情報提供		
取組の具体的内容	事業者、労働者への男女共同参画の啓発のため、事業所向けに出前講座を実施します			
担当室課	人権政策室		計画推進の指標番号	20・21・22
目標	項目		数値等	
	出前講座の実施回数		1回以上	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	0回	1回	0回	－
実績値における 前年度からの増減理由	事業所から依頼がなかったため			
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 事業所から依頼がなかったこともあり、実施することができなかった。			
	(取組の効果と課題) 事業者、労働者への啓発の実施に向け、こちらから事業所に働きかけるなど開催できるよう工夫が必要。			
取組に対する 事業の評価	C	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	事業者、労働者への啓発を行えるよう工夫する。			

基本方向	3	男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり		
基本課題	1	男女共同参画意識の形成		
主な取組	2	事業者、労働者への男女共同参画の啓発と情報提供		
取組の具体的内容	事業者、労働者への男女共同参画の啓発のため、事業所向けに出前講座を実施します			
担当室課	男女共同参画センター		計画推進の指標番号	20・21・22
目標	項目		数値等	
	対象講座開催数		2講座	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	2講座	0講座	3講座	—
実績値における前年度からの増減理由	昨年度は依頼がなかったが、SNS等での周知の結果、3事業者から依頼があったため。			
令和6年度の取組状況	(取組の実施状況) 事業者に向けて、誰もが働きやすい職場環境づくりのための研修会(出前講座)の案内をし、3つの事業者に対して研修会(出前講座)を実施した。			
	(取組の効果と課題) 事業者に対して、男女共同参画について考える機会を提供することができた。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	事業者から研修会(出前講座)の依頼がくるよう、ホームページやSNSを活用するなどして引き続き啓発する。			

基本方向	3	男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり		
基本課題	1	男女共同参画意識の形成		
主な取組	2	事業者、労働者への男女共同参画の啓発と情報提供		
取組の具体的内容	性別にかかわらず誰もが働きやすい職場環境づくりを推進するため、労働問題全般に関する啓発冊子の配布による情報提供や講座を実施します			
担当室課	男女共同参画センター		計画推進の指標番号	20・21・22
目標	項目		数値等	
	情報提供回数		2回	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	2回	3回	7回	－
実績値における前年度からの増減理由	昨年度は依頼がなかった事業者向け研修会(出前講座)を実施したため。			
令和6年度の取組状況	(取組の実施状況) 事業者に向けて、誰もが働きやすい職場環境づくりのための研修会(出前講座)の案内をし、3つの事業者に対して研修会(出前講座)を実施した。			
	(取組の効果と課題) 事業者に対して、働きやすい職場環境づくりに関する情報を提供することができた。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	事業者から研修会(出前講座)の依頼がくるよう、ホームページやSNSを活用するなどして引き続き啓発する。			

基本方向	3	男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり		
基本課題	1	男女共同参画意識の形成		
主な取組	2	事業者、労働者への男女共同参画の啓発と情報提供		
取組の具体的内容	性別にかかわらず誰もが働きやすい職場環境づくりを推進するため、労働問題全般に関する啓発冊子の配布による情報提供や講座を実施します			
担当室課	地域経済振興室		計画推進の指標番号	20・21・22
目標	項目		数値等	
	啓発冊子の作成		年2回以上	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	年3回実施 (2,000部/回)	年3回実施 (2,000部/回)	年3回実施 (2,000部/回)	—
実績値における 前年度からの増減理由				
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 市内公共施設等に啓発冊子を配布し、市HPにも同内容を掲載。			
	(取組の効果と課題) 各種労働問題については、継続した啓発活動の確保が重要であり、今後も引き続き啓発を実施していく。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	今後も引き続き冊子等で啓発を実施していく。			

基本方向	3	男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり		
基本課題	1	男女共同参画意識の形成		
主な取組	3	家庭における男女共同参画の効果的な啓発活動の推進		
取組の具体的内容	男女が共に協力して育児ができるよう、育児に関する技術指導及び知識や情報の提供に努めます			
担当室課	すこやか親子室		計画推進の指標番号	20・21・22
目標	項目		数値等	
	プレパパ・ママ教室への参加者数(男女)		1920人	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	816人 (内オンライン54人)	1262人	1404人	－
実績値における 前年度からの増減理由	R6より教室開催回数を増やしたことで参加者は増加した。			
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 毎回、定員を超過申し込みがあることから、回数を増やして実施。プレパパ・ママ教室にて「パパのための育児BOOK」、妊娠届け出時に育児 休暇制度取得を促す「さんきゅうパパBOOK」の冊子を配布している。			
	(取組の効果と課題) 参加後のアンケート結果より教室内容についての満足度は高く、父親の育児等への意識が向上も見られた。参加ニーズが高いため、今後も 継続実施していく。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	引き続き、実施。			

基本方向	3	男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり		
基本課題	1	男女共同参画意識の形成		
主な取組	3	家庭における男女共同参画の効果的な啓発活動の推進		
取組の具体的内容	男性の家事・育児・介護への参画を促進するための学習の機会を提供します			
担当室課	まなびの支援課		計画推進の指標番号	20・21・22
目標	項目		数値等	
	生涯学習事業における講座実施数		5回	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	2回	3回	3回	—
実績値における 前年度からの増減理由				
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 子育て世代の男性及び夫婦を対象とした育児に関する講座を3回実施した。			
	(取組の効果と課題) アンケートにて講座内容に満足した旨の回答が多く、男性の育児への参画について高い効果が期待できる。 夫婦を対象とする講座において、男性の育児への参加を促すような内容を盛り込むことで、男女共同参画の推進を図る。			
取組に対する 事業の評価	B	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	受講者からの意見を取り入れた講座の追加実施等を検討する。			

基本方向	3	男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり		
基本課題	1	男女共同参画意識の形成		
主な取組	3	家庭における男女共同参画の効果的な啓発活動の推進		
取組の具体的内容	男性の家事・育児・介護への参画を促進するための学習の機会を提供します			
担当室課	男女共同参画センター		計画推進の指標番号	20・21・22
目標	項目		数値等	
	対象講座延べ男性受講者数		80人	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	87人	135人	60人	－
実績値における前年度からの増減理由	新しいテーマの講座企画に要する時間を十分に確保することとし、全体の講座のバランスの中で、年に2回実施していた父子料理講座、初心者向け男性料理講座、シニアリーダー研修を令和6年度は1回ずつの実施としたため。			
令和6年度の取組状況	(取組の実施状況) 初心者向け男性料理講座と、父と子で協力して作る料理講座を実施した。また、「夫婦で子育て」をテーマにした講座の中で、父と子でできる遊びを紹介した。			
	(取組の効果と課題) 初めてセンターに来た受講者が多く、啓発の効果があった。			
取組に対する事業の評価	B	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	男性に家事を担うきっかけにしてもらうため、継続して実施していく。			

基本方向	3	男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり		
基本課題	1	男女共同参画意識の形成		
主な取組	4	市民に対する多様な媒体・機会を通じての男女共同参画に係る広報・啓発		
取組の具体的内容	市報・広報誌・SNSなど多様な媒体を通じて男女共同参画に関する情報を発信します			
担当室課	人権政策室		計画推進の指標番号	20・21・22
目標	項目		数値等	
	市報すいたへの記事掲載、啓発冊子の発行、SNSなどを活用した情報発信		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	—	—	—	—
実績値における前年度からの増減理由				
令和6年度の取組状況	(取組の実施状況) ホームページやSNSなどを活用して男女共同参画のに関する情報を発信した。 中学生向け啓発冊子「エール」の発行、「女と男のいきいきライフ」の市報すいたへの掲載を通して情報を発信し、意識啓発を行った。			
	(取組の効果と課題) 市報すいたは全戸配布なので、日頃は男女共同参画に関心がない市民に目にしてもらえる。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	今後も情報の発信については効果的な方法を工夫していく。			

基本方向	3	男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり		
基本課題	1	男女共同参画意識の形成		
主な取組	4	市民に対する多様な媒体・機会を通じての男女共同参画に係る広報・啓発		
取組の具体的内容	市報・広報誌・SNSなど多様な媒体を通じて男女共同参画に関する情報を発信します			
担当室課	男女共同参画センター		計画推進の指標番号	20・21・22
目標	項目		数値等	
	啓発誌ソフィアの発行回数		2回	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	2回	2回	2回	－
実績値における 前年度からの増減理由				
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 啓発誌ソフィアで、男女共同参画センターをPRすることに加えて、男女共同参画の視点を持った特集記事等により、読者に対して男女共同参画についての諸問題について啓発を行った。情報ライブラリーでは、テーマ展示(テーマを決めて関連図書の紹介を行う)による啓発を実施した。			
	(取組の効果と課題) ソフィアの配布を紙媒体だけでなく、ホームページにも掲載し広く啓発を行った。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	引き続き、男女共同参画の広報・周知に努めていくとともに、当啓発誌・当センターの認知度向上にも努めていく。			

基本方向	3	男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり		
基本課題	1	男女共同参画意識の形成		
主な取組	4	市民に対する多様な媒体・機会を通じての男女共同参画に係る広報・啓発		
取組の具体的内容	市報などで情報発信を行う際に、男女共同参画の視点を持って情報発信を行うよう努めます			
担当室課	広報課		計画推進の指標番号	20・21・22
目標	項目		数値等	
	設定なし		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	—	—	—	—
実績値における 前年度からの増減理由				
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 各種広報活動を行うにあたり、性別による固定的な役割分担を助長することのないように、文字・画像などを活用した表現に誤りや偏りがないうよう注力した。			
	(取組の効果と課題) 令和6年度の広報活動において、男女共同の視点で問題となるようなことはなかった。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	引き続き、男女共同参画の視点をもって情報発信に努める。			

基本方向	3	男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり		
基本課題	1	男女共同参画意識の形成		
主な取組	4	市民に対する多様な媒体・機会を通じての男女共同参画に係る広報・啓発		
取組の具体的内容	市民意識調査や調査研究を行い、その結果を事業に反映します			
担当室課	人権政策室		計画推進の指標番号	20・21・22
目標	項目		数値等	
	男女共同参画に関する市民意識調査・実態調査の実施		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	—	—	実施	—
実績値における前年度からの増減理由	第6次すいた男女共同参画プランの策定に当たり調査を実施したため			
令和6年度の取組状況	(取組の実施状況) 市内に在住する18歳以上の市民2,000人に調査票を配布し、調査結果を報告書としてまとめた。(有効回収率42.4%)			
	(取組の効果と課題) 市民意識を把握することで、結果をすいた男女共同参画プランの策定に当たっての基礎資料とし、次期プランや今後の施策に反映させることができる。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	調査結果をもとに、次期すいた男女共同参画プランを作成する。 今後もすいた男女共同参画プランの策定に合わせて調査を実施し、市民意識を適切に把握することで施策に反映させていく。			

基本方向	3	男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり		
基本課題	1	男女共同参画意識の形成		
主な取組	4	市民に対する多様な媒体・機会を通じての男女共同参画に係る広報・啓発		
取組の具体的内容	市民意識調査や調査研究を行い、その結果を事業に反映します			
担当室課	男女共同参画センター		計画推進の指標番号	20・21・22
目標	項目		数値等	
	調査研究の実施(隔年で報告書を作成)		隔年発行	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	500部発行	テーマ:デートDV予防啓発 出前授業	500部発行	—
実績値における 前年度からの増減理由				
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 「デートDV予防啓発出前授業」をテーマに、10年間の事業の実績についてまとめた報告書を作成した。			
	(取組の効果と課題) 調査研究結果を踏まえ、次年度以降の事業実施に生かす。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	今後も男女共同参画に関わる様々なテーマについて調査研究し、事業実施に生かしていく。			

基本方向	3	男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり		
基本課題	1	男女共同参画意識の形成		
主な取組	4	市民に対する多様な媒体・機会を通じての男女共同参画に係る広報・啓発		
取組の具体的内容	男女共同参画意識の形成に資する図書・資料等を収集し、市民に貸し出します			
担当室課	男女共同参画センター		計画推進の指標番号	20・21・22
目標	項目		数値等	
	図書貸出冊数		2,500冊	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	3,491冊	2,763冊	2,294冊	—
実績値における 前年度からの増減理由	月によっては貸出率が前年の5割程度になっているため。			
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 情報ライブラリー便り「Duo Library」を毎月発行し、窓口での配布やホームページへの掲載によって、新着図書の内容紹介を行った。また、情報ライブラリースタッフと協力し、図書紹介POP等を作成した。			
	(取組の効果と課題) 情報ライブラリー自体の認知度を上げるため、SNS等を活用した広報を強化する。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	情報ライブラリーの認知度を上げるため、SNS等を活用した広報を強化する。			

基本方向	3	男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり		
基本課題	1	男女共同参画意識の形成		
主な取組	4	市民に対する多様な媒体・機会を通じての男女共同参画に係る広報・啓発		
取組の具体的内容	男女共同参画意識の形成に資する図書・資料等を収集し、市民に貸し出します			
担当室課	学校教育室		計画推進の指標番号	20・21・22
目標	項目		数値等	
	関連視聴覚教材貸出		小中学校で2本	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	2本	1本	1本	－
実績値における前年度からの増減理由	当該取組に関する教材の保有及び周知が十分ではないため。			
令和6年度の取組状況	(取組の実施状況) ジェンダー平等に関する視聴覚教材を新たに2本増やし、人権に関するビデオ・DVD等視聴覚教材を市立小・中学校及び幼稚園へ貸出し、当該教材の視聴を通じて人権学習の推進を支援した。			
	(取組の効果と課題) 視聴覚教材は各小・中学校及び幼稚園から活用するニーズも多く、また視覚的に子供たちの心に残りやすく、人権学習をより充実させることに活用できた。すべての教育活動を人権教育の視点に立って進め、多様な価値観を認め、互いの人権を尊重する態度を養うことができた。しかし、ジェンダー平等に関する貸出が少なく、教材の周知を全校に十分に図れていないことが課題である。			
取組に対する事業の評価	C	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	貸出用視聴覚教材の充実を図るとともに、研修で教材の周知を図る。			

基本方向	3	男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり		
基本課題	1	男女共同参画意識の形成		
主な取組	4	市民に対する多様な媒体・機会を通じての男女共同参画に係る広報・啓発		
取組の具体的内容	男女共同参画意識の形成に資する図書・資料等を収集し、市民に貸し出します			
担当室課	中央図書館		計画推進の指標番号	20・21・22
目標	項目		数値等	
	個人貸出総計(電子書籍を含む) 人口×12冊		4,611,624冊	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	3,848,694冊	3,892,520冊	3,706,124冊	－
実績値における 前年度からの増減理由	千里山・佐井寺図書館が空調工事のため約1か月休館したことにより、図書の個人貸出数が減少した。また電子書籍は、貸出せずに閲覧できる「読み放題パック」を導入するなどしたが、目標達成に至らなかった。			
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 男女共同参画に関するテーマの資料の収集を行うとともに、適宜、資料の特設コーナーの設置など、資料紹介を実施した。			
	(取組の効果と課題) 他部署と行政課題を共有し、資料案内等が他部署と連携した取組となるよう、広報を工夫していく必要がある。			
取組に対する 事業の評価	C	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	引き続き、男女共同参画に関するテーマに留意した資料の選定・収集を行い、適宜、特集コーナーを設置するなどして、資料案内を行い、市民の学習機会の提供に努める。電子書籍については、令和8年1月のシステム更新時に図書と一体的に検索・予約できる連携版の導入を予定しており、利用が活性化する可能性が見込まれる。			

基本方向	3	男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり		
基本課題	2	男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進		
主な取組	1	学校、保育所・幼稚園等における男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進		
取組の具体的内容	学校等における男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進を年間計画の中で位置づけ、実施します			
担当室課	保育幼稚園室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	男女平等教育を含む人権教育の推進		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	—	—	—	—
実績値における 前年度からの増減理由	—			
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 男女平等を含む、人権教育を年間計画に位置づけ実施した。			
	(取組の効果と課題) ジェンダーにとらわれない視点に立っているか、振り返る機会を持つことが必要である。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	引き続き、男女平等教育を含む人権教育の推進を年間計画の中に位置づける。			

基本方向	3	男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり		
基本課題	2	男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進		
主な取組	1	学校、保育所・幼稚園等における男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進		
取組の具体的内容	学校等における男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進を年間計画の中で位置づけ、実施します			
担当室課	学校教育室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の実施校		(全小中学校)54校	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	54校	54校	54校	—
実績値における 前年度からの増減理由	増減なし			
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 各校にて人権教育推進計画を作成し、当該計画に男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進を位置づけ、児童・生徒及び教職員に周知を図った。また、人権教育担当者会において中学校ブロックで取組を共有した。			
	(取組の効果と課題) 各校の人権教育計画の充実を図るため、人権教育担当者会において取組を共有した。今後は、中学校ブロックを超えて全小・中学校での取組を共有し、好事例を広げていく取組が必要である。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	今後も継続して実施していく。			

基本方向	3	男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり		
基本課題	2	男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進		
主な取組	1	学校、保育所・幼稚園等における男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進		
取組の具体的内容	性別にとらわれず、子供が持つ個性を尊重した教育・保育に取り組みます			
担当室課	保育幼稚園室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	ジェンダーにとらわれない保育内容の計画・実施		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	—	—	—	—
実績値における 前年度からの増減理由	—			
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 子供のもちあじを尊重した教育・保育に取り組んだ。			
	(取組の効果と課題) 子供達は性別にとらわれず多様な人達に親しみを持ち関わる事ができている。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	引きつづき、ジェンダーにとらわれない視点を持ち、保育内容を計画し実施する。			

基本方向	3	男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり		
基本課題	2	男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進		
主な取組	1	学校、保育所・幼稚園等における男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進		
取組の具体的内容	性別にとらわれず、子供が持つ個性を尊重した教育・保育に取り組みます			
担当室課	学校教育室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	性別にとらわれず、子供が持つ個性を尊重した教育の実施校		(全小中学校)54校	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	54校	54校	54校	－
実績値における 前年度からの増減理由	増減なし			
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 小中学校において、保健の授業を中心に、自他を大切にする心を育むことや、性情報に対する適切な対処等に関する授業を行った。さらに、インターネットやSNS等にかかる事案の現状や傾向について関係機関との情報共有を図り、各校において、人権推進計画を中心に、学校教育活動全体を通して子供の個性を育む教育活動を行った。			
	(取組の効果と課題) 各校において学習指導要領に則り、保健の授業を中心として学校の教育活動全体を通して、個性を尊重した教育に取り組んだ。今後、あらゆる研修を通して、人権侵害事案の現状と傾向について情報共有を図る必要がある。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	今後も継続して取組んでいく。			

基本方向	3	男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり		
基本課題	2	男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進		
主な取組	1	学校、保育所・幼稚園等における男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進		
取組の具体的内容	男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進のため、教職員・保育士、教育相談員等専門職への研修の充実を図ります			
担当室課	保育幼稚園室		計画推進の指標番号	24
目標	項目		数値等	
	男女共同参画、ジェンダー平等に係る研修の充実		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	－	－	－	－
実績値における 前年度からの増減理由	－			
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 男女共同参画・ジェンダー平等について、保育教諭等で共通理解をし、性別にとらわれない教育・保育に取り組んだ。			
	(取組の効果と課題) 年間計画に位置づけて、教育・保育を行うことで、職員の意識を高めることができた。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	子供達が性別にとらわれず、一人ひとりのもちあじや力を発揮できるようにしていく。			

基本方向	3	男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり		
基本課題	2	男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進		
主な取組	1	学校、保育所・幼稚園等における男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進		
取組の具体的内容	男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進のため、教職員・保育士、教育相談員等専門職への研修の充実を図ります			
担当室課	学校教育室		計画推進の指標番号	24
目標	項目		数値等	
	人権教育担当者会、初任者研修		2回	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	2回	2回	2回	－
実績値における 前年度からの増減理由	増減なし			
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 人権教育担当者会や初任者研修、校内研修において、男女共同参画・ジェンダー平等に関する理解の促進を図る研修を行った。			
	(取組の効果と課題) 人権教育担当者会や初任者研修において、男女共同参画・ジェンダー平等に関する理解の促進を図った。小学校の校内研修でも、男女共同参画・ジェンダー平等に関する研修を行い、男女共同参画・ジェンダー平等に関する理解の促進を図った。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	今後も継続して実施していく。			

基本方向	3	男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり		
基本課題	2	男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進		
主な取組	1	学校、保育所・幼稚園等における男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進		
取組の具体的内容	男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進のため、教職員・保育士、教育相談員等専門職への研修の充実を図ります			
担当室課	教育センター		計画推進の指標番号	24
目標	項目		数値等	
	研修内容に対する肯定的評価率		(とても良い、良い) 100%	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	96.5%	99.5%	100.0%	－
実績値における 前年度からの増減理由				
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 男女共同参画・ジェンダー平等に係る研修をキャリアステージに応じて実施した。			
	(取組の効果と課題) 男女共同参画・ジェンダー平等に向け、教職員研修を通して、社会的な課題や実情を把握する視点をもつだけでなく、改善・実現していくためには、自分たちはどのようなことができるかを考えていくことが大切である。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	アンケートの回答内容等を踏まえ、研修内容の精査を図る。			

基本方向	3	男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり		
基本課題	2	男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進		
主な取組	1	学校、保育所・幼稚園等における男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進		
取組の具体的内容	ジェンダーの視点から保育士等向け手引書を作成します			
担当室課	保育幼稚園室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	ジェンダーの視点から保育士等向けの手引書を作成する		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	—	—	—	—
実績値における 前年度からの増減理由				
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) ジェンダーにとらわれない教育・保育に取り組んだが、保育士等向けの手引書の作成にはいかなかった。			
	(取組の効果と課題) 教育・保育を行っていく中で、男女共同参画・ジェンダー平等について、保育教諭等で共通理解を深めてきた。しかしながら、それらをどのような形で手引きとしていくかまとめることができなかったため、他市の例等を参考に検討する必要がある。			
取組に対する 事業の評価	C	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	他市の状況や幼児期のジェンダーに関するガイドブック等を参考にしながら手引書作成に取り組む。			

基本方向	3	男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり		
基本課題	2	男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進		
主な取組	1	学校、保育所・幼稚園等における男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進		
取組の具体的内容	図書・教材等をジェンダーの視点で見直します			
担当室課	保育幼稚園室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	ジェンダーにとらわれない視点での教材選択		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	—	—	—	—
実績値における 前年度からの増減理由	—			
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) ジェンダーにとらわれない視点にたち、教材、絵本、玩具などを選定した。			
	(取組の効果と課題) 教材、絵本、玩具などを通して、保護者や子供にジェンダー平等の意識を伝えることができた。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	引き続き、ジェンダーにとらわれない視点に立ち、各園で教材、絵本、玩具や保護者むけの通知等を選定する。			

基本方向	3	男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり		
基本課題	2	男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進		
主な取組	1	学校、保育所・幼稚園等における男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進		
取組の具体的内容	図書・教材等をジェンダーの視点で見直します			
担当室課	学校教育室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	該当する取組なし			
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	—	—	—	—
実績値における 前年度からの増減理由				
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 当室において、図書・教材等をジェンダーの視点で見直す業務がないため、実施していない。			
	(取組の効果と課題)			
取組に対する 事業の評価		A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)				

基本方向	3	男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり		
基本課題	2	男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進		
主な取組	1	学校、保育所・幼稚園等における男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進		
取組の具体的内容	スクール・セクシュアル・ハラスメント防止に向けた子供に対する教育・相談体制の充実を図ります			
担当室課	学校教育室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	相談窓口がある小・中学校数		全小・中学校数	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	54校	54校	54校	—
実績値における 前年度からの増減理由	増減なし			
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 全校において、スクール・セクシュアル・ハラスメント防止に向けて、子供に対する相談窓口を設けた。学校以外の相談窓口についても、全校において周知を行った。			
	(取組の効果と課題) 全校において、スクール・セクシュアル・ハラスメント防止に向けて、子供に対する相談窓口を設けたことで、子供が安心して学校生活を送ることができた。学校以外の相談窓口についても、引き続き丁寧な周知を行うことで、さらに安心して学校生活を行えるようにしていく。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	今後も継続して取組んでいく。			

基本方向	3	男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり		
基本課題	2	男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進		
主な取組	1	学校、保育所・幼稚園等における男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進		
取組の具体的内容	スクール・セクシュアル・ハラスメント防止に向けた子供に対する教育・相談体制の充実を図ります			
担当室課	教育センター		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	市内保育所・幼稚園 市立小・中学校への 教育相談チラシの配布率		100%	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	100.0%	100.0%	100.0%	—
実績値における 前年度からの増減理由				
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 市内保育所・幼稚園、市内小・中学校への教育相談チラシの配付。			
	(取組の効果と課題) 教育センターの事業である教育相談について周知することができている。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	今後も継続してチラシの配布を進めていく。			

基本方向	3	男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり		
基本課題	2	男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進		
主な取組	1	学校、保育所・幼稚園等における男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進		
取組の具体的内容	各校の実践交流を深め、小中一貫した男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育に取り組みます			
担当室課	学校教育室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	人権教育担当者会		2回	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	2回	2回	2回	—
実績値における前年度からの増減理由	増減なし			
令和6年度の取組状況	(取組の実施状況) 様々な人権課題について、人権教育担当者をはじめ、すべての教職員が豊かな人権感覚を持って児童・生徒の指導に当たることができるように、4回の人権教育担当者会(学校教育室所管)及び教育課題別研修(教育センター所管)との共同で、外部講師を招聘し、「多様な子どもたちへの理解と支援」をテーマとした研修を行った。また、人権教育担当者会で中学校ブロックごとに人権教育計画や人権課題の実践について共有する機会を設定し、様々な人権課題に応じた取組ができるように取組んだ。			
	(取組の効果と課題) 各校の人権教育計画に基づき、計画的に取り組むことができた。また、人権教育担当者会を年4回行い、様々な人権課題について学び、人権教育計画や人権課題の実践を中学校ブロックで共有することにより、人権教育の推進につなげることができた。現在の人権課題(いじめ、不登校、性的マイノリティ、民族差別、障害者差別等)に対して個別の人権課題に応じた取組ができるよう、人権教育担当者会だけでなく、初任者研修や10年経験者研修、教育課題別研修において、実践的な研修を実施し教科横断的な人権教育の推進を図る。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	今後も継続して取組んでいく。			

基本方向	3	男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり		
基本課題	2	男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進		
主な取組	2	男女共同参画のための生涯学習の推進		
取組の具体的内容	男女共同参画のための生涯学習を推進するため、講座、情報提供、学習機会の充実を図るとともに、新しい生活様式に対応したオンライン講座を実施します			
担当室課	まなびの支援課		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	生涯学習事業における講座等の充実を図る		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	－	－	－	－
実績値における前年度からの増減理由				
令和6年度の取組状況	(取組の実施状況) 生涯学習事業における講座の広報にSNSを用いるなど情報提供の充実を図った。 子育て世代の男性及び夫婦を対象とした育児に関する講座を3回実施した。 オンデマンド配信のみの講座も行った。			
	(取組の効果と課題) オンデマンド配信を行うことで、より講座に参加しやすい環境を整えることができる。			
取組に対する事業の評価	B	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	実施方法や内容について、受講者からの意見等を参考に検討する。			

基本方向	3	男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり		
基本課題	2	男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進		
主な取組	2	男女共同参画のための生涯学習の推進		
取組の具体的内容	男女共同参画のための生涯学習を推進するため、講座、情報提供、学習機会の充実を図るとともに、新しい生活様式に対応したオンライン講座を実施します			
担当室課	男女共同参画センター		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	主催講座開催数 (学校等への出前講座及び参画スタッフ研修を除く)		35講座	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	42講座	37講座	32講座	－
実績値における 前年度からの増減理由	1つの講座企画に要する時間を十分に確保するため、全体の講座数を見直し、2回実施講座を1回の実施としたものがあるため。			
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 女性向け、男性向け、子育て層向けなど様々な層に向けて講座を実施した。育休中の人向けの講座は、オンラインで開催するなど、内容に応じて開催形態を検討した。			
	(取組の効果と課題) 子育て層向けの講座はSNSでの情報発信を行うことで、受講者が集まりやすいが、それ以外の講座は周知の方法を見直す必要がある。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	講座内容に応じた周知方法を検討する。			

基本方向	3	男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり		
基本課題	2	男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進		
主な取組	2	男女共同参画のための生涯学習の推進		
取組の具体的内容	夢つながり未来館等における調理イベントや野外活動、親子で参加する交流活動等を通じて、子供たちの男女共同参画意識の形成を図ります			
担当室課	青少年室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	自然体験活動や各種イベントを通じて、男女共同参画に関する認識と理解を深める		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	3施設(夢つながり未来館、自然体験交流センター、自然の家)の利用者数 408,141人	3施設(夢つながり未来館、自然体験交流センター、自然の家)の利用者数 423,252人	3施設(夢つながり未来館、自然体験交流センター、自然の家)の利用者数 444,935人	—
実績値における前年度からの増減理由	自然体験交流センター、自然の家の施設利用者増加理由は、大規模団体の利用が回復してきたため。また、市外団体の利用も大幅に増加したため。夢つながり未来館については、3施設とも、コロナ禍以降、継続的に利用者数が回復してきたため。			
令和6年度の取組状況	(取組の実施状況) 青少年が男女の区別なく協力して創作できる環境を整え、宿泊施設では自然に触れながら男女の区別なく炊事活動や野外活動を行う場を提供した。			
	(取組の効果と課題) 夢つながり未来館等における事業は、炊事活動や野外活動等を通じて、男女が共に対等な存在であるという意識形成につながるものと考えている。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	引き続き、各施設において、男女共同参画に関する認識と理解を深めるための啓発活動を行い、次代を担う子供たちの男女共同参画意識形成につながる事業展開を行う。			

基本方向	3	男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり		
基本課題	2	男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進		
主な取組	2	男女共同参画のための生涯学習の推進		
取組の具体的内容	夢つながり未来館等における調理イベントや野外活動、親子で参加する交流活動等を通じて、子供たちの男女共同参画意識の形成を図ります			
担当室課	青少年クリエイティブセンター		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	各教室の募集定員		80%	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	・親子ふれあい体操 … 152% ・親子でダンス …… 100% ・おんぶkids …… 95.5%	・親子ふれあい体操 … 183% ・親子でダンス …… 134% ・おんぶkids …… 88.5%	・親子ふれあい体操 … 144% ・親子でダンス ……113% ・おんぶkids …… 69.1%	—
実績値における前年度からの増減理由	より興味が湧く内容、参加しやすい日時等、開催事業を見直すことで増加に繋がった。			
令和6年度の取組状況	(取組の実施状況) 親子交流を図る事業への関心が高く、利用者のニーズに応えるような事業を実施した。 今後の事業に向けて、保護者を対象にアンケートを実施している。			
	(取組の効果と課題) 幼稚園入学前のプレ幼稚園体験との関係で、2歳児の事業への参加が減少している。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	アンケートの結果を参考に、内容等の充実をはじめ、利用者のニーズに応える事業を展開していく。			

基本方向	3	男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり		
基本課題	2	男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進		
主な取組	3	男女共同参画の視点からのメディア・リテラシーの育成		
取組の具体的内容	男女共同参画の視点からのメディア・リテラシー(メディアからの情報を主体的に読み解き、自己発信する能力)を高める学習機会を提供します			
担当室課	男女共同参画センター		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	対象講座延べ受講者数		260人	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	293人	243人	209人	－
実績値における前年度からの増減理由	1つの講座企画に要する時間を十分に確保するため、全体の講座数を見直した結果、3回実施していたデュオシネマを、2回実施にし、上映回数も2回から1回へとしたため。			
令和6年度の取組状況	(取組の実施状況) 映画を通して学習の機会を提供した。また、男女共同参画センターで活動する市民スタッフの養成講座を実施した。			
	(取組の効果と課題) 上映会は好評で抽選になることが多いが、60代以上の参加者が多いので、若年層への啓発方法を考えていく必要がある。			
取組に対する事業の評価	B	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	若年層にも来てもらえるような作品の上映を考える。また、対象者に届く情報発信を行う。			

基本方向	3	男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり		
基本課題	2	男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進		
主な取組	3	男女共同参画の視点からのメディア・リテラシーの育成		
取組の具体的内容	男女共同参画の視点からのメディア・リテラシー(メディアからの情報を主体的に読み解き、自己発信する能力)を高める学習機会を提供します			
担当室課	中央図書館		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	個人貸出総計(電子書籍を含む) 人口×12冊		4,611,624冊	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	3,848,694冊	3,892,520冊	3,706,124冊	－
実績値における前年度からの増減理由	千里山・佐井寺図書館が空調工事のため約1か月休館したことにより、図書の個人貸出数が減少した。また電子書籍は、貸出せずに閲覧できる「読み放題パック」を導入するなどしたが、目標達成に至らなかった。			
令和6年度の取組状況	(取組の実施状況) 男女共同参画に関するテーマの資料の収集を行うとともに、適宜、資料の特設コーナーの設置など、資料紹介を実施した。			
	(取組の効果と課題) 他部署と行政課題を共有し、資料案内等が他部署と連携した取組となるよう、広報を工夫していく必要がある。			
取組に対する事業の評価	C	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	引き続き、男女共同参画に関するテーマに留意した資料の選定・収集を行い、適宜、特集コーナーを設置するなどして、資料案内を行い、市民の学習機会の提供に努める。電子書籍については、令和8年1月のシステム更新時に図書と一体的に検索・予約できる連携版の導入を予定しており、利用が活性化する可能性が見込まれる。			

基本方向	3	男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり		
基本課題	2	男女共同参画・ジェンダー平等に係る教育の推進		
主な取組	3	男女共同参画の視点からのメディア・リテラシーの育成		
取組の具体的内容	学校などにおいて、インターネットをはじめ様々なメディアにおける固定的性別役割分担意識に基づく表現や、性・暴力表現など女性の人権を侵害する情報に対して、主体的に対応できるメディア・リテラシーを育むためのデジタル・シティズンシップ教育を推進します			
担当室課	教育センター		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	小学校1年生から中学校3年生までの各学年におけるデジタル・シティズンシップ教育の教材の作成率		100%	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	100.0%	100.0%	100%	－
実績値における前年度からの増減理由				
令和6年度の取組状況	(取組の実施状況) 小学校1年生から中学校3年生までの各学年におけるデジタル・シティズンシップ教育の教材を作成・更新をした。 また、児童・生徒自身が、様々なメディアにおける表現や情報に対して、問題を発見し、解決ができる学びを進められるよう、授業の進め方や内容を検討する研修を実施し、各校の実情に合わせて授業を行えるよう支援した。			
	(取組の効果と課題) 児童・生徒が、メディア・リテラシーを育むためには、時間が必要なため、取組を継続する必要がある。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	その地域特有の児童・生徒の実態にあわせた教育となるよう、中学校区の実態として推進していく。			

基本方向	3	男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり		
基本課題	3	国際的な協調とジェンダー平等の視点に立った多文化共生の推進		
主な取組	1	ジェンダー平等に関連する国際規範・基準についての情報提供		
取組の具体的内容	ジェンダー・ギャップ指数などの国際比較データやSDGsに関する情報提供、講座を実施します			
担当室課	人権政策室		計画推進の指標番号	25・26
目標	項目		数値等	
	ジェンダー・ギャップ指数に関する情報の発信		設定なし	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	—	—	—	—
実績値における 前年度からの増減理由				
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) ジェンダー・ギャップ指数や女性の活躍推進に関する情報をホームページに掲載することで市民に対し情報提供を行った。 また、新規採用職員研修及び市民向け出前講座の中でジェンダー・ギャップ指数に関する講義を行い、あらゆる分野における女性の参画の 必要性について啓発した。			
	(取組の効果と課題) ジェンダーギャップや女性の活躍推進について理解を深めることができた。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	様々な機会を捉え、ジェンダー・ギャップ指数や女性の活躍推進に関する啓発を実施する。			

基本方向	3	男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり		
基本課題	3	国際的な協調とジェンダー平等の視点に立った多文化共生の推進		
主な取組	1	ジェンダー平等に関連する国際規範・基準についての情報提供		
取組の具体的内容	ジェンダー・ギャップ指数などの国際比較データやSDGsに関する情報提供、講座を実施します			
担当室課	男女共同参画センター		計画推進の指標番号	25・26
目標	項目		数値等	
	対象講座開催数		3講座	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	3講座	3講座	3講座	—
実績値における 前年度からの増減理由				
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 参画スタッフ(市民ボランティア)養成講座の中で、ジェンダー・ギャップ指数などの国際比較データを用いながら男女共同参画への理解を深める時間を設けた。			
	(取組の効果と課題) メインテーマにならない場合でも、講座の中で伝えていく。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	引き続き、男女共同参画について考える機会を提供する。			

基本方向	3	男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり		
基本課題	3	国際的な協調とジェンダー平等の視点に立った多文化共生の推進		
主な取組	2	外国人家庭に対する子育てなどの支援		
取組の具体的内容	子育て中の外国人を支援するため、交流や情報交換の場を提供します			
担当室課	文化スポーツ推進室		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	子育て支援「こあらくらぶ」の延べ参加者数		100人	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	142人	79人	133人	－
実績値における前年度からの増減理由	SIFAに委託のうえ実施している吹田市多文化共生ワンストップ相談センターや日本語教室を通じて周知したこと、特定の国のネットワークを通じての情報が広まったことから、令和5年度と比較して令和6年度は参加者数が増加した。			
令和6年度の取組状況	(取組の実施状況) ・外国籍市民等が日本での子育ての不安を和らげられるよう、お互いに共感したり、情報共有ができる交流の場を作った。 ・リーフレットやホームページで再度関係機関へも広く周知した。 ・保健センターにおいて、必要な方(妊婦、新生児フォロー対象者等)へ案内している。			
	(取組の効果と課題) 外国籍市民等が地域で安心して子育てできる環境が作られている。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	引き続き、継続する。			

基本方向	3	男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり		
基本課題	3	国際的な協調とジェンダー平等の視点に立った多文化共生の推進		
主な取組	2	外国人家庭に対する子育てなどの支援		
取組の具体的内容	日本語指導が必要な児童生徒の学習を支援するため、通訳者を派遣します			
担当室課	学校教育室		計画推進の指標番号	27
目標	項目		数値等	
	児童・生徒への通訳者派遣回数		対象の児童・生徒数に応じて、基準回数分の通訳者の派遣回数	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	541回	604回	948回	－
実績値における前年度からの増減理由	通訳を必要とする帰国・渡日の児童生徒が増加しているため			
令和6年度の取組状況	(取組の実施状況) 帰国・渡日の児童生徒の中で、日本語指導が必要な児童生徒に対し、母語通訳者を派遣し、日本語指導が必要な児童生徒の学習活動の支援に取り組んだ。また、対象児童・生徒の保護者が通訳が必要な場合においても、行政通訳ボランティアを活用し、保護者に対しても通訳者の派遣を行った。			
	(取組の効果と課題) 児童・生徒の学校生活において、効果的に通訳者を派遣し、対象児童・生徒の学習や学校生活を支援することができた。一方で、通訳を必要とする帰国・渡日の児童・生徒や派遣希望校の増加、多様化する母国語に対し、通訳者の人材確保が困難となっている。			
取組に対する事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	今後も継続して取組んでいく。			

基本方向	3	男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり		
基本課題	4	男女共同参画推進体制の充実		
主な取組	1	市民団体等との協働・連携		
取組の具体的内容	市民団体などの活動や交流を支援し、連携して男女共同参画社会の実現を目指します			
担当室課	男女共同参画センター		計画推進の指標番号	
目標	項目		数値等	
	市民グループ等との連携数		8回	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	8回	9回	10回	－
実績値における 前年度からの増減理由				
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 男女共同参画センターグループの会(センターで活動する団体等の交流と親睦を図り、より良いセンターになるように活動する会)と会議を6回開催し、共催行事を1回実施した。また、市民グループ等を対象に自主企画講座を募集したところ、3団体から応募があり、3団体を支援して市民向け講座を開催した。			
	(取組の効果と課題) センター主催講座とは異なる特色を持った講座を開催することができた。また、通常とは異なる受講者層に啓発することができた。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	より多くの市民グループ等に自主企画支援事業を活用してもらえるように広報していく。支援内容の見直しも行う。			

基本方向	3	男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり		
基本課題	4	男女共同参画推進体制の充実		
主な取組	2	男女共同参画センターの機能の充実		
取組の具体的内容	男女共同参画を推進する拠点施設として、男女共同参画に関する情報提供、調査研究、主催講座、相談事業の充実を図ります			
担当室課	男女共同参画センター		計画推進の指標番号	28
目標	項目		数値等	
	相談実施日数		320日	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	324日	325日	328日	－
実績値における 前年度からの増減理由				
令和6年度の 取組状況	(取組の実施状況) 女性のための電話相談を198日、女性のための悩み・DV相談を94日、女性のための法律相談を12日、男性のための電話相談を24日実施した(計328日)。 そのほか、主催講座の開催や、市民と協同して制作する啓発誌ソフィアの発行など、様々な事業に取り組んだ。			
	(取組の効果と課題) 様々な世代の人に利用してもらえるよう広報に工夫をする。特に、男性のための電話相談については、周知の機会を増やしたい。			
取組に対する 事業の評価	A	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題 に対する取組・対応策)	相談や主催講座に来られた人も含め、センターの様々な事業について市民に知ってもらう機会を作り、男女共同参画についての理解を促進する。			

基本方向	3	男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり		
基本課題	4	男女共同参画推進体制の充実		
主な取組	3	男女共同参画センターの利用の促進		
取組の具体的内容	男女共同参画センターに関する情報(主催講座、相談事業、情報ライブラリーなど)について、市報、啓発誌ソフィア、SNSなどを通じた発信を強化し、市民による認知および利用の一層の促進を図ります			
担当室課	男女共同参画センター		計画推進の指標番号	28
目標	項目		数値等	
	施設の利用人数		60,000人	
実績値	令和4年度(参考)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	46,869人	51,355人	39,220人	－
実績値における前年度からの増減理由	令和6年4月1日に教育センターが男女共同参画センター内から移転したことに伴って、利用人数は減少している。			
令和6年度の取組状況	(取組の実施状況) 貸室事業や相談及び主催講座の実施を通じて、相互の事業の周知を図り、男女共同参画センターの利用促進を行った。 主催講座については、女性向け、男性向け、子育て層向けなど様々な層に向けて講座を実施した。			
	(取組の効果と課題) 目標値を施設利用人数としているが、教育センターの移転により状況が大きく変化したため、目標を見直す必要がある。			
取組に対する事業の評価	－	A:目標を達成している又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる B:目標を達成していないが計画最終年度には目標を達成する見込みである C:目標を大きく下回っている又は目標の達成に向けた進捗が遅れており取組の強化が必要である		
今後の方向性 (評価がB・Cの場合は課題に対する取組・対応策)	男女共同参画センター自体の認知度を上げることにより、男女共同参画についての市民の理解を深めていく。			

第5次すいた男女共同参画プラン
令和6年度(2024年度)施策実施状況
―年次報告―

.....

発 行/ 令和7年(2025年)10月
吹田市 市民部 人権政策室
〒564-8550 吹田市泉町 1-3-40
TEL:06-6384-1461